

文化表現学科

2023 年 4 月 1 日 更新

2023 年 4 月 26 日 更新

科 目 名	文学に親しむ		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之	
ナンバリングコード	CUL3111		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	日本の文学作品や作家について、古代から近代まで順を追って取り上げ、文学の魅力と意義について実感する。実際に丁寧に読むことで、それぞれの作品のもつ価値と時代や社会との関わりについて詳しく解説する。								
到 達 目 標	1. 文学の魅力と価値について理解している。 2. 自身から読みたいと思う文学作品と出会うことができる。 3. 文学を通じて社会と歴史についての考察力を身に付けている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1. 2 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の始まりにあたって～文学とどう関わるのか	予習	これまでの読書体験を書き出す				
				復習	印象に残った作品を振り返る				
	第 2 回	内容	古事記神話～神話はなぜ必要とされたのか	予習	古事記の成立、時代背景について調べる				
				復習	授業で学んだ神話についてノートにまとめる				
	第 3 回	内容	古事記神話～神話の影響	予習	第 2 回で指示した課題について調べる				
				復習	登場した神々についてノートにまとめる				
	第 4 回	内容	万葉集～うたと文学との出会い	予習	万葉集の特色について調べる				
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる				
	第 5 回	内容	万葉集～様々なうたの魅力	予習	歌が当初どう表記されていたのか調べる				
				復習	取り上げた歌をノートにまとめる				
	第 6 回	内容	竹取物語～かぐや姫の真実	予習	竹取物語について調べる				
				復習	物語の特色についてノートにまとめる				
	第 7 回	内容	竹取物語の本当の面白さ	予習	全体のあらすじを調べる				
				復習	結末の意味することをよく考えてまとめる				
	第 8 回	内容	源氏物語～なぜ名作と評価されるのか	予習	源氏物語の特色、内容、作者について調べる				
				復習	物語の展開をノートにまとめる				
	第 9 回	内容	源氏物語～作者が伝えたかったこと	予習	第 3 部「宇治十帖」について調べる				
				復習	作者が伝えようとしたことに思いを馳せる				
	第 10 回	内容	宇治拾遺物語～お話し「瘤取りじいさん」の原像	予習	自分が知っている昔話を書き出す				
				復習	「瘤取りじいさん」の原話をノートにまとめる				
	第 11 回	内容	宇治拾遺物語～お話し「藁しべ長者」の原像	予習	昔ばなし「藁しべ長者」について調べる				
				復習	「藁しべ長者」の原話をノートにまとめる				
	第 12 回	内容	百人一首～どのように作られたか、うたの歴史の中で	予習	知っている「百人一首」の和歌を書き出す。				
				復習	成立と学んだ歌の背景を整理してまとめる				
	第 13 回	内容	つれづれ草～兼好法師の人生観と人間性	予習	つれづれ草について調べる				
				復習	授業で読んだ章段をノートにまとめる				
	第 14 回	内容	閑吟集と柳多留～流行歌謡と江戸川柳	予習	「小歌」と「川柳」について調べる				
				復習	授業で学んだ小歌と川柳をノートにまとめる				
	第 15 回	内容	宮澤賢治～何を伝えようとしたのか	予習	宮沢賢治の経歴と作品について調べる				
				復習	賢治は詩や童話で何を伝えたかったのか考える				
	予習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 1 2 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ % ）、レポート・課題（ 7 0 % ）、作品・発表（ % ）、実技（ % ）、授業態度【自主性】（ 3 0 % ）							
教科書	適宜資料を配布。								
参考文献	必要に応じて指示。								
補足事項									

科 目 名	異文化コミュニケーション		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	しばた 柴田 かおる
ナンバリングコード	CUL3121		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	自分の常識が他人には通用しないことがあります。これは相手が誰であっても、その人物が育ってきた環境、文化、歴史などが異なることから生じる価値観の違いによるものです。このクラスでは、自分と違う価値観を持つ人々とのコミュニケーションを円滑に行うためには相手をより理解する力が身に付きます。							
到 達 目 標	1. 人種民族国籍年齢性別を問わず自分と違う文化の人々を理解し受け入れることができる。 2. 自分と価値観や考え方の違う人々に、自分の考えを伝えることができる。 3. 異文化の人々に自国の文化についての的確に説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 異文化とは何かについての考察	予習	シラバスを読んでくる			
				復習	異文化とは何かについて考えてみる			
	第2回	内容	身の回りで発見した異文化について考察する	予習	自分にとっての異文化について調べる			
				復習	異文化にいる人とのコミュニケーションについて考える			
	第3回	内容	食に見出す異文化についての考察1	予習	色の体験で異文化であると感じたことについてまとめてくる			
				復習	自分がある「食」について異文化であると感じる理由を考えてみる			
	第4回	内容	食に見出す異文化についての考察2	予習	自分にとって大切な食文化をどう説明するか考える			
				復習	自分が絶対に必要な食について、それを知らない人々に説明してみる			
	第5回	内容	日本国内で起きる異文化との摩擦について事例研究1	予習	身近なところで起きている異文化との摩擦について調べる			
				復習	異文化との摩擦が起きる原因を考える			
	第6回	内容	日本国内で起きる異文化との摩擦について事例研究2	予習	異文化に属する人々から見て、自分が当たり前と感じている文化はどう見られているか考えてくる			
				復習	自分が属する文化をどう説明すれば理解されるか考える			
	第7回	内容	贈り物について文化による違いを考察する	予習	自分が贈り物をするのはどういう時でどういう方法をとるのかまとめてくる			
				復習	文化による贈り物の違いを調べる			
	第8回	内容	危機対応の方法について各国の違いを考察	予習	ニュースを参考に、異文化の人々のパンデミックへの対応が自分とはどう違うのか気が付いたことを挙げてみる			
				復習	パンデミックに対して自分と異なる対応をする文化について調べる。			
	第9回	内容	海外で起きている異文化間摩擦について1	予習	海外で起きている異文化摩擦の事例に興味のあるものについて調べる			
				復習	海外で起きている異文化摩擦の原因について考察する			
	第10回	内容	海外で起きている異文化間摩擦について2	予習	海外で起きている異文化摩擦で理解できないものについて、なぜ理解できないのか考えてくる			
				復習	自分が理解できなかった海外の異文化摩擦の事例について調べる			
	第11回	内容	自分と異なる宗教観について考察する1	予習	日本人は宗教心がないという人がいるが、果たして本当にそうか考えてくる			
				復習	興味のある宗教について調べる			
	第12回	内容	自分と異なる宗教観について考察する2	予習	興味のある宗教について調べて発見したことをまとめてくる			
				復習	文化によってことなる宗教の位置づけを考察する			
	第13回	内容	異文化から来た人々と意思の疎通を図る	予習	異文化から来た人々に自分の考えを伝える方法を考えてくる			
				復習	異文化から来た人々を理解するのに大切なことを考える			
	第14回	内容	異文化から来た人々に日本について紹介する	予習	日本について自分は何を紹介できるのか考えてくる			
				復習	日本について自分が紹介したいことを調べてまとめる			
	第15回	内容	授業の総括と演習	予習	ニュースを題材にして、異文化で起きたことで理解困難なことを考えてくる			

				復習	ニュースを題材にして、異文化で起きたことで理解しづらかったことについてその背景を調べる。
	予習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題は授業中に発表してもらい、その場で感想や評価を伝えます。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 80 %）、授業態度【 積極的に発表し、ディスカッションに参加、私語を慎む、ノートをとる 】（ 20 %）				
教科書	その都度資料配布/google classroom にて、参考サイトの告知				
参考文献	特になし				
補足事項	授業中の私語は控えてください。 身の回りで異文化を意識することがあったら、それを小まめにメモして授業で生かしてください 日本国内外のニュースで、理解できないことに接したとき、なぜ理解できないのかを考える習慣をつけてください 授業はディスカッション、発表を中心にして進めていきます。グループワークも行います。				

科 目 名	情報と社会		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ひ だ あつこ 樋田 敦子
ナンバリングコード	GEE3111		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	私たちの生きているこの社会に渦巻く情報。社会人としての適切な判断、合理的な推論、自発的な発表等ができる力を育成することを目標とする。メディアと情報の観点から現代社会における各種の社会問題を取りあげて、民主主義における法理論的側面も含めて考察する授業である。							
到 達 目 標	1. 現実の社会問題に関して法的根拠に基づいて合理的な判断を下す力を身につけている。 2. 現実の社会問題を分析し、自分なりの意見を持つことができる。 3. その意見を発表、表明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2、3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス。あなたが関心を持っている社会問題は？	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	授業内容を理解する			
	第 2 回	内容	民主主義と表現の自由についての関係	予習	表現の自由について調べておく			
				復習	授業内容のポイントを箇条書きにする			
	第 3 回	内容	取材と報道の自由。報道の自由の意味、範囲について解説する。	予習	報道の自由について調べておく			
				復習	授業内容のポイントを箇条書きにしておく			
	第 4 回	内容	人権侵害、誹謗中傷とは	予習	誹謗中傷について調べ、自分の意見をまとめる			
				復習	授業の内容を振り返っておく			
	第 5 回	内容	子どもをめぐる問題についていじめ、虐待、貧困	予習	子どもの権利について調べておく			
				復習	授業の内容を振り返る			
	第 6 回	内容	あなたの興味のある SDGs のゴールは？	予習	SDG s について調べておく			
				復習	授業の内容を振り返る			
	第 7 回	内容	ジェンダーを考える	予習	ジェンダーとは何かを調べておく			
				復習	授業の内容を振り返る			
	第 8 回	内容	ジェンダーから読み解く社会	予習	ジェンダーが社会に及ぼす影響について考える			
				復習	2 回分の授業内容の要旨をまとめる			
	第 9 回	内容	振り返りと小テスト	予習	これまで学んできたことを確認する			
				復習	テストの確認			
	第 10 回	内容	民法をめぐる問題について、選択的夫婦別姓など	予習	民法をめぐる裁判について調べる			
				復習	授業の内容を振り返る			
	第 11 回	内容	世界の中の日本国憲法	予習	日本国憲法を読んでおく			
				復習	授業の内容を振り返る			
	第 12 回	内容	新聞を使つての情報分析と自分なりの意見発表	予習	新聞からテーマを抽出しておく			
				復習	授業の内容を振り返る			
	第 13 回	内容	「労働する」を助ける労働法	予習	労働法について読んでおく			
				復習	授業の内容を振り返る			
	第 14 回	内容	政治と社会の担い手になる	予習	選挙について考えておく			
				復習	授業の内容を振り返る			
	第 15 回	内容	まとめ 小テスト	予習	これまでのノートの確認			
				復習	これまでの授業を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	適宜、確認のための時間を設ける							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（ 60％）、作品・発表（ 20 ）、実技（ ）、授業態度【 積極的参加 】（20 ）							
教科書	特になし。単元ごとにプリント教材を配布する							
参考文献								
補足事項	本授業は対面が基本で、アクティブラーニングを取り入れ、教員提示の新聞記事などによる具体的事例について自分の考えを表明できるように促す。							

科 目 名	現代社会入門		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子	
ナンバリングコード	GEE3112		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	短大生として知っておくべき基本的な社会的事柄や、今後、考えていくべき事柄について提供していきます。授業を通して、今まで常識的に知っている事柄が意外に違っていることや、知らないことを知ることの重要性を再確認していただけるような内容をお伝えしていきたいと思えます。積極的に社会がよりよくなっていくには、どうしたらよいかについて考えていくための事柄も提供していきます。								
到 達 目 標	1. オリンピックについて詳しく説明できる 2. 政治や選挙制度のあり方について、自分なりの見解を述べることができる 3. 戦争や女性について、自分なりの意見を詳しく述べることができる								
学位授与方針	文化表現学科（ 1・3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション：諸注意と諸説明	予習	自分なりに社会的な問題を列挙しまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第2回	内容	オリンピックについて：発祥と意味など	予習	オリンピックの意味について調べておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第3回	内容	オリンピックについて：招致と金銭の問題等	予習	オリンピックの問題点について調べておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第4回	内容	オリンピックについて：テロとの関係等	予習	オリンピックのテロについて調べまとめる				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第5回	内容	日本の政治について考える	予習	政治について知っていることをまとめておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第6回	内容	国会の仕組みと内閣について考える	予習	国会や内閣について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第7回	内容	選挙制度と政党について考える	予習	選挙制度や政党について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第8回	内容	世界の子どもたちについて知る：アフリカ・ロシア等	予習	アフリカやロシアなどについて詳しく調べる				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第9回	内容	世界の子どもたちについて知る：アメリカ・ブラジル等	予習	アメリカやブラジルなどについて詳しく調べる				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第10回	内容	日本国憲法と基本的人権について考える	予習	日本国憲法について調べてまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第11回	内容	憲法改正問題について考える	予習	憲法改正について詳しく調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめておく				
	第12回	内容	戦争について考える	予習	第二次世界大戦について調べまとめておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第13回	内容	戦争と女性について考える	予習	戦争と性犯罪について調べまとめておく				
				復習	理解したことをまとめる				
	第14回	内容	原爆と原発について考える	予習	原爆と原発事故について調べまとめておく				
				復習	興味をもったことについて調べまとめる				
	第15回	内容	まとめ	予習	これまでに学んだことについてまとめておく				
				復習	興味をもったことについて詳しく調べる				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	小テストを実施するなどして、その都度、学生たちの理解度を把握し、次の学習につなげていくようにアドバイスしていく							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、授業態度【 積極的参加など 】（20%）							
教科書	特に指定はしません。								
参考文献	授業中に必要に応じて適宜、紹介していきます。								
補足事項	ニュースや新聞などに目を通し、主体的に気になることや興味のあることについて調べていってほしいと思います。								

科 目 名	心理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	PSY3111		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本講義では、発達を中心に心理学の領域全般を概観し、心理学の基礎的知識の習得と将来の社会生活や職場で活かせる基本的な心理学の考え方の育成を図ることを目的とする。							
到 達 目 標	1. 心理学の基礎的知識を正確に習得している。 2. 心理学的に社会の事象を理解している。 3. 学んだ知識を自己の社会生活に活かすことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1, 2, 3）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読んでおく。			
				復習	講義の過程と内容を理解する。			
	第 2 回	内容	心理学とは何か	予習	心理学について調べる。			
				復習	心理学の概要を整理する。			
	第 3 回	内容	生理心理学	予習	生理心理学について調べる。			
				復習	特に脳と心の関係を整理する。			
	第 4 回	内容	人格心理学	予習	人格心理学について調べる。			
				復習	パーソナリティの成り立ちを整理する。			
	第 5 回	内容	認知心理学	予習	認知心理学について調べる。			
				復習	心的過程を整理する。			
	第 6 回	内容	ディスカッション①(心の機能)	予習	各自の発表の観点を整理しておく。			
				復習	新たに得た知見をまとめる。			
	第 7 回	内容	発達心理学①(親子関係)	予習	親子の絆を考える。			
				復習	親子関係の理論を整理・理解する。			
	第 8 回	内容	発達心理学②(ライフサイクル)	予習	発達心理学について調べる。			
				復習	発達段階と発達課題について整理する。			
	第 9 回	内容	学習心理学	予習	学習心理学について調べる。			
				復習	学習の形態を整理する。			
	第 10 回	内容	ディスカッション②(心の発達)	予習	ディスカッション 2 (心の発達)			
				復習	新たに得た知見をまとめる。			
	第 11 回	内容	臨床心理学①(心の基礎理論)	予習	臨床心理学について調べる。			
				復習	臨床心理学の考え方を整理する。			
	第 12 回	内容	臨床心理学②(心理療法の考え方とその過程)	予習	心理療法について調べる。			
				復習	各心理療法の特徴を整理する。			
	第 13 回	内容	社会心理学	予習	社会心理学について調べる。			
				復習	代表的な社会心理学の考え方を整理する。			
	第 14 回	内容	ディスカッション③(心の理解と対応)	予習	各自の発表の観点を整理しておく。			
				復習	新たに得た知見をまとめる。			
第 15 回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。				
			復習	学んだことを今後に活かせるように心がける。				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	講義の中で発表やレポートについての講評をおこなっていく。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（40%）							
教科書	特に指定しない。							
参考文献	講義の中で必要に応じて適宜紹介する							
補足事項	講義とディスカッションを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他、受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。							

科 目 名	コミュニケーション論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	ひだ あつこ 樋田 敦子	
ナンバリングコード	CAE3111		授業形態	講義	実務経験	○			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	私たちが日常生活の中で受容している情報を適切に判断し、合理的な推論をしたうえで、アウトプットしている。そこで必要になるのは、相手の意図を読み取る力と自分の考えを伝える力だ。その力の構築を目指して授業を進めていく。実際にどのようにコミュニケーションをとっているのか。学生同士で意見交換しながら発表する力をつけていく。								
到 達 目 標	1. 受容した情報はどのようなことを意味するのかを他者に説明できる。 2. メディアから得た情報の真偽はどうか。判断できる力を身につけている。 3. ネット社会の中で大学生、社会人としてどう対処していくか理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス コミュニケーションとは何か	予習	シラバスに目を通す				
				復習	コミュニケーションとは何かを考える				
	第2回	内容	自己表現のコミュニケーション	予習	自己表現とは何かについて考える				
				復習	自分の自己表現方法について振り返る				
	第3回	内容	人間はどのように情報を受け取るか	予習	新聞を読む				
				復習	情報の取得方法について振り返る				
	第4回	内容	言葉とイメージ	予習	新聞を読む				
				復習	言葉にyついて考えをまとめる				
	第5回	内容	メディアのコミュニケーション能力	予習	ニュースを調べる				
				復習	メディアについて考察する				
	第6回	内容	メディアは社会とどうつながっているか	予習	新聞を読む				
				復習	メディアと社会について考えをまとめる				
	第7回	内容	伝える力とスマホ能	予習	新聞を読む				
				復習	自分の考えをまとめてみる				
	第8回	内容	まとめと振り返り	予習	これまでのプリントを読む				
				復習	振り返りテストを振り返る				
	第9回	内容	うわさのコミュニケーション	予習	新聞を読む				
				復習	うわさで気になった点はどこか考える				
	第10回	内容	家族のコミュニケーション、組織のコミュニケーション	予習	新聞を読む				
				復習	自分の家族を考える				
	第11回	内容	ストレスコミュニケーション	予習	これまでのプリントを読む				
				復習	プリントを読んで振り返る				
	第12回	内容	ジェンダーコミュニケーション	予習	新聞を読む				
				復習	ジェンダーをまとめよう				
	第13回	内容	異文化コミュニケーション	予習	新聞を読む				
				復習	身近な異文化コミュニケーションを思う				
	第14回	内容	アイデンティティー	予習	新聞を読む				
				復習	アイデンティティを考える				
	第15回	内容	まとめ	予習	プリントを読んでおく				
				復習	これまでの授業全体を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	振り返りとまとめの時間を取り、確認していく							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ % ）、レポート・課題（ 60 % ）、作品・発表（ 20 % ）、実技（ % ）、授業態度【 積極性 】（ 20 % ）							
教科書	適宜、プリントを用意する								
参考文献	特になし								
補足事項	日ごろから新聞、雑誌、書籍を読み、言葉のコミュニケーションについて考えておく								

科 目 名	データサイエンス		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	INS3121		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本授業では、パソコンの表計算ソフトウェアを併用した統計処理の基本を学ぶ。また、実在の集計データ（学外事業体が公開提供しているものなど）を用いて、データ処理業務の一端を模擬的に体験する。さらに、統計処理の意義を念頭に置きつつ、情報リテラシー（情報倫理や情報セキュリティなど）を前提とする、業務上の判断能力）の在りかたを考察する。 この授業は各年度一年生（学科不問）向けの選択科目として開講されるが、在学生（二年生以上／学科不問）も履修することができる。							
到 達 目 標	1. データ処理演習を通して、データが内包する様々な情報の意味を理解している。 2. パソコンを積極的に活用する作業について、その利便性や問題点を理解している。 3. 今後の社会に必要とされる基本的な数理的思考や、データの分析・活用力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2, 3, 4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業全体のガイダンス	予習	シラバスを読んで、授業の流れを把握する。			
				復習	ガイダンス資料を精読して、疑問点を整理する。			
	第 2 回	内容	統計学を学ぶ意義	予習	教科書第 1 章を通読する。			
				復習	教科書第 1 章の内容を精読し理解する。			
	第 3 回	内容	可視化を通して分かるデータの性質	予習	教科書第 2 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 2 章の内容を理解する。			
	第 4 回	内容	様々な統計量①（平均値、中央値、最頻値、最大値、最小値、その他）	予習	教科書第 3 章の前半を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 3 章前半の内容を理解する。			
	第 5 回	内容	様々な統計量②（歪度、尖度、標準偏差、分散、その他）	予習	教科書第 3 章の後半を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 3 章全体の内容を理解する。			
	第 6 回	内容	様々な統計量③（順位、偏差値、ABC 分析、その他）	予習	教科書第 4 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 4 章全体の内容を理解する。			
	第 7 回	内容	情報リテラシー入門（情報リテラシーとは何か）	予習	配布資料を通読する。			
				復習	配布資料の内容を精読し理解する。			
	第 8 回	内容	統計処理の模擬業務①（実在のデータに対する各種統計処理の実践）	予習	配布資料を通読して、必要な準備作業を行う。			
				復習	統計処理を通して各種統計量の意義を理解する。			
	第 9 回	内容	統計学演習①（相関関係、回帰分析、その他）	予習	教科書第 5 章の前半を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 5 章前半の内容を理解する。			
	第 10 回	内容	統計学演習②（重回帰分析、その他）	予習	教科書第 5 章の後半を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 5 章全体の内容を理解する。			
	第 11 回	内容	統計学演習③（時系列解析、その他）	予習	教科書第 6 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 6 章全体の内容を理解する。			
	第 12 回	内容	統計学演習④（平均値の差の検定、分散の差の検定、その他）	予習	教科書第 7 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書第 7 章全体の内容を理解する。			
	第 13 回	内容	統計学演習⑤（独立性の検定、相関の検定、重回帰分析の検定、その他）	予習	教科書第 8 章を通読する。			
				復習	演習を通して教科書全章全体の内容を理解する。			
	第 14 回	内容	統計処理の模擬業務②（実在のデータに対する各種統計処理の実践、および得られた結果に対する解釈・考察）	予習	配布資料を通読して、必要な準備作業を行う。			
				復習	処理結果に関する解釈・考察をレポート化する。			
	第 15 回	内容	全体の総括（統計処理の立場からみた情報リテラシー）	予習	教科書全体および全配布資料を通読する。			
				復習	情報リテラシーの在りかたを再度考察する。			
予習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業開講期間中、履修者と教員との面談を行う（面談に対する成績評価は「授業態度」に含まれる）。 授業開講期間中、実在の集計データに対する統計処理を行い、その処理結果から得られる解釈・考察の内容をレポート化する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50％）、作品・発表（25％）、授業態度【積極的参加】（25％）							
教科書	『やさしく学ぶ データ分析に必要な統計の教科書』（羽山 博著、株式会社インプレス刊）							
参考文献	必要に応じて紹介する。							

補足事項	1. この授業は新入生向けの授業であるが、履修計画に余裕のある在生も受講することができる。 2. 本授業で取り上げる統計処理では、いずれも Microsoft Excel の標準搭載機能を利用する。そのため、本授業の履修を通して、“統計学の基本知識の習得” および “Microsoft Excel の操作全般に係る総復習” の機会を得ることができる。 3. 上記「授業計画」の内容は、授業の実際の進行具合などに応じて、適宜変更されることがある。 4. 担当教員の業務都合などの理由を通して授業の開講日時が変更される場合は、教務課掲示板等にて通知する。
------	--

科 目 名	SDG s 入門		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治 他
ナンバリングコード	GEE3121		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この授業は、所属学科を問わず、誰でも履修することができる。 SDGs (Sustainable Development Goals／日本語訳「持続可能な開発目標」) の具体的な内容の学習を通して、日本および世界の現状を知るとともに、社会の一員としての自己啓発意識を育てる。この授業では全17 個ある目標のうち、特に本学の学生に必要な14 個の目標について学ぶ。							
到 達 目 標	1． SDGs の提唱意義および内容を理解している。 2． SDGs への理解を通して、日本および世界の現状を見抜く洞察力を習得している。 3． SDGs の学習を通して、社会人としての自覚を持ち、社会への貢献に係る考察力を身に付けている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2,3,4 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	総論（授業の進め方、MDGs から SDG へ、SDGs 制定の歴史的背景、MDGs と SDGs の相違、その他）[北野・星野]	予習	シラバスに目を通しておく。			
				復習	授業の目的を理解する。			
	第2回	内容	目標1：あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる [加賀谷]	予習	SDGs の「目標1」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第3回	内容	目標2：飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する [橋本]	予習	SDGs の「目標2」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第4回	内容	目標3：あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する [関]	予習	SDGs の「目標3」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第5回	内容	目標4：すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する [伊澤]	予習	SDGs の「目標4」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第6回	内容	目標5：ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る [信田]	予習	SDGs の「目標5」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第7回	内容	目標6：すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する [北野]	予習	SDGs の「目標6」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第8回	内容	目標7：すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する [北野]	予習	SDGs の「目標7」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第9回	内容	目標8：すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する [野中]	予習	SDGs の「目標8」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第10回	内容	目標10：国内および国家間の不平などを是正する [野中]	予習	SDGs の「目標10」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第11回	内容	目標12：持続可能な消費と生産のパターンを確保する [中村]	予習	SDGs の「目標12」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第12回	内容	目標13：気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る [北野]	予習	SDGs の「目標13」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第13回	内容	目標14：海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する [中村]	予習	SDGs の「目標14」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
	第14回	内容	目標15：陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物の多様性損失の阻止を図る [中村]	予習	SDGs の「目標15」について概要を把握する。			
				復習	配布資料などを通して授業内容を理解する。			
第15回	内容	目標16：持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある法制的な制度を構築する [鈴木] 総括（全体のまとめ、その他）[北野・星野]	予習	SDGs の「目標16」について概要を把握する。				
			復習	これまでの全配布資料などを通して授業全体を理解するとともに、今後の履修者自身の SDGs への貢献について考察する。				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回の授業におけるリアクションペーパー等の記述および提出（詳細は各回の担当教員が指示する）を通して、SDGs 全般への理解を深める。							

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（５０％）、授業態度【積極的参加】（５０％）
教科書	必要に応じて紹介する。
参考文献	必要に応じて紹介する。
注意事項	この授業は新入生向けの授業であるが、履修計画に余裕のある在生も受講することができる。 この授業は、複数の教員が共同担当するオムニバス形式の対面授業である。取り扱うテーマごとに、担当教員は異なる。なお、授業回によっては対面方式ではなく、オンデマンド遠隔方式（Google Classroom 等を利用）で開講される（詳細は別途通知する）。 2023（令和５）年度開講分の担当教員[授業担当コマ数]は、次のとおりである（担当順。各教員の担当授業回は「授業計画」欄を参照）。 北野大[5]、加賀谷崇文[1]、橋本洋子[1]、関維子[1]、伊澤永修[1]、信田理奈[1]、野中博史[2]、中村陽一[3]、鈴木みなみ[1]、星野治[2] 教員によっては、リアクションペーパーとは別に、追加の課題を出題することがある（詳細は、各授業の担当教員の指示に従うこと）。

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳	
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	心理学、コミュニケーション、アサーション等に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、ゼミ担当教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には発表会が行われる。このことを通じて社会人として必要な専門的知識を深化させる。								
到 達 目 標	1．卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得している。 2．学生個々が選んだテーマに関する見識を深めている。 3．問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1,2,3）								
授 業 計 画	第1回	内容	本ゼミの方針と年間計画等	予習	シラバスやゼミ案内書を読む。				
				復習	ゼミ内容と年間計画について理解する。				
	第2回	内容	論文作成についての概説①	予習	論文とは何か、その概要を調べる。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第3回	内容	論文作成についての概説②	予習	前回の講義内容を理解する。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第4回	内容	各学生による研究テーマの選定①	予習	テーマについて考える。				
				復習	テーマの選定方法について理解する。				
	第5回	内容	各学生による研究テーマの選定②	予習	自己の卒論テーマを考える。				
				復習	テーマの選定を実際に試みる。				
	第6回	内容	各学生による研究テーマの選定③	予習	自己の卒論テーマをしぼる。				
				復習	テーマの選定を実際に試みる。				
	第7回	内容	文献・資料収集①	予習	テーマに関連する文献を探す。				
				復習	文献を読む。				
	第8回	内容	文献・資料収集②	予習	文献研究の概要を調べる。				
				復習	文献研究の意義と方法について理解する。				
	第9回	内容	中間発表会	予習	レジュメ作成。				
				復習	レジュメの修正。				
	第10回	内容	論文執筆の関する説明	予習	論文に関して、これまでの学びの展開。				
				復習	講義内容を理解する。				
	第11回	内容	論文執筆①	予習	論文を書く。				
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
	第12回	内容	論文執筆②	予習	論文を書く。				
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
	第13回	内容	論文執筆③	予習	論文を書く。				
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
	第14回	内容	論文執筆④	予習	論文を書く。				
				復習	助言等を活かしながら論文執筆を継続。				
	第15回	内容	卒論発表会	予習	レジュメの完成、配布。				
				復習	論文作成を今後に生かすことを考える。				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	テーマの選定と卒論制作過程および卒論発表会を通して必要なフィードバックをおこなう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（80%）、作品・発表（20%）							
教科書	特に指定しない。								
参考文献	特に指定しない。								
補足事項									

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナソバ°リンク°コート°	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）							
授 業 の 内 容	本ゼミナールではコンピュータに関することを学びます。特に、デジタル作品の制作（動画編集、3D モデル作成、3D プリンタなど）を学習します。また、VR の体験やコミュニケーション能力向上のためのグループワークなどや、ICT を活用し、スマートフォンやタブレットを用い、コメント・投票など双方向型授業も行ないます。							
到 達 目 標	1. コンピュータに関する知識を身につけている。 2. デジタル作品を制作するための知識やスキルを身につけている。 3. ゼミナールⅡに向けて、必要な基本的なコンピュータ技術を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	動画編集① AviUtl の基本的操作	予習	AviUtl について調べる			
				復習	AviUtl の基本的操作を復習する			
	第3回	内容	動画編集② 動画のカット編集	予習	カット編集について調べる			
				復習	カット編集の仕方を復習する			
	第4回	内容	3D モデルの作成① Blender の基本的操作	予習	Blender について調べる			
				復習	Blender の操作について復習する			
	第5回	内容	3D モデルの作成②	予習	作成したいデジタル作品を考える			
				復習	Blender の操作を復習する			
	第6回	内容	3D プリンタ	予習	3D プリンタについて調べる			
				復習	作品の制作を振り返る			
	第7回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク	予習	グループワークで行なうテーマについて調べる			
				復習	グループワークを振り返る			
	第8回	内容	VR の体験・e スポーツ①	予習	VR について調べる			
				復習	VR の活用について考える			
	第9回	内容	VR の体験・e スポーツ②	予習	e スポーツについて調べる			
				復習	e スポーツの活用について考える			
	第10回	内容	動画撮影①	予習	撮影のための機材を確認する			
				復習	撮影の仕方を復習する			
	第11回	内容	動画撮影②	予習	撮影のための機材を確認する			
				復習	撮影の仕方を復習する			
	第12回	内容	動画編集③ ストップモーション動画の作成	予習	ストップモーション動画を調べる			
				復習	ストップモーション動画の構想を整理する			
	第13回	内容	動画編集④ ストップモーション動画の作成	予習	ストップモーション動画の構想を確認する			
				復習	ストップモーション動画作成を振り返る			
	第14回	内容	MMD 動画作成①	予習	MMD について調べる			
				復習	MMD の基本的操作を復習する			
	第15回	内容	MMD 動画作成②	予習	MMD の動きを考える			
				復習	MMD の作品を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品への講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 20 %）、作品・発表（ 30 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 50 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）							
授 業 の 内 容	2年次の卒業論文・卒業制作にむけて必要な知識と技能を身に着けるための授業です。文献探索の方法、探索した文献の講読、レポート・論文の作成方法、執筆に使うソフトの使い方について学び、最終的に授業での成果をまとめて発表します。また、授業を通してゼミナールⅡで扱うテーマ（図書館、公共サービス、生涯学習等について）を決定します。							
到 達 目 標	1. 文献を探索・収集し、整理する能力を身に着けている 2. 文献調査の結果を文章としてまとめ、発表することができる 3. 卒業論文執筆時に必要なツールを使用することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2、3、4 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスをよく読んでおく			
				復習	自分が研究したいテーマについて考える			
	第2回	内容	レポート・論文の作成方法	予習	引用とは何か調べておく			
				復習	レポート・論文の作成方法について理解する			
	第3回	内容	文章作成ソフト（ワード、ドキュメント）の使用方法	予習	ワードもしくはドキュメントを使用できるようにしておく			
				復習	授業内で扱った機能を再度使用し、復習する			
	第4回	内容	表計算ソフト（エクセル、スプレッドシート）の使用方法	予習	エクセルもしくはスプレッドシートを使用できるようにしておく			
				復習	授業内で扱った機能を再度使用し、復習する			
	第5回	内容	プレゼンテーションソフト（パワーポイント、スライド）の使用方法	予習	パワーポイントもしくはスライドを使用できるようにしておく			
				復習	授業内で扱った機能を再度使用し、復習する			
	第6回	内容	文献探索の方法：CiNii、Google Scholar	予習	CiNii Research にアクセスして使ってみる			
				復習	オンライン上での文献調査について理解する			
	第7回	内容	文献探索の方法：図書、雑誌、新聞記事	予習	大学図書館のOPACを使ってみる			
				復習	紙資料の文献調査について理解する			
	第8回	内容	テーマの決定と論文構成の決定	予習	自分が研究したいテーマについて考える			
				復習	教員と相談し、論文の構成を決定する			
	第9回	内容	各自のテーマに応じた文献探索の実施	予習	文献探索を行い、講読する文献の候補を決めておく			
				復習	文献を入手し、予読する			
	第10回	内容	文献講読①	予習	研究テーマに即した文献を読んでまとめる			
				復習	自分のテーマとの関連性について考察する			
	第11回	内容	文献講読②	予習	研究テーマに即した文献を読んでまとめる			
				復習	自分のテーマとの関連性について考察する			
	第12回	内容	レポート作成①	予習	レポートの構成を考えてくる			
				復習	教員と相談しながら執筆を進める			
	第13回	内容	レポート作成②	予習	12回でコメントされた部分の修正を行う			
				復習	最終修正とチェックを行う			
	第14回	内容	発表準備	予習	スライドの構成を考えてくる			
				復習	スライドの修正を行う			
	第15回	内容	成果発表	予習	発表練習をする			
				復習	振り返りシートを記入する			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題、成果物へのコメントを返却します。また、テーマや進捗状況に応じて個別指導を行います。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70 %）、作品・発表（30 %）、実技（ ）、授業態度【 】（ %）							
教科書	指定しません。資料を配布します。							
参考文献	指定しません。ゼミ内で紹介・配布します。							
補足事項	積極的にゼミに参加してください。また、必要に応じて個別指導を行います。気軽に相談してください。							

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之	
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	卒業研究・論文・制作を作成する2年時のゼミナールⅡに向けた準備のための授業。日本文学について学ぶことが中心であるが、歴史や文化に興味のある人も対象とする。こうした分野への関心の立て方や問題意識をどのように掘り起すのか、宇治拾遺物語と小泉八雲の『怪談』を読み進める中で指導する。								
到 達 目 標	1. ゼミナールⅡのテーマを決定できる。 2. 日本の文学・文化・歴史についての基礎知識を身に付けている。 3. 資料の収集と整理の方法を習得している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1. 2 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ゼミナールの意義と今後の方針について	予習	関心のある作者作品を書き出す				
				復習	自身のテーマを幾つかに限定する				
	第2回	内容	印象に残る読書と残らない読書の違い	予習	これまでの読書歴を書き出す				
				復習	読書に関して留意すべき事柄をまとめる				
	第3回	内容	宇治拾遺物語をよむ①昔話を含むこと	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す				
				復習	昔話の歴史的社会的背景について整理する				
	第4回	内容	宇治拾遺物語をよむ②原話が伝えること	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す				
				復習	昔話「こぶとり爺さん」との違いをまとめる				
	第5回	内容	宇治拾遺物語をよむ③原話が伝えること	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す				
				復習	昔話「わらしべ長者」との違いをまとめる				
	第6回	内容	宇治拾遺物語をよむ④昔話と社会通念	予習	配布資料を読んで疑問点を書き出す				
				復習	現代との社会通念の違いをノートにまとめる				
	第7回	内容	怪談をよむ①源平の争乱と「耳なし芳一」	予習	小泉八雲について調べる				
				復習	平家物語の壇ノ浦の戦いと安德天皇についてノートにまとめる				
	第8回	内容	怪談をよむ②「耳なし芳一」から亡霊について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す				
				復習	亡霊のイメージを整理してノートにまとめる				
	第9回	内容	怪談をよむ③「お貞の話」から転生について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す				
				復習	転生についてノートにまとめる				
	第10回	内容	怪談をよむ④「勝五郎の転生記」から転生について考える	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す				
				復習	転生についてノートにまとめる				
	第11回	内容	銀河鉄道の夜をよむ①作者宮沢賢治の生涯	予習	宮沢賢治について調べる				
				復習	宮沢賢治の生涯をノートにまとめる				
	第12回	内容	銀河鉄道の夜をよむ②午後の授業と星まつりの夜	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す				
				復習	「よむ」際の留意事項についてノートにまとめる				
	第13回	内容	銀河鉄道の夜をよむ③鳥を取る人	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す				
				復習	「よむ」際の留意事項についてノートにまとめる				
	第14回	内容	銀河鉄道の夜をよむ④宮沢賢治が伝えようとしたこと	予習	前回の配布資料から疑問点を書き出す				
				復習	「よむ」際の留意事項について過去の分と合わせて整理してまとめる				
	第15回	内容	「よむ」という行為についてまとめる	予習	これまでのノートを見直して疑問点を書き出す				
				復習	読書の作法についてノートを整理してまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 70 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 主体性 】（30 %）							
教科書	その都度指示する								
参考文献	適宜支持する								
補足事項									

科 目 名	ゼミナールⅠ		単 位 数	1	授業時間数	30	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美	
ナンバリングコード	SEM3221		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	Web デザインの知識とスキルを学習する。前半は「利用者にとって魅力的な Web デザインとは何か」をテーマに、自分の好きな Web サイトを選び、構成内容や使い勝手、デザインに着目して魅力を調査・考察する。後半は、ゼミナールⅡに向けて、Web サイトの制作方法を習得していく。								
到 達 目 標	1. テーマを理解して、調査しまとめることができる。 2. 自らの考えを伝える表現の工夫ができる。 3. Web サイト制作の基礎的な技術を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2.3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	Web デザインとは	予習	Web デザインについて調べる				
				復習	お気に入りのサイトをピックアップする				
	第3回	内容	情報収集：調査サイトの選定	予習	お気に入りのサイトの魅力を考える				
				復習	複数のサイトを比較する				
	第4回	内容	情報収集：同業サイトとの違いや特徴の調査	予習	サイトのターゲットを考える				
				復習	サイトの目的や特徴、ターゲットをまとめる				
	第5回	内容	プレゼンテーション準備①スライド作成	予習	サイトのデザインを比較する				
				復習	スライドの構成を考える				
	第6回	内容	プレゼンテーション準備②文章と言葉の選びかた	予習	スライドの内容を考える				
				復習	スライドの言葉を見直す				
	第7回	内容	プレゼンテーション準備③図解化	予習	スライドをまとめる				
				復習	発表準備をする				
	第8回	内容	プレゼンテーション発表	予習	発表準備をする				
				復習	発表の振り返りを行う				
	第9回	内容	サイトの制作①HTML ファイル作成	予習	フォルダとファイルを理解する				
				復習	HTML ファイルを作成する				
	第10回	内容	サイトの制作②CSS ファイル作成	予習	CSS ファイルの作り方を理解する				
				復習	デザインが反映しているか確認をする				
	第11回	内容	サイトの制作③レイアウト指定	予習	div タグを理解する				
				復習	レイアウトが反映しているか確認をする				
	第12回	内容	サイトの制作④フォームの作成	予習	フォームとは何か調べる				
				復習	フォームが作成できているか確認する				
	第13回	内容	サイトの制作⑤id と class	予習	id と class の違いを調べる				
				復習	id と class の違いを理解する				
	第14回	内容	サイトの制作⑥画像加工	予習	画像の著作権について調べる				
				復習	画像修正方法を振り返る				
	第15回	内容	サイトの制作⑦まとめ	予習	サイトの完成に近づける				
				復習	サイトの完成を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね10分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね35分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題・発表への講評を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（30％）、作品・発表（30％）、実技（ ）％、授業態度【積極的参加】（40％）							
教科書	必要に応じ、プリント配布する								
参考文献	なし								
補足事項	なし								

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験	有		
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	卒業研究は、学生が自主的に研究してみたいと思う分野（地域の問題、各種表現メディア、図書館等）に挑戦する学びとします。作新作りでは「地域絵本」や「地域雑誌」の制作などを行います。また、雑誌作りにかかわって調べたことを研究論文とすることも可能です。							
到 達 目 標	1. 調査・研究する力をつけることができる。 2. 問題点を発見する力をつけることができる。 3. 表現する力をつけることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2，3，4）							
授 業 計 画	第1回	内容	研究論文とは何か。		予習	ネットで「論文の書き方」を予習しておくこと。		
					復習	研究論文を読むこと。		
	第2回	内容	研究論文の書き方1（研究目的）		予習	提示する論文を読んでおく。		
					復習	研究目的を明確にするポイントを復習すること。		
	第3回	内容	研究論文の書き方1（問題提起）		予習	提示する論文を読んでおく。		
					復習	書き方の要素を考える。		
	第4回	内容	先行研究の解説・考察。		予習	あらかじめ先行研究を読んでおく。		
					復習	考察結果を確認する。		
	第5回	内容	先行研究の解説・考察。		予習	あらかじめ先行研究を読んでおく。		
					復習	考察結果を確認する。		
	第6回	内容	先行研究の解説・考察。		予習	考察結果を発表できるようにする。		
					復習	考察結果を確認する。		
	第7回	内容	内容分析の実践1		予習	事前に配布する教材を読んでおくこと。		
					復習	分析結果の確認。		
	第8回	内容	内容分析の実践2		予習	事前に配布する資料を読んでおくこと。		
					復習	分析結果の確認。		
	第9回	内容	調査（研究テーマを決定するための調査）		予習	研究対象の絞り込み。		
					復習	各種資料の確認。		
	第10回	内容	調査（研究テーマ決定をするための調査）		予習	研究対象の絞り込み。		
					復習	各種資料の確認。		
	第11回	内容	研究目的を検討する		予習	研究目的を明確にすること。		
					復習	研究目的の確認。		
	第12回	内容	資料収集1		予習	研究目的に沿った資料の収集。		
					復習	資料の確認。		
	第13回	内容	資料収集2		予習	研究目的に沿った資料の収集		
					復習	資料の悪人。		
	第14回	内容	資料の整理		予習	データ等の整理。		
					復習	エータの分類。		
	第15回	内容	資料の分析		予習	資料を見ておくこと。		
					復習	分析し、問題点を整理すること。		
	第16回	内容	卒業研究の調査・考察（Ciniiを活用した調査等）		予習	研究テーマに沿った資料の検索（Cinii等の調査）		
					復習	問題点の整理		
	第17回	内容	卒業研究の調査・考察（各種書誌を活用した調査）		予習	研究テーマに沿った資料の検索。		
					復習	問題点の確認		
	第18回	内容	卒業研究の調査・考察（適宜教員と打ち合わせて確認）		予習	研究目的等執筆		
					復習	研究目的の再確認。		
	第19回	内容	卒業研究の調査・考察（ciniiを活用した再調査等）		予習	調査の見直し。		
					復習	考察内容を確認する。		

	第 20 回	内容	卒業研究の調査・考察の終了（その他書誌活用した調査）	予習	研究テーマに沿った資料の検索。
				復習	資料の確認。
	第 21 回	内容	卒業研究の執筆（執筆に関する論文指導）	予習	論文構成を考える。
				復習	教員との打ち合わせ内容の確認。
	第 22 回	内容	卒業研究の執筆（執筆状況についての確認）	予習	論文構成を考える。
				復習	推敲する。
	第 23 回	内容	卒業研究の執筆（執筆状況についての確認）	予習	論文構成を考える。
				復習	推敲する。
	第 24 回	内容	卒業研究の執筆（執筆状況についての確認）	予習	論文構成を考える。
				復習	推敲する。
	第 25 回	内容	卒業研究の執筆（論文の全体像の把握）	予習	各自論文執筆を進め、矛盾点を洗い出すこと。
				復習	必要に応じて加筆修正。
	第 26 回	内容	卒業研究の執筆（適宜教員と打ち合わせる）	予習	推敲する。
				復習	各自論文執筆を進め、疑問点を洗い出すこと。
	第 27 回	内容	卒業研究の中間発表（中間発表・提出）	予習	推敲する。
				復習	各自論文執筆を進め、疑問点を洗い出すこと。
	第 28 回	内容	卒業研究の執筆（論文の推敲）	予習	疑問点の再検討。
				復習	必要に応じて加筆修正。
	第 29 回	内容	卒業研究の発表	予習	発表に備える。
				復習	振り返り
	第 30 回	内容	卒業研究の振り返り	予習	修正点を洗いだす。
				復習	修正点を記録する。
予習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 80 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	授業中に適宜フィードバックします。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ ）、作品・発表（100%）、実技（ ）、授業態度【 】（ ）				
教科書	とくになし。				
参考文献	とくになし。				
補足事項	調査し、問題点を発見することに面白さを持てるようにしてください。				

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	60	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	心理学、社会事象等に関連する幅広い分野から、学生が興味あるテーマを選択し、ゼミ担当教員の指導により卒業論文を作成する。講義は、少人数によるゼミナール形式で行われる。また、論文提出後には口頭発表(学科の日等にて)が行われる。このことを通じて社会人として必要な専門的知識を深化させる。							
到 達 目 標	1．卒業研究(卒業論文)の作成を通して、研究の方法を修得している。 2．学生個々が選んだテーマに関する見識を深めている。 3．問題、課題の発見、理解と対応について考える際に、学んだ見識や研究方法を活用できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1,2,3）							
授 業 計 画	第1回	内容	本ゼミの方針と年間計画等。	予習		シラバスやゼミ案内書を読む。		
				復習		ゼミ内容と年間計画について理解する。		
	第2回	内容	論文作成についての概説①	予習		論文とは何か、その概要を調べる。		
				復習		講義内容を理解する。		
	第3回	内容	論文作成についての概説②	予習		前回の講義内容を理解する。		
				復習		講義内容を理解する。		
	第4回	内容	論文作成についての概説③	予習		前回の講義内容を理解する。		
				復習		講義内容を理解する。		
	第5回	内容	各学生による研究テーマの選定①	予習		テーマについて考える。		
				復習		テーマの選定方法について理解する。		
	第6回	内容	各学生による研究テーマの選定②	予習		テーマについて考える。		
				復習		テーマの選定方法について理解する。		
	第7回	内容	各学生による研究テーマの選定③	予習		テーマについて考える。		
				復習		テーマの選定方法について理解する。		
	第8回	内容	各学生による研究テーマの選定④	予習		テーマについて考える。		
				復習		テーマの選定方法について理解する。		
	第9回	内容	研究論文等読み合わせ①	予習		配布された資料を読む。		
				復習		講義内容を理解する。		
	第10回	内容	研究論文等読み合わせ②	予習		配布された資料を読む。		
				復習		講義内容を理解する。		
	第11回	内容	文献・資料収集①	予習		テーマに関連する文献を探す。		
				復習		文献を読む。		
	第12回	内容	文献・資料収集②	予習		テーマに関連する文献を探す。		
				復習		文献を読む。		
	第13回	内容	文献・資料収集③	予習		テーマに関連する文献を探す。		
				復習		文献を読む。		
	第14回	内容	卒論計画の発表会①	予習		自己の卒論計画について考える。		
				復習		レジュメ作成。		
	第15回	内容	卒論計画の発表会②	予習		レジュメ内容確認と配布。		
				復習		レジュメの修正。		
	第16回	内容	論文執筆の関する説明	予習		論文に関して、これまでの学びを再復習。		
				復習		講義内容を理解する。		
	第17回	内容	論文内容の検討と修正①	予習		決定したテーマと構成の確認。		
				復習		講義内容を理解する。		
	第18回	内容	論文内容の検討と修正②	予習		必要な文献の検討と整理。		
				復習		必要な文献の検討と整理。		
	第19回	内容	論文執筆①	予習		論文を書く。		
				復習		指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。		
	第20回	内容	論文執筆②	予習		論文を書く。		
				復習		指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。		
		内容		予習		論文を書く。		

	第 21 回		論文執筆③	復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 22 回	内容	論文執筆④	予習	論文を書く。
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 23 回	内容	卒論中間発表会	予習	発表用レジュメ作成。
				復習	助言等の整理し活用する。
	第 24 回	内容	論文執筆⑤	予習	論文を書く。
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 25 回	内容	論文執筆⑥	予習	論文を書く。
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 26 回	内容	論文執筆⑦	予習	論文を書く。
				復習	指導助言等を活かしながら論文執筆を継続。
	第 27 回	内容	論文提出	予習	提出の規定を守り、確実に提出する。
				復習	口述試験に備える。
	第 28 回	内容	卒論講評	予習	完成した卒論の熟読。
				復習	講義内容を理解する。
	第 29 回	内容	口述試験(発表)準備	予習	レジュメの作成。
				復習	レジュメの修正。
	第 30 回	内容	卒論口述(発表)試験	予習	レジュメの完成、配布。
				復習	論文作成を今後に生かすことを考える。
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	テーマの選定と卒論制作過程および卒論提出後の口述試験(発表)を通して必要なフィードバックをおこなう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（60%）、作品・発表（40%）				
教科書	特に指定しない				
参考文献	特に指定しない				
補足事項					

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	ファッション文化、ファッションビジネス、ブライダル等に関わる内容から各自のテーマを見つけ、調査、研究を進め、論文または作品とレポートにまとめていきます。調査、研究を通してファッション・ブライダルに関わる様々な問題について考察し、得られた知識を実生活や社会において活用していくことを考えます。							
到 達 目 標	1. 関心のあるテーマを見つけることができる 2. 各自のテーマに沿って、調査、研究を進めることができる 3. 調査、研究を進め、成果をまとめる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2, 3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、小物制作	予習	制作方法を確認する			
				復習	内容を復習する			
	第2回	内容	ファッション・ブライダル関連文献の輪読①	予習	指定された文献を読む			
				復習	内容を確認する			
	第3回	内容	ファッション・ブライダル関連文献の輪読②	予習	わからない箇所を調べておく			
				復習	内容を確認する			
	第4回	内容	ファッション・ブライダル関連文献の輪読③	予習	要点をまとめる			
				復習	内容を確認する			
	第5回	内容	ファッションに関する資料の歴史	予習	ファッション情報の入手方法を調べる			
				復習	ファッション情報の歴史を理解する			
	第6回	内容	ファッション・ブライダルに関する資料の調査	予習	資料を調査する			
				復習	調査結果をまとめる			
	第7回	内容	様々な装飾・アレンジ方法の基礎練習	予習	必要な道具等を準備する			
				復習	装飾・アレンジ方法を確認する			
	第8回	内容	小物制作①	予習	必要な道具等を準備する			
				復習	装飾・アレンジ方法を確認する			
	第9回	内容	小物制作②	予習	制作方法を確認する			
				復習	制作を振り返り、考えをまとめる			
	第10回	内容	資料、研究方法を検討する	予習	関心・興味のあることを整理しておく			
				復習	研究方法を確認する			
	第11回	内容	調査を行う	予習	調査内容を確認する			
				復習	調査内容を整理する			
	第12回	内容	テーマを決める	予習	テーマについて考える			
				復習	テーマを再確認する			
	第13回	内容	資料、研究方法を決める	予習	資料を収集する			
				復習	資料を読む			
	第14回	内容	調査を進める①	予習	計画を立てる			
				復習	調査結果を整理する			
	第15回	内容	調査を進める②	予習	調査資料を確認する			
				復習	調査結果を整理する			
	第16回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導①	予習	調査資料を確認する			
				復習	調査結果を整理する			
	第17回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導②	予習	調査資料を確認する			
				復習	調査結果を整理する			
	第18回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導③	予習	調査資料を確認する			
				復習	調査結果を整理する			
	第19回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導④	予習	調査資料を確認する			
				復習	調査結果を整理する			
	第20回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑤	予習	調査資料を確認する			
				復習	調査結果を整理する			

	第 21 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑥	予習	調査資料を確認する
				復習	調査結果を整理する
	第 22 回	内容	中間報告	予習	報告のための準備をする
				復習	内容を整理し、計画を立てる
	第 23 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑦	予習	文章にまとめる
				復習	文章を確認する
	第 24 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑧	予習	文章にまとめる
				復習	文章を確認する
	第 25 回	内容	テーマ別研究・制作、個別指導⑨	予習	文章にまとめる
				復習	文章を確認する
	第 26 回	内容	仕上げ、まとめ①	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 27 回	内容	仕上げ、まとめ②	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 28 回	内容	仕上げ、まとめ③	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 29 回	内容	仕上げ、まとめ④	予習	次回の準備をする
				復習	内容を確認する
	第 30 回	内容	提出、発表	予習	内容を確認し、準備をする
				復習	実生活において活用する
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題・作品の講評、授業の振り返りを行います。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 課題・作品（60%）、発表（20%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（20%）				
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。				
参考文献	授業の中で随時、紹介します。				
補足事項					

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	本ゼミナールではコンピュータに関連する事柄をテーマとします。コンピュータに関わる内容から各自のテーマを見つけ、そのテーマについて調査・実験を行ない、卒業制作を進めていきます。能動的な姿勢が求められます。また、国内外の大学が提供するオープン教育リソースの講義教材を利用しコンピュータサイエンスなどを学び、ICT を活用し、スマートフォンやタブレットを用い、コメント・投票など双方向型授業も行ないます。							
到 達 目 標	1. 関心のあるテーマを見つけることができる。 2. 各自のテーマに沿って、作品制作を進めることができる。 3. 自らの考えを分かりやすく発表できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内 容	ガイダンス・過去の卒業制作作品について	予 習	シラバスを読んでおく			
				復 習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内 容	国内外の大学が提供するオープン教育リソースによるコンピュータサイエンスの講義① 卒業制作のテーマ設定の準備	予 習	コンピュータサイエンスの用語について調べる			
				復 習	講義に関連する関連用語を調べる			
	第 3 回	内 容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク	予 習	グループワークで行なうテーマについて調べる			
				復 習	グループワークを振り返る			
	第 4 回	内 容	国内外の大学が提供するオープン教育リソースによるコンピュータサイエンスの講義② 卒業制作のテーマ設定の準備	予 習	コンピュータサイエンスの用語について調べる			
				復 習	講義に関連する関連用語を調べる			
	第 5 回	内 容	国内外の大学が提供するオープン教育リソースによるコンピュータサイエンスの講義③ 卒業制作のテーマ設定の準備	予 習	コンピュータサイエンスの用語について調べる			
				復 習	講義に関連する関連用語を調べる			
	第 6 回	内 容	卒業制作のテーマに関する調査や実験	予 習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復 習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第 7 回	内 容	卒業制作のテーマに関する調査や実験	予 習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復 習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第 8 回	内 容	卒業制作のテーマに関する調査や実験	予 習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復 習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第 9 回	内 容	卒業制作のテーマに関する調査や実験	予 習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復 習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第 10 回	内 容	卒業制作のテーマに関する調査や実験	予 習	興味のあるテーマに関して整理する			
				復 習	興味のあるテーマに関してまとめる			
	第 11 回	内 容	卒業制作のテーマ設定のための打合せ	予 習	卒業制作のテーマ設定に関して整理する			
				復 習	卒業制作のテーマ設定に関してまとめる			
	第 12 回	内 容	卒業制作のテーマ設定のための打合せ	予 習	卒業制作のテーマ設定に関して整理する			
				復 習	卒業制作のテーマ設定に関してまとめる			
	第 13 回	内 容	卒業制作のテーマ設定のための打合せ	予 習	卒業制作のテーマ設定に関して整理する			
				復 習	卒業制作のテーマ設定に関してまとめる			
	第 14 回	内 容	卒業制作のテーマに関する発表	予 習	卒業制作の状況を整理する			
				復 習	卒業制作に関する発表を振り返る			
	第 15 回	内 容	卒業制作のテーマに関する発表	予 習	卒業制作の状況を整理する			
				復 習	卒業制作に関する発表を振り返る			
	第 16 回	内 容	卒業制作の個別指導と討議	予 習	卒業制作の進捗を確認する			
				復 習	卒業制作の状況をまとめる			
	第 17 回	内 容	卒業制作の個別指導と討議	予 習	卒業制作の進捗を確認する			
				復 習	卒業制作の状況をまとめる			
	第 18 回	内 容	卒業制作の個別指導と討議	予 習	卒業制作の進捗を確認する			
				復 習	卒業制作の状況をまとめる			

	第 19 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 20 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 21 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 22 回	内容	コミュニケーション能力向上のためのグループワーク	予習	グループワークで行なうテーマについて調べる
				復習	グループワークを振り返る
	第 23 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 24 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 25 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 26 回	内容	卒業制作の個別指導と討議	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 27 回	内容	卒業制作の報告書と発表資料の作成	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 28 回	内容	卒業制作の報告書と発表資料の作成	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 29 回	内容	卒業制作の報告書と発表資料の作成	予習	卒業制作の進捗を確認する
				復習	卒業制作の状況をまとめる
	第 30 回	内容	卒業制作の成果発表	予習	卒業制作の状況を整理する
				復習	卒業制作の成果発表を振り返る
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題や卒業制作の作品への講評を行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 20 %）、作品・発表（ 50 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 30 %）				
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。				
参考文献	なし				
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。				

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	ゼミナールⅠに引き続いて日本の文学・文化・歴史などから自身が設定したテーマに基づいて考察を加える。論文や作品の完成に向けて実際に作業を進めていく。							
到 達 目 標	１．興味と関心に応じたテーマを自ら設定することができる。 ２．論文や作品を完成して他者に伝えられる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（１、２ ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の始まりにあたって～ゼミナールⅠをふり返る	予習	ゼミナールⅠの資料とノートの整理と確認			
				復習	学習の段階を年間予定表として作成する			
	第 2 回	内容	神話のテーマ①古事記	予習	古事記に関する資料と１年次のノートを整理しておく			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 3 回	内容	神話のテーマ②古事記	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	古事記の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 4 回	内容	神話のテーマ③古事記	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 5 回	内容	和歌のテーマ①万葉集	予習	万葉集に関する資料と１年次のノートを整理しておく			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 6 回	内容	和歌のテーマ②万葉集	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 7 回	内容	和歌のテーマ③万葉集	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	万葉集の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 8 回	内容	物語のテーマ～①竹取物語	予習	竹取物語について調べて疑問点を書き出す			
				復習	竹取物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 9 回	内容	物語のテーマ②源氏物語	予習	源氏物語について調べて疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 10 回	内容	物語のテーマ③源氏物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	源氏物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 11 回	内容	説話のテーマ①宇治拾遺物語	予習	宇治拾遺物語について調べて疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 12 回	内容	説話のテーマ②宇治拾遺物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 13 回	内容	説話のテーマ③宇治拾遺物語	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	宇治拾遺物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 14 回	内容	歌謡のテーマ～①梁塵秘抄	予習	梁塵秘抄について調べて疑問点を書き出す			
				復習	梁塵秘抄の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 15 回	内容	歌謡のテーマ～②閑吟集	予習	閑吟集について調べて疑問点を書き出す			
				復習	閑吟集の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 16 回	内容	近代文学のテーマ①宮沢賢治	予習	宮沢賢治について調べて疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 17 回	内容	近代文学のテーマ②宮沢賢治	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	賢治作品の魅力と特性を整理してノートにまとめる			
	第 18 回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む①	予習	川端康成について調べて疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
	第 19 回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む②	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す			
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる			
		内容			予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す		

	第 20 回		近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む③	復習	授業の内容を整理してノートにまとめる
	第 21 回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む④	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す
				復習	授業の内容を整理してノートにまとめる
	第 22 回	内容	近代文学のテーマ川端康成『伊豆の踊子』を読む⑤	予習	配布した資料を読んで疑問点を書き出す
				復習	伊豆の踊子の魅力と特性を整理してノートにまとめる
	第 23 回	内容	民俗文化のテーマ柳田国男と遠野物語	予習	遠野物語を読んで疑問点を書き出す
				復習	遠野物語の魅力と特性を整理してノートにまとめる
	第 24 回	内容	テーマに応じた個別指導①	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 25 回	内容	テーマに応じた個別指導②	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 26 回	内容	中間発表会	予習	これまでの成果を発表できるようまとめておく
				復習	自身への質問・意見などをまとめ整理する
	第 27 回	内容	テーマに応じた個別指導③	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 28 回	内容	テーマに応じた個別指導④	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 29 回	内容	テーマに応じた個別指導⑤	予習	課題作製の疑問点と重要事項を整理しておく
				復習	指摘された内容をノートにまとめる
	第 30 回	内容	最終発表会	予習	論文、作品を完成する
				復習	相互に交換した疑問・意見などを課題に反映してまとめる
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	提出時にコメントする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（ ）％、作品・発表（70％）、実技（ ）％、授業態度【 主体性 】（30％）				
教科書	必要に応じて配布する				
参考文献	必要に応じて指示する				
補足事項					

科 目 名	ゼミナールⅡ		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	SEM3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	Web サイトを制作する。情報発信について検討を重ねて、作品で表現することに力を注ぐ。見る・考える・表現する（発信する）を繰り返し、よりよい表現方法を考究していく。							
到 達 目 標	1. 情報を整理できる。 2. 作品を制作できる技術を身につけている。 3. 解決すべき問題・課題を見つけ、取り組むことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2.3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内 容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内 容	Web サイトの目的	予習	作品のテーマを考える			
				復習	作品のテーマを見直す			
	第 3 回	内 容	使い勝手の分析	予習	作品デザインを考える			
				復習	作品デザインを見直す			
	第 4 回	内 容	SEO と高速化	予習	SEO について調べる			
				復習	SEO について復習する			
	第 5 回	内 容	トレンド調査レイアウトとビジュアル	予習	Web サイトのトレンドを調べる			
				復習	Web サイトのトレンドを調べなおす			
	第 6 回	内 容	トレンド調査まとめレポート	予習	Web サイトのトレンドをまとめる			
				復習	Web サイトのトレンドをまとめる			
	第 7 回	内 容	デザイン①配色	予習	配色について調べる			
				復習	作品の配色を決める			
	第 8 回	内 容	デザイン②フォント	予習	フォントについて調べる			
				復習	作品のフォントを決める			
	第 9 回	内 容	デザイン③余白	予習	padding と margin を振り返る			
				復習	作品トップページのイメージを決める			
	第 10 回	内 容	言葉のニュアンス	予習	Web ライティングについて調べる			
				復習	Web ライティングについてまとめる			
	第 11 回	内 容	発信情報の整理と設計	予習	作品の情報整理をする			
				復習	作品の情報整理をする			
	第 12 回	内 容	構成と他サイトのリサーチ	予習	作品の構成を考える			
				復習	作品の構成を考える			
	第 13 回	内 容	ワイヤーフレーム作成①	予習	ワイヤーフレームを作る			
				復習	ワイヤーフレームを作る			
	第 14 回	内 容	ワイヤーフレーム作成②	予習	ワイヤーフレームを作る			
				復習	ワイヤーフレームを作る			
	第 15 回	内 容	ワイヤーフレーム提出	予習	ワイヤーフレームを作る			
				復習	作成手順を書きだす			
	第 16 回	内 容	作成計画①	予習	作成手順を書きだす			
				復習	計画書を作成する			
	第 17 回	内 容	作成計画②	予習	計画書を作成する			
				復習	計画書を見直す			
	第 18 回	内 容	作品制作・個別指導①	予習	制作の準備をする			
				復習	素材収集する			
	第 19 回	内 容	作品制作・個別指導②	予習	制作計画を確認する			
				復習	素材収集する			
	第 20 回	内 容	作品制作・個別指導③	予習	制作計画を確認する			
				復習	素材を編集する			
	第 21 回	内 容	作品制作・個別指導④	予習	制作の進捗状況を確認する			
				復習	制作の疑問点を調べる			

	第 22 回	内容	中間発表	予習	発表準備する
				復習	問題点をまとめる
	第 23 回	内容	作品制作・個別指導⑤	予習	作成計画の見直し
				復習	制作の疑問点を調べる
	第 24 回	内容	作品制作・個別指導⑥	予習	制作の進捗状況を確認する
				復習	制作の疑問点を調べる
	第 25 回	内容	作品制作・個別指導⑦	予習	制作の進捗状況を確認する
				復習	制作の疑問点を調べる
	第 26 回	内容	作品制作・個別指導⑧	予習	制作の進捗状況を確認する
				復習	作品の全体像について見直す
	第 27 回	内容	作品制作・個別指導⑨	予習	制作の進捗状況を確認する
				復習	作品の全体像について見直す
	第 28 回	内容	作品制作・個別指導⑩	予習	制作の進捗状況を確認する
				復習	作品の全体像について見直す
	第 29 回	内容	作品最終チェックと動作確認	予習	作品の文章・著作権をチェックする
				復習	作品の問題点を整理して、調整する
	第 30 回	内容	作品成果発表	予習	発表準備する
				復習	作品発表を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 10 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 35 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	レポート、課題、作品への講評を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（20 %）、作品・発表（50 %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（30 %）				
教科書	必要に応じ、プリント配布する				
参考文献	なし				
補足事項	なし				

科 目 名	短大生基礎力演習			単 位 数	1	授業時間数	3 0	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博 史 他	
ナンバリングコード	GEE3211			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	本授業は 4 人の教員が分担して行う授業です。内容は、これからの大学での学習にとって不可欠の知識及び卒業後の社会人として不可欠の知識とし、①時事問題②基礎数学③国語教養④社会で構成します。また、大学生活を送るうえで必要な知識や姿勢について社会人に学ぶ授業を随時取り入れていきます。学生は 3 つのグループに分かれ、4 人の教員がそれぞれ分担して 1 グループ 2 回ずつ行いことにしています。									
到 達 目 標	1. 大学生として不可欠な基礎的な知識を身につけることができる。 2. 社会人として必要な基礎的な知識を身につけることができる。 3. 幅広い教養を身につけることができる。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1. 3 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	大学生生活及び学習生活における注意事項の説明等。	予習	学生便覧を読んでおいてください。					
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する					
	第 2 回	内容	授業内容の説明とグループ分け。	予習	4 つの分野の一般的知識について調べる					
				復習	この科目で行なうことを復習する					
	第 3 回	内容	時事問題①政治・経済	予習	政治・経済の一般的知識について調べる					
				復習	政治・経済に関して復習する					
	第 4 回	内容	時事問題②環境	予習	環境の一般的知識について調べる					
				復習	環境に関して復習する					
	第 5 回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる					
				復習	講演内容について復習する					
	第 6 回	内容	基礎数学①四則計算	予習	計算の一般的知識について調べる					
				復習	計算に関して復習する					
	第 7 回	内容	基礎数学②データ解析	予習	データ解析の一般的知識について調べる					
				復習	データ解析に関して復習する					
	第 8 回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる					
				復習	講演内容について復習する					
	第 9 回	内容	国語教養①	予習	国語の一般的知識について調べる					
				復習	国語に関して復習する					
	第 10 回	内容	国語教養②	予習	国語の一般的知識について調べる					
				復習	国語に関して復習する					
	第 11 回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる					
				復習	講演内容について復習する					
	第 12 回	内容	社会①歴史	予習	歴史の一般的知識について調べる					
				復習	歴史に関して復習する					
	第 13 回	内容	社会②地理	予習	地理の一般的知識について調べる					
				復習	地理に関して復習する					
	第 14 回	内容	地域公益団体や一般企業人による講義	予習	発表者に関することについて調べる					
				復習	講演内容について復習する					
	第 15 回	内容	後期のゼミの説明とゼミ決定。	予習	各ゼミについて調べる					
				復習	これまで行なったことを振り返る					
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	各教員から課題などに対するフィードバックがあります。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（80％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【課題提出等】（20％）								
教科書	『書名』（著者名、出版社名）特に指定しません。教材は各教員が配布します。									
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）とくにありません									
補足事項	上記表で示した第 3 回から第 14 回までの授業はいずれも 4 人の教員が同時進行するものであり、シラバスの順番通りに実施するものではありません。野中博史 15 回、伊藤明芳 15 回、江本全志 15 回、土屋深優 15 回									

科 目 名	ことばと表現		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之
ナソ・リング・コート*	CUL3211		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	短大生に必要なとされる様々な文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。							
到 達 目 標	1. 様々なタイプの文章の内容について理解している。 2. 要求され事柄が的確に文章で伝えられる。 3. 自らの考えが口頭で伝えられる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の開始にあたって	予習	興味のある新聞記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 2 回	内容	新聞記事を読む①	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 3 回	内容	新聞記事を読む②	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 4 回	内容	新聞記事を読む③	予習	授業用に必要な新聞記事を切り抜く			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 5 回	内容	新聞記事を書き写す①	予習	書き写し用の記事を用意する			
				復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む			
	第 6 回	内容	新聞記事を書き写す②	予習	書き写し用の記事を用意する			
				復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む			
	第 7 回	内容	新聞記事を書き写す③	予習	書き写し用の記事を用意する			
				復習	用意されたプリントに必要事項を書き込む			
	第 8 回	内容	時事問題について考える①	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 9 回	内容	時事問題について考える②	予習	時事問題を取り上げた記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 10 回	内容	新聞記事を要約する①	予習	興味のある新聞記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 11 回	内容	新聞記事を要約する②	予習	興味のある新聞記事を用意する			
				復習	授業時に取ったメモをノートにまとめる			
	第 12 回	内容	語彙を豊かにする①	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す			
				復習	注意する語の意味を調べてノートにまとめる			
	第 13 回	内容	語彙を豊かにする②	予習	これまでの授業で気になった語を抜き出す			
				復習	注意する語の意味を調べてノートにまとめる			
	第 14 回	内容	漢字検定に挑戦する①	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく			
				復習	間違えた漢字を繰り返し書いて記憶する			
	第 15 回	内容	漢字検定に挑戦する②	予習	配布した問題を解いて自己採点しておく			
				復習	間違えた漢字を繰り返し書いて記憶する			
予習に要する学習時間：概ね 2 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 2 5 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回の授業時と提出時に各自にコメントする							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ %）、レポート・課題（ 7 0 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【主体性】（3 0 %）							
教科書	プリントを配布							
参考文献	必要に応じて指示する							
補足事項	復讐を徹底して行うことが何より重要							

科 目 名	ことばと表現		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	こしみず ゆうこ 小清水 裕子	
ナンバリングコード	CUL3211		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	短大生に必要なとされる様々な文章の内容を読み取る読解力と、自身の考えを的確に伝えられる表現力が身につけられるよう、「読む」「書く」「話す」トレーニングを継続して行う。								
到 達 目 標	1. 様々なタイプの文章の内容が理解できる。 2. 要求された内容について文章で的確に伝えることができる。 3. 自らの考えを口頭で伝えることができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1。2 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス～授業の開始にあたって	予習	一般にことばと表現とは何かを考える				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第2回	内容	国語常識	予習	配布されたプリントを読む				
				復習	特に間違えた問題をやり直す				
	第3回	内容	敬語	予習	身の回りで用いる敬語について確認する				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第4回	内容	手紙文	予習	手紙文の形式について確認する				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第5回	内容	論理的な文章の展開	予習	プリントを読む				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第6回	内容	正確に文章を理解する	予習	プリントを読む				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第7回	内容	的確に伝える	予習	プリントを読む				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第8回	内容	クリティカルシンキングと考察	予習	クリティカルシンキングについて確認する				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第9回	内容	様々なタイプの文章 説明文①	予習	生活の中に見られる説明文を探す				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第10回	内容	様々なタイプの文章 説明文②	予習	プリントを読む				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第11回	内容	様々なタイプの文章 評論文①	予習	生活の中に見られる評論文を探す				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第12回	内容	様々なタイプの文章 評論文②	予習	プリントを読む				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第13回	内容	様々なタイプの文章 文学的文章①	予習	生活の中に見られる文学的表現を探す				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第14回	内容	様々なタイプの文章 文学的文章②	予習	プリントを読む				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	第15回	内容	自己表現とことば	予習	プリントを読む				
				復習	授業時に取ったメモをプリントにまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	口頭、添削で説明							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【 積極的参加 】（50 ）、							
教科書	プリントを配布								
参考文献	必要に応じて指示する								
補足事項	予習・復習は必要です。特に返却されたレポートの振り返りはしっかりと行う必要があります。								

科 目 名	情報処理演習		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3211		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	コンピュータの基本的な操作、文書作成ソフトのワード、表計算ソフトのエクセル、プレゼンテーションソフトのパワーポイントの使い方を中心に学びます。また、電子メールの使い方、マルチメディアの画像作成なども学びます。大学生活や今後の社会生活において困らないコンピュータスキルを身に付けることを目指します。							
到 達 目 標	１． パソコンの日常生活の利用で困らないタイピングスキルを身につけている。 ２． ワード、エクセル、パワーポイントの基本的な操作ができる。 ３． 情報の利活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	コンピュータの基礎・画像作成	予習	画像の形式について調べる			
				復習	コンピュータの操作を復習する			
	第 3 回	内容	ワードの基礎・ファイルの印刷の仕方 アニメーション GIF の作成	予習	ワードの機能について調べる			
				復習	画像編集ソフトの使い方を復習する			
	第 4 回	内容	インターネット・情報モラル・タイピング・電子メール	予習	電子メールについて調べる			
				復習	タイピングの練習をする			
	第 5 回	内容	ワード レポート・レジュメ	予習	レポートの形式について調べる			
				復習	二段組みのやり方を復習する			
	第 6 回	内容	ワード 時間割表の作成	予習	表機能について調べる			
				復習	表の作り方を復習する			
	第 7 回	内容	ワード 時間割表の作成の続き	予習	文字列の折り返しについて調べる			
				復習	画像の貼り付け方を復習する			
	第 8 回	内容	エクセルの基礎	予習	エクセルの機能について調べる			
				復習	数式の入れ方を復習する			
	第 9 回	内容	エクセルの基礎の続き エクセル グラフを使った情報分析	予習	家計簿の仕組みについて調べる			
				復習	SUMIF 関数を復習する			
	第 10 回	内容	エクセル グラフを使った情報分析の続き	予習	グラフの種類について調べる			
				復習	複合グラフの作り方を復習する			
	第 11 回	内容	エクセル 診断シート	予習	診断シートのテーマを考える			
				復習	セルの装飾の仕方を復習する			
	第 12 回	内容	エクセル 診断シートの続き	予習	IF 関数について調べる			
				復習	IF 関数を複数使う場合のやり方を復習する			
	第 13 回	内容	パワーポイントの基礎	予習	パワーポイントの機能について調べる			
				復習	アニメーション機能を復習する			
	第 14 回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成	予習	紙芝居のテーマを考える			
				復習	画像の背景の消し方を復習する			
	第 15 回	内容	パワーポイント 紙芝居スライドの作成の続き	予習	スライドマスタについて調べる			
				復習	スライドマスタの使い方を復習する			
	第 16 回	内容	ワード イラスト素材の作成	予習	図形ツールについて調べる			
				復習	曲線の図形の編集の仕方を復習する			
	第 17 回	内容	ワード イラスト素材の作成の続き	予習	色の RGB 形式について調べる			
				復習	色の取得方法を復習する			
	第 18 回	内容	エクセル 計算演習	予習	速さと割合に関する数式を調べる			
				復習	計算式の入れ方を復習する			
	第 19 回	内容	エクセル 関数演習	予習	エクセルの関数の種類を調べる			
				復習	関数の使い方を復習する			
	第 20 回	内容	エクセル 関数演習の続き	予習	仕事でよく使われる関数を調べる			
				復習	VLOOKUP 関数の使い方を復習する			

	第 21 回	内容	ワード 履歴書の作成	予習	ワードの表機能について調べる
				復習	表の作り方を復習する
	第 22 回	内容	ワード ビジネス文書の形式	予習	ビジネス文書について調べる
				復習	ビジネス文書の形式を再度確認する
	第 23 回	内容	エクセル 家計簿の作成	予習	家計簿の計算について調べる
				復習	家計簿の作り方を復習する
	第 24 回	内容	エクセル 絶対参照・ピボットテーブルの演習	予習	絶対参照とピボットテーブルについて調べる
				復習	絶対参照の使い方を復習する
	第 25 回	内容	ワード・エクセル 差し込み文書	予習	差し込み文書について調べる
				復習	差し込み文書のやり方を復習する
	第 26 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析	予習	栄養素について調べる
				復習	食べ物の栄養素の調べ方を復習する
	第 27 回	内容	エクセル 栄養素の計算と分析の続き	予習	栄養素の基準値の計算方法について調べる
				復習	VLOOKUP 関数を復習する
	第 28 回	内容	ワード 本の形式	予習	スタイル機能について調べる
				復習	スタイル機能を復習する
	第 29 回	内容	ワード 本の形式の続き	予習	ヘッダー・フッター機能について調べる
				復習	目次の作り方を復習する
	第 30 回	内容	まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する
				復習	これまで作成した課題を振り返る
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 50 %）				
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。				
参考文献	なし				
補足事項	なし				

科 目 名	日本文化論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之	
ナンバリングコード	CUL3212		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	明治43年（1910）柳田國男によって刊行された『遠野物語』に収められた民話や昔話を読む。そこに描かれている近代以前の人々の暮らしと自然との関わりのあり様を通して、限られた特定の人々の歴史とは異なる、後世に多くを伝えられることのない一般の人々の人生に迫る。								
到 達 目 標	1. 民話や昔話の内容を味読できる。 2. 近代以前の人々の日常の営みを理解している。 3. 自身の内面に歴史的想像力を育てることができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	授業を始めるにあたって	予習	幾つかの話を選んで声にして読んでみる				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第2回	内容	明治43年前後の日本と世界	予習	明治43年（1910）前後の社会について調べる				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第3回	内容	遠野物語「序文」と柳田國男の思い	予習	序文を繰り返し読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第4回	内容	「地域限定」の神々～オシラサマ・カクラサマ等々	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第5回	内容	山に棲むモノたち～山神・山人	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第6回	内容	ザシキワランと家々の盛衰	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第7回	内容	猿・狐・熊～多様な動物たちと人びとの暮らし	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第8回	内容	狼と人との葛藤	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第9回	内容	異界としての山	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第10回	内容	この世からの離別～最期に人が望むこと	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第11回	内容	異類との遭遇～カッパ・天狗	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第12回	内容	富の獲得～マヨヒガ	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第13回	内容	山地と海岸の交流	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第14回	内容	合戦と津波～史実と災害はどう記憶されたか	予習	該当する話を読んで疑問を書き出す				
				復習	授業時のメモを整理してノートにまとめる				
	第15回	内容	授業の終わりにあたって～近代以前の人々の内面的世界	予習	これまでのノートを整理する				
				復習	当時と現代の「常識」の違いについて考察する				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【自主性】（30%）							
	教科書	『遠野物語』（柳田国男 角川ソフィア文庫）							
参考文献	必要に応じて指示する								
補足事項									

科 目 名	ヒューマンスキル演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史 他
ナンバリングコード	CAE3211		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この授業は対人基礎力を養うための授業です。近年少子化により兄弟が少ない家庭が多くなり、日常的に大人数の中で行動することが減っています。それに伴い、友達が作れないなど、人と関係を構築することが苦手な学生が増えています。この授業では、多くの交流の場を用意し、教員がサポートすることで、学生が集団の中で交流できる力を身に付けることを目指す。							
到 達 目 標	1. 他者とうまく関わる努力ができる。 2. 自らが踏み出して他者と会話ができる。 3. 対人関係における情動やストレスのコントロールの仕方を理解できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2, 4 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス・自己紹介など	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	相談会：テーマや質問に対し教員や学生が答える。	予習	質問する内容を考える			
				復習	相談会での内容を復習する			
	第 3 回	内容	スポーツ演習：ソフトバレーボール（グループワーク）	予習	ソフトバレーボールについて調べる			
				復習	バレーボールの動きについて復習する			
	第 4 回	内容	研究室訪問と談話会	予習	質問する事柄を考えておく			
				復習	話した内容を復習する			
	第 5 回	内容	スポーツ演習：ソフトバレーボール（グループワーク）	予習	ソフトバレーボールについて調べる			
				復習	バレーボールの動きについて復習する			
	第 6 回	内容	コミュニケーションカードゲーム（グループワーク）	予習	コミュニケーションカードゲームについて調べる			
				復習	コミュニケーションについて復習する			
	第 7 回	内容	研究室訪問と談話会	予習	質問する事柄を考えておく			
				復習	話した内容を復習する			
	第 8 回	内容	学外研修の事前調査	予習	学外研修について調べる			
				復習	学外研修に関する情報を整理する			
	第 9 回	内容	学外研修	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	学外研修に関する情報を整理する			
	第 10 回	内容	学外研修	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	学外研修に関する情報を整理する			
	第 11 回	内容	相談会：テーマや質問に対し教員や学生が答える。	予習	質問する内容を考える			
				復習	相談会での内容を復習する			
	第 12 回	内容	e スポーツ	予習	e スポーツについて調べる			
				復習	e スポーツの効果について考える			
	第 13 回	内容	学外研修	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	学外研修について復習する			
	第 14 回	内容	学外研修	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	学外研修について復習する			
	第 15 回	内容	学外研修	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	学外研修について復習する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題などに問題がある場合コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項	状況により授業内容が変更になる可能性があります。交通費や食事代、材料費などは自己負担となります。 野中博史 15 回、伊藤明芳 15 回、江本全志 15 回、土屋深優 15 回							

科 目 名	インターンシップ		単 位 数	2	授業時間数	9 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳	
ナンバリングコード	CAE3221		授業形態	実習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本実習では、社会人として必要なマナーやコミュニケーション能力の基本を理解して身につけ、また、実際の現場での実習を通して職業の実際を理解することを目指します。これらの学びや体験により、働くことの意味や責任をより豊かに考えることができ、将来の職業選択に寄与すると考えられる。								
到 達 目 標	1. 社会人として必要なマナーや作法の基礎を身につけている。 2. 社会人としてのコミュニケーション能力の基本が身についている。 3. 職業選択活動、就業における積極性を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2,3,4）								
授 業 計 画	第1回	内容	イントロダクション(インターンシップとは何か)	予習	インターンシップについて調べる。				
				復習	本実習の概要を理解する。				
	第2回	内容	基本的なマナー①(心構え、言葉遣い、身だしなみ等)	予習	実習での必要なマナーについて考える。				
				復習	各マナーを整理する。				
	第3回	内容	基本的なマナー②(電話のかけ方、受け方等)	予習	電話の応答について考える。				
				復習	電話応答について整理する。				
	第4回	内容	インターンシップ実習受入企業・団体の業種、職業の調査	予習	実習先を考える。				
				復習	実習先の情報をまとめる。				
	第5回	内容	書類の書き方、面接の受け方	予習	面接マナーについて考える。				
				復習	書類の書き方を復習する。				
	第6回	内容	実習先の決定と申し込み	予習	実習先へ申し込みを準備。				
				復習	実際に実習先への連絡を実施する。				
	第7回	内容	先輩から学ぶ(先輩による体験報告会)	予習	インターンシップの体験過程を推測する。				
				復習	先輩からの学びを整理する。				
	第8回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。				
				復習	実習時の学びを振り返る。				
	第9回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。				
				復習	実習時の学びを振り返る。				
	第10回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。				
				復習	実習時の学びを振り返る。				
	第11回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。				
				復習	実習時の学びを振り返る。				
	第12回	内容	インターンシップ実習	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。				
				復習	実習時の学びを振り返る。				
	第13回	内容	インターンシップ実習報告会準備	予習	報告会の内容を考える。				
				復習	報告会の発表内容を確認する。				
	第14回	内容	インターンシップ実習報告会②(受講生の発表)	予習	報告会の練習をする。				
				復習	報告会を振り返り学びを深める。				
	第15回	内容	インターンシップ実習報告会②(講評)	予習	報告会の練習をする。				
				復習	報告会を振り返り学びを深める。				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	インターンシップ実習と発表の講評をおこなう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：(○) しない 成績評価の方法：レポート・課題（20%）、作品・発表（20%）、実技（60%）							
教科書	特に指定しない。								
参考文献	授業時に必要に応じて随時紹介する。								
補足事項									

科 目 名	ボランティア活動			単 位 数	2	授業時間数	9 0	担当教員	いうあきよし 伊藤 明 芳	
ナンバリングコード	CAE3212			授業形態	実習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	本実習では、実際のボランティア活動を通して人と人との触れ合い、地域社会との繋がりを体験し、ボランティアや社会貢献の必要性や意義について深く考える。さらに、ボランティア活動の経験が社会的マナーの習得、働く意欲の向上、将来の職業選択に寄与すると考えられる。									
到 達 目 標	1. 活動日誌等の書類を作成できる。 2. 社会人に必要なマナー、コミュニケーション能力の基本を身につけている。 3. ボランティア、社会貢献の意義、現状、歴史を理解している。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（2, 3, 4）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	イントロダクション(ボランティアとは何か)	予習	シラバスを読んでおく。					
				復習	本実習の概要を理解する。					
	第 2 回	内容	ボランティア講義①(日本の現状、歴史)	予習	事前にプリントを読んでおく。					
				復習	講義内容を整理し覚える。					
	第 3 回	内容	ボランティア講義②(社会貢献の必要性)	予習	事前にプリントを読んでおく。					
				復習	講義内容を整理し覚える。					
	第 4 回	内容	基本的マナー①(言葉遣い、身だしなみ等)	予習	実習での必要なマナーについて考える。					
				復習	各マナーを整理する。					
	第 5 回	内容	基本的マナー②(電話のかけ方)	予習	電話の応答について考える。					
				復習	電話応答について整理する。					
	第 6 回	内容	活動先の決定。	予習	実習先へ申し込みを準備。					
				復習	実際に実習先への連絡を実施する。					
	第 7 回	内容	ボランティア活動①	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する。					
	第 8 回	内容	ボランティア活動②	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する。					
	第 9 回	内容	ボランティア活動③	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する。					
	第 10 回	内容	ボランティア活動④	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する。					
	第 11 回	内容	ボランティア活動⑤	予習	翌日の実習の仕事内容を確認する。					
				復習	日誌を書き、活動での学びを整理する。					
	第 12 回	内容	ボランティア実習会の準備	予習	報告会の内容を考える。					
				復習	報告会の発表内容を確認する。					
	第 13 回	内容	ボランティア実習発表会	予習	報告会の練習をする。					
				復習	報告会を振り返り学びを深める。					
	第 14 回	内容	実習日誌をまとめる	予習	実習内容を整理する。					
				復習	実習内容を整理する。					
	第 15 回	内容	実習日誌の提出	予習	補足、校正を加えて清書する。					
				復習	講評等学びを整理する。					
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	活動の事前学習指導、活動中、活動後の注意点、改善点等のフィードバックはその都度、適宜に行う。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（20％）、作品・発表（20％）、実技（60％）								
教科書	特に指定しない									
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。									
補足事項										

科 目 名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博 史 他
ナンバリングコード	CAE3213		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授 業 の 内 容	企業との連携により実施する授業です。現役で働いている企業の方を講師としてお招きし、企業の職種・業務の内容を中心にした説明を受ける授業と社会人としてのマナーなどを学ぶ授業の2本立てとなっています。授業を通じて、就業する際に必要な「業種・職種」を理解し、併せて企業の「人材採用方針」「社会人としてのマナー」等についても認識できるようにします。宿題として、毎回「気づきノート」の執筆を課すアクティブラーニングの授業です。							
到 達 目 標	1. 企業の職種、業種を理解することができる。 2. 企業の人材採用方針について理解することができる。 3. 社会人としてのマナーやTPOを知り、企業社会と働き方を認識することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2. 3. 4)							
授 業 計 画	第1回	内容	授業内容の説明。課題解決ノートの使い方。	予習	シラバスを読んでおくこと。			
				復習	授業内容を確認すること。			
	第2回	内容	産業界・企業研究① *産業界の説明は全て異業種になります。	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること。			
	第3回	内容	社会人としてのマナー①	予習	社会人としてのマナーについて調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第4回	内容	産業・企業研究②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第5回	内容	社会人としてのマナー②	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第6回	内容	産業界・企業研究③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第7回	内容	社会人としてのマナー③	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第8回	内容	産業界・企業研究④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第9回	内容	社会人としてのマナー④	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第10回	内容	産業界・企業研究⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第11回	内容	社会人としてのマナー⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第12回	内容	産業界・企業研究⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第13回	内容	社会人としてのマナー⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第14回	内容	産業界・企業研究⑦	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
	第15回	内容	社会人としてのマナー⑦	予習	事前の予定表に基づいて産業界・企業について調べておくこと。			
				復習	授業での気づきノートに記入し確認すること			
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題（気づきノートの作成）などを通じて学習内容の理解増進を図ります。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / (○) しない 成績評価の方法： 筆記試験 (%)、レポート・課題 (90%) 作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度【課題提出状況】(10%)							
教科書	特にいません。							
参考文献	とくにありません。							

補足事項	毎回の授業内容を把握しているか否かを、授業終了後に提出する「課題レポート」の内容で判断します。成績評価の基準は「課題レポート」の内容によって決まります。毎回は試験のつもりで頑張ってください。
------	---

科 目 名	アナウンス表現演習		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	しばた 柴田 かおる
ナンバリングコード	CAE3223		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この講義では正しい発声をするために必要な呼吸法、はっきりと大きな声で話す方法、相手が聞きやすい発音を指導する。また人に伝わる話し方の組み立てを繰り返し行い、最終的には人前で自分の考えを分かりやすく話せるように訓練する。特に、就職試験の面接や社会人になった時に必ず求められる自己紹介は徹底的に練習して、誰よりも印象的に本人の長所が伝わるようになるまで行う。							
到 達 目 標	1・聞き取りやすい発音の仕方を身につけている。 2・同じ部屋にいる人間がすべて聞き取れるくらいの音量で話すことができる。 3・何が言いたい、明確な話の組み立て方ができる。 4・好印象を与える自己紹介の方法を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1・2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	腹式呼吸で声を出す方法 実際に決められた時間で自己紹介をする為に、話す内容を整理して発表する。	予習	自己紹介の原稿を書いてくる			
				復習	授業で指摘されてことをもとに自己紹介をやり直して録音再生してみる			
	第2回	内容	腹式呼吸で声を出しながら「あ行～さ行」の活舌の訓練をする。 2分間で自己紹介をしてみる。	予習	腹式呼吸を意識しながら2分間で自己祖父空きができるか時間を計ってみる			
				復習	活舌の練習を家でもやってみて、それを意識しながら自己紹介を録音再生してみる			
	第3回	内容	腹式呼吸で声を出しながら「た行～は行」の活舌の訓練をする。 自分が現在一番興味のあることについて、具体的に話す内容をまとめる。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。自分が現在一番興味のあることについて、まとめる			
				復習	自分が現在一番興味のあることについて、まとめ発表した内容を再度自宅でも録音再生してみる			
	第4回	内容	腹式呼吸で声を出しながら「ま行～わ行」の活舌の訓練をする。 自分が現在一番興味のあることについて、まとめた原稿を読んで発表する。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。前の週に授業中指摘されたことを現行に反映して書き直す			
				復習	授業で指摘されたことを意識しながら発表を録音再生してみる			
	第5回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 地図を使って、ある場所への行き方の説明をする。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。課題で出された場所への地図を説明できるようにする			
				復習	授業で指摘されたことを意識しながら発表を録音再生してみる。地図の説明が本当にわかりやすいか、第三者にも聞いてもらう			
	第6回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分だけが知っている場所へ、最寄り駅から行く方法をわかりやすく説明する。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。加太の場所に行く方法をわかりやすく説明する原稿を書く。			
				復習	授業で指摘されたことを直して、録音再生して確認する			
	第7回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分だけが知っている物について、それを見たことがない人に正確に伝える。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。 課題の原稿を書く			
				復習	授業で指摘されたことを直して、録音再生して確認する。第三者にも聞いてもらう。			
	第8回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 第7週で発表した内容について、発表者以外の学生は疑問点を指摘する。発表者は全員が分かるように再度発表する。	予習	活舌の練習を自宅でも行う。 禅宗の課題で指摘されたことを遂行して原稿を書きなおす。			
				復習	授業で指摘されたことを直して、録音再生して確認する。第三者にも聞いてもらう。			
	第9回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 最近の新聞で気になった記事についてまとめて発表する。 人の発表について質問する	予習	新聞を読んで興味ある記事についてまとめる			
				復習	授業で指摘されたことを踏まえて原稿を遂行する。			
	第10回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習分を声に出して読む。 第9週で他の人から指摘された内容を踏まえて再度わかりやすく発表する	予習	遂行した原稿を声に出して読んで練習する。			
				復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる			
	第11回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習分を声に出して読む。 自分の好きなものについてその理由を明確に伝える。	予習	分の好きなものにつてその理由を明確に伝える原稿を書く。			
				復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる			
	第12回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分の得意なことについて、原稿をまとめ、2分間で話す。	予習	自分の得意なことについて、原稿をまとめている。			
				復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる			
	第13回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。 自分が卒業後にやりたいことについて、原稿をまとめ、2分間で話す。	予習	自分が卒業後にやりたいことについて、原稿をまとめる			
				復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる			

	第 14 回	内容	腹式呼吸による発声練習、活舌の練習文を声に出して読む。	予習	聞いてほしい、ちょっといい話について、2 分間の原稿にまとめる。
			聞いてほしい、ちょっといい話について、2 分間のスピーチをして、録音。自分の話し方を客観的に理解する。	復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる。
	第 15 回	内容	これまで授業で訓練してきた発表方法を踏まえながら、2 分間の再度自己紹介をし、初回での発表との違いを比較。授業の成果を見る。	予習	これまで授業で訓練してきた発表方法を踏まえながら、2 分間の再度自己紹介の原稿を書く。
				復習	授業で指摘されたことをもとに原稿を直し、再度録音再生してみる。
	予習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 6 0 分を目安とする。				
	課題へのフィードバック	授業で発表のたびに、講評、問題点を指摘する			
成績評価	試験期間における定期試験：しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 50%）、授業態度【私語を慎む、ほかの学生にも聞き取れる声で積極的に発表をする】（50%）				
教科書	その都度プリント配布				
参考文献	その都度プリント配布				
補足事項	毎日、新聞に目を通す習慣を身に着ける 授業時間には声を出すので満腹にして授業に出席しない 私語は慎む 配付したプリントは最後まで毎回持参すること				

科 目 名	観光学総論		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一
ナンバリングコード	TOS3211		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	観光は重要産業として脚光を浴びている。関連業種も多く、雇用も生まれ、経済効果が大きい、少子高齢化の中で観光を起爆剤にして地域を盛り上げたいなどの狙いもある。観光の歴史、宿泊業や交通、旅行会社などの現状と課題、関連業界がどのような人材を求めているかなどを学ぶ。							
到 達 目 標	1. 観光全般について、その歴史、経済とのかかわりなどを総合的に説明できる。 2. 観光に関連する産業の構造について総合的、多面的に理解し、説明できる。 3. 日本の観光に不可欠のインバウンドへの取り組みについて、語ることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1.2.4）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、講義の進め方の説明	予習	シラバスを読んでおくこと			
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる			
	第2回	内容	観光とは何か。観光が重視される背景は何か	予習	なぜ、観光が重視されるのか調べておく			
				復習	授業内容を整理し、観光の役割をまとめる			
	第3回	内容	日本の観光の歴史。お伊勢参りから一人旅まで	予習	江戸時代からの観光の歴史を調べておく			
				復習	近年の温泉ブームを含む観光の歴史をまとめる			
	第4回	内容	観光と経済 産業としての観光業とは	予習	産業界における観光業について調べておく			
				復習	観光と他産業との比較などをまとめる			
	第5回	内容	観光における日本の強みとは何か	予習	おもてなし文化など日本の強みを調べておく			
				復習	日本の観光の強くするにはをまとめる			
	第6回	内容	外国における観光の位置付け。なぜ観光を重視するのか	予習	フランスなど観光大国について調べておく			
				復習	授業に基づき海外の観光業の現状をまとめる			
	第7回	内容	観光産業① 宿泊業の強みと課題	予習	コロナ禍対応を含め宿泊業について調べておく			
				復習	宿泊業の現状と課題をまとめる			
	第8回	内容	観光産業② 鉄道、航空。旅行会社などの現状と課題	予習	交通、旅行会社について調べておく			
				復習	交通、旅行会社の課題をまとめる			
	第9回	内容	観光産業③ テーマパークと遊園地	予習	テーマパークと遊園地の現状を調べておく			
				復習	TDLがなぜ人気なのかなどを考えてみる			
	第10回	内容	コロナ禍終息で期待されるインバウンド	予習	国、年ごとインバウンドの推移を調べておく			
				復習	インバウンドがなぜ重要かをまとめる			
	第11回	内容	日本人と海外旅行	予習	日本人の海外旅行の変遷について調べておく			
				復習	日本人の海外旅行の今後についてまとめる			
	第12回	内容	政府が後押しする観光政策とは何か	予習	政府の観光政策と観光庁について調べておく			
				復習	観光政策が与える影響についてまとめる			
	第13回	内容	地方を元気にする観光。集客に優れたアニメ聖地巡り	予習	自治体の観光の取り組みを調べておく			
				復習	観光で成功している地域をまとめる			
	第14回	内容	観光と情報発信 マスコミからSNSまで	予習	観光にとって情報発信とは何かを調べておく			
				復習	情報発信に巧みな事例をまとめる			
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	発表するテーマを決め、資料を作っておく			
				復習	ディスカッションした内容をまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて課題のフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（20%）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	使用しない。必要に応じ資料配布をする							
参考文献	令和4年版 観光白書 観光庁編。 ディズニーランドの秘密 有馬哲夫、新潮社。 よみうりランド70年史 よみうりランド・神崎公一編 中央論事業出版社							
補足事項	予習、復習には観光地や地方自治体、外国の政府観光局などのウェブサイトを活用してください。							

科 目 名	観光地理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かんざき こういち 神 崎 公 一
ナソバ°リンク°コート°	TOS3221		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）							
授 業 の 内 容	日本と外国の観光地の地理を把握し、その特徴と観光地としての課題を総合的に理解できる授業とする。日本人が海外旅行をする場合、外国人観光客が日本旅行をする双方のケースで、交通・移動・宿泊などの現状と課題について学ぶ。							
到 達 目 標	1. 国内外の観光地の立地などを理解することで、地理的な知識を明らかにできる。 2. 観光地の歴史、地域とのつながり、文化などについて説明できる。 3. 観光・旅行業界で戦力となる人材を目指し、アピールできる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1. 2. 3）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 観光地理学とは何か、	予習	シラバスを読んでおくこと			
				復習	授業の狙いと意義についてまとめる			
	第2回	内容	地域と観光の役割、	予習	交通の発展と観光の関係を調べておく			
				復習	地域にとっての観光の重要性をまとめる			
	第3回	内容	日本① 東京、大阪などの都市観光の魅力とは	予習	東京や大阪の観光地としての魅力を調べておく			
				復習	大都市の利便性と課題についてまとめる			
	第4回	内容	日本② 地方の観光地の特色、特に温泉地について	予習	地方の有名な観光地について調べておく			
				復習	遠隔地の観光地は不利か有利かをまとめる			
	第5回	内容	中国① 北京、上海など大都市の魅力とは	予習	中国の代表的な大都市について調べておく			
				復習	中国大都市の魅力についてまとめる			
	第6回	内容	中国② シルクロード、三国志の舞台など歴史的名所	予習	日本人に人気の観光地について調べておく			
				復習	日本とこれらの地域の関係をまとめる			
	第7回	内容	韓国、台湾などの観光地の特色	予習	各地域の代表的観光地について調べておく			
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる			
	第8回	内容	東南アジア タイ、ベトナム、マレーシアなど	予習	東南アジア各国の観光について調べておく			
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめておく			
	第9回	内容	聖地（アニメなど）と称される観光地について	予習	アニメツーリズムについて調べておく			
				復習	全国のアニメの聖地についてまとめる			
	第10回	内容	アメリカ① 大都市 ニューヨーク、ロサンゼルスなど	予習	アメリカ東部と西部について調べておくこと			
				復習	日本とこの地域の地理的関係をまとめる			
	第11回	内容	アメリカ② 大自然、国立公園	予習	アメリカの自然について調べておくこと			
				復習	アメリカの国立公園の人気についてまとめる			
	第12回	内容	カナダ 環境重視のカナダの観光とは	予習	カナダの代表的な観光地について調べておく			
				復習	カナダと自然、都市についてまとめる			
	第13回	内容	ヨーロッパ各国の地理的特色と観光	予習	英仏独伊などの観光について調べておく			
				復習	日本とこの地域の関係をまとめる			
	第14回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	1－6回の講義の発表資料を作成しておく			
				復習	ディスカッションした内容を整理しておく			
	第15回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッション	予習	7－13回の講義の発表資料を作成しておく			
				復習	ディスカッションした内容を整理しておく			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて課題のフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（20%）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	使用しない。必要に応じて資料を配布する。							
参考文献	『令和4年版 観光白書』（観光庁編）							
補足事項	授業内容は必ず筆記してください。取り上げる地域ごとの地図帳を持参すること。ウェブサイトも利用すること。							

科 目 名	実用英語			単 位 数	2	授業時間数	1 5	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	TOS3212			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()								
授 業 の 内 容	本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。 TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。 また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に着ける。								
到 達 目 標	1．英語の基礎力を身に着ける。(語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる) 2．英語で日常生活における基本的なコミュニケーションをとることができる。 3．どのような分野の英語の文章でも大意を理解することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (2, 3, 4)								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス (TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて)	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	TOEIC の試験概要について確認する				
	第 2 回	内容	Unit 1 Shopping (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 3 回	内容	Unit 1 Shopping (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「名詞」について学んだことを理解する				
	第 4 回	内容	Unit 2 Dining Out (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 5 回	内容	Unit 2 Dining Out (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「代名詞」について学んだことを理解する				
	第 6 回	内容	Unit 3 Daily Life (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 7 回	内容	Unit 3 Daily Life (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「形容詞」について学んだことを理解する				
	第 8 回	内容	Unit 4 Travel (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 9 回	内容	Unit 4 Travel (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「副詞」について学んだことを理解する				
	第 10 回	内容	Unit 5 Entertainment (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 11 回	内容	Unit 5 Entertainment (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「時制 1」について学んだことを理解する				
	第 12 回	内容	Unit 6 News & Media (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 13 回	内容	Unit 6 News & Media (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「時制 2」について学んだことを理解する				
	第 14 回	内容	Unit 7 Housing (Listening)	予習	Vocabulary Builder の問題を解いておく				
				復習	授業で習った単語・フレーズを覚える				
	第 15 回	内容	Unit 7 Housing (Reading)	予習	Part5-Part7 の問題を解いておく				
				復習	「主語と動詞」について学んだことを理解する				
予習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 9 0 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	毎回実施する英単語の小テストに対し採点・返却・解説を行う。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／ () ししない 成績評価の方法： 授業内小テスト (7 0 %)、授業態度【積極的参加】 (3 0 %)								
教科書	『First Try for The TOEIC L&R Test』(Robert Hickling、金星堂)								
参考文献	なし (必要な際はプリントを配布する。)								
補足事項	毎回辞書 (電子辞書・紙の辞書どちらでも可) を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。								

科 目 名	観光英会話		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	はやし たかこ 林 貴子	
ナンバリングコード	TOS3212		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本授業では、海外からの顧客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目的とした英会話を学ぶ。 近年のグローバル化の進展に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。								
到 達 目 標	１．外国人観光客に英語で必要な情報を提供することができる。 ２．観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている。 ３．外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ １， 2， 4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス（授業概要説明、成績評価説明）	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	授業の進め方や成績評価について確認する				
	第 2 回	内容	Unit 1. Transportation	予習	教科書の交通に関する語の意味と I C カードについての説明文について調べておく				
				復習	交通についての会話文を音読する				
	第 3 回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)	予習	教科書のホテルでのチェックインに関する単語の意味を調べる				
				復習	ホテルでのチェックインの会話を音読する				
	第 4 回	内容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予習	ホテルの施設に関する単語の意味を調べる				
				復習	ホテルの施設に関する会話を音読する				
	第 5 回	内容	Unit 4. Giving Directions	予習	道案内に関する単語の意味を調べる				
				復習	道案内の会話を音読する				
	第 6 回	内容	Unit 5. Recommending a Trip	予習	海外からのお客様に観光スポットを勧める際に使う単語の意味を調べる				
				復習	観光案内に関する会話を音読する				
	第 7 回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①	予習	日本の食事に関する単語の意味を調べる				
				復習	日本の食事の案内をする会話を音読する				
	第 8 回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②	予習	日本料理を説明する際に使う語句の意味を調べる				
				復習	日本料理の説明をする会話を音読する				
	第 9 回	内容	Unit 8. Arranging a Tour	予習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする際の単語の意味を調べる				
				復習	海外からのお客様に国内旅行をアレンジする会話を音読する				
	第 10 回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予習	旅館でのマナーを説明する際に使う語句の意味を調べる				
				復習	旅館でのマナーを説明する文章を音読する				
	第 11 回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予習	日本の伝統文化を紹介する際に使う単語の意味を調べる				
				復習	日本の伝統文化を説明する会話を音読する				
	第 12 回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予習	日本の年間行事を紹介する際に使う単語を調べる				
				復習	日本の年間行事を説明する会話を音読する				
	第 13 回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予習	日本のお土産を紹介する際に使う単語の意味を調べる				
				復習	日本のお土産を説明する会話を音読する				
	第 14 回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予習	旅行中の病気について説明する際の単語の意味を調べる				
				復習	お客様が病気をされた際の会話を音読する				
	第 15 回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予習	クレームや問い合わせへの対応で使う単語の意味を調べる				
				復習	クレームに対応する際の会話を音読する				
	予習に要する学習時間：概ね 4 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 1 5 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	発言の際、発音や英語の表現等についてのフィードバックを行う。また授業内に実施する小テストの採点・評価をして返却する。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：授業内小テスト（ 6 0 %）、授業内発表（ 2 0 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 2 0 %）							
教科書	『Hospitality on the Scene』（上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂）								
参考文献	なし（必要な際はプリントを配布する。）								
補足事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。会話のクラスなので、積極的に英語を話すこと。								

科 目 名	エアライン英会話		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子	
ナンバリングコード	TOS3213		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 エアライン業務を想定し、ホスピタリティマインド溢れるお客様対応のフレーズを演習します。 簡単な英語インタビューの応答を練習し、英語での自己表現ができるようになります。								
到 達 目 標	１． 英語での自己表現が、感情豊かにできる ２． 英語での質疑応答ができる ３． エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションが自主的にできる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2, 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション Airline Terms ①	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく				
			Public Announcements I （ワーク・ロールプレイング）	復習	お客様へのアナウンスを練習				
	第 2 回	内容	Flight Operations①	予習	前回の機内用語を覚え、アナウンスの復習				
			Role playing Finding Seat （ペア・ワーク）	復習	お客様との会話を覚える、単語を覚える				
	第 3 回	内容	Flight Operations②	予習	前回学習した用語と意味を覚える				
			Role playing Baggage in the aisle （ペア・ワーク）	復習	お客様との会話を覚える、英単語を覚える				
	第 4 回	内容	Aircraft	予習	飛行機の種類と言い方について調べる				
			Role playing Fasten seat belt （ペア・ワーク）	復習	お客様とのコミュニケーションを練習する				
	第 5 回	内容	Before takeoff service （ペア・ワーク）	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 6 回	内容	Welcome Announcement （全体発表）	予習	前回覚えた用語を復習してくる				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 7 回	内容	Role playing Liquor&Meal Service （ペア・ワーク）	予習	機内でサービスされる飲み物の種類を研究する				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 8 回	内容	Role playing Clear off the table （ペア・ワーク）	予習	前回までの機内用語を復習してくる				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 9 回	内容	Role playing Special Meal （ペア・ワーク）	予習	機内でサービスされる特別食を研究する				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 10 回	内容	Role playing Inflight Entertainment （ペア・ワーク）	予習	機内にはどのようなサービスがあるか研究する				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 11 回	内容	Role playing Children’ s Entertainment （ペア・ワーク）	予習	子供の遊び用品を英語で覚える				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 12 回	内容	Role playing Route Information （ペア・ワーク）	予習	世界の有名建造物を英語で覚える				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 13 回	内容	Inflight Sales （ペア・ワーク）	予習	機内販売商品の知識を英語で覚える				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 14 回	内容	Arrival Information （ペア・ワーク）	予習	日本の地域を英語で言えるようにする				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	第 15 回	内容	Farewell announcement （全体発表）	予習	日本の紹介を英語でできるようにする				
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える				
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、実技（20%）、授業態度【自主性】（ 20%）							
教科書	なし								
参考文献	航空業界を紹介した雑誌（エアステージ等）								
補足事項	授業で学んだことを日々復習し、英語で表現することに取り組んでほしい。配布シートは必ずファイルをして、テキストファイルを作成する								

科 目 名	韓国語実用会話		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	うおん じょんびん 元 鍾 彬
ナンバリングコード	TOS3214		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	日本には他国から来た旅行者や移住者が毎年増えつつあります。他国の人々と共に平和な社会を築くための「異文化との対話」は、重要なキーワードになっています。本講義では、アジア地域として日・韓の似ている文化の比較や異なる面白い文化を楽しく学びます。さらに多くの人々から愛されているドラマや音楽などを接しながらヒアリングや会話の練習、文法を学びます。コロナ感染症の状況を確認しながらリトル韓国と言われている新大久保駅周辺にある韓国のお店などでハングルの文字を身近に体験します。							
到 達 目 標	1. ハングルの基礎をしっかりと学び、文字が読めることができる。 2. 聞いた単語や簡単な文章を書くことができる。 3. 挨拶や簡単な会話ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 4 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス（ハングルの成り立ちについて）	予習	ハングルの成り立ちについてテキストを読む			
				復習	子音と母音の役割について復習する。			
	第2回	内容	ハングルの発音（子音）を学ぶ	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	子音と音表記を 10 回ノートに書く。			
	第3回	内容	ハングルの発音（母音）	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	基本母音 10 個と音表記を 10 回ノートで書く			
	第4回	内容	ハングル（パッチム）について学ぶ	予習	パッチムの音表記を覚えて置くこと			
				復習	パッチムの音表記を 5 回書く。			
	第5回	内容	子音と母音、パッチムの振り返り学習	予習	ハングル表を 3 回読んで置くこと			
				復習	ハングル表を 5 回ノートで書く。			
	第6回	内容	二重母音（合成母音）について学ぶ	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	二重母音 11 個の音表記と一緒に覚える。			
	第7回	内容	発音の練習－簡単な単語を読む	予習	配布した資料を読んで置くこと			
				復習	単語の音表記を書いて声を出して読む			
	第8回	内容	ハングルのスマートフォンで入力してみよう。	予習	テキスト p24－p25 を読んで置くこと			
				復習	単語をスマートフォンで入力して調べる。			
	第9回	内容	教室でよく使う言葉について学ぼう	予習	テキスト p30 を読んで置く。			
				復習	単語の基本形を覚えよう。			
	第10回	内容	挨拶の言葉について学ぼう	予習	テキストの裏の表紙に書いてある挨拶文を読んで置くこと。			
				復習	挨拶文を覚えて書いてみいる。			
	第11回	内容	自己紹介－丁寧な言葉を学ぼう。	予習	テキスト p 31 を読んで置くこと			
				復習	簡単な自己紹介文についてテキストを参考に作成してみる。			
	第12回	内容	かしこまった表現について学ぼう	予習	テキスト p 36 を読んで置くこと			
				復習	「かしこまった表現」を振り返って復習する。			
	第13回	内容	これは何ですか－指示代名詞について学ぼう	予習	テキスト p 44 を読んで置くこと。			
				復習	配布した資料をみて指示代名詞を覚えよう。			
	第14回	内容	指示代名詞を使って会話の文書を作ってみよう。	予習	配布した資料をノートで書いて置こう。			
				復習	指示代名詞を使った文章を作ってみる。			
	第15回	内容	尊敬語の作り方について学ぼう	予習	テキスト p 49 を読んで置くこと			
				復習	パッチムがある時とない時の違いを覚えよう。			
	第16回	内容	数詞について学ぼう－「漢数詞」	予習	テキスト p 56～p 58 を読んで置くこと			
				復習	電話番号やカレンダーの読み方を覚えよう。			
	第17回	内容	数詞について学ぼう－「固有数詞」	予習	テキスト p 56～p 58 を読んで置くこと			
				復習	モノの数え方や単位、時計の読み方を覚えよう。			
		内容			予習	テキスト p 42 を確認して置くこと		

	第 18 回		位置や方向を現す言葉について学ぼう	復習	位置を表す言葉や方向を現す言葉を覚えておこう。
	第 19 回	内容	日曜日は何をしますか。	予習	テキスト p51 を読んで置くこと
				復習	テキストの p58 の曜日を覚えよう。
	第 20 回	内容	助詞の使い方について学ぼう	予習	テキスト p50 を覚えて置くこと
				復習	ハングルの成り立ちについてテキストを読む
	第 21 回	内容	うちとけた表現ーパッチムない時	予習	テキスト p53 を読んで置くこと
				復習	テキスト p53 の単語を覚えよう。
	第 22 回	内容	うちとけた表現ーパッチムがある時	予習	テキスト p54 を読んで置くこと
				復習	テキスト p54 の単語を覚えよう。
	第 23 回	内容	週末には何をしましたか。ー過ぎたことを表現する時ー	予習	テキスト p65 を読んで置くこと
				復習	テキスト p 67 の単語を覚えて置くこと
	第 24 回	内容	過去形の作り方ーパッチムがある時とない時の作り方について	予習	テキスト p 67 を読んで置くこと
				復習	テキスト p70 を過去形に直して読んでみる。
	第 25 回	内容	韓国ドラマの特徴や文化について調べてみよう。 「生活でよく使う言葉を学ぶ」	予習	韓国のドラマについて調べて置くこと
				復習	韓国ドラマから見えてくる家族関係について考えてみる
	第 26 回	内容	シークレットガーデン OST「彼女」を聞いて訳してみようー聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	「彼女;그 여자」聞いて置くこと。
				復習	新しい単語を覚えよう。
	第 27 回	内容	シークレットガーデン OST「彼女」歌詞の単語を書くー「穴埋めワーク」	予習	YouTube で「彼女;그 여자」の歌を聴く。
				復習	配布した歌詞を声を出して読む。
	第 28 回	内容	シークレットガーデン① 聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	YouTube などで調べて 1 話、ストーリーを確認して置く。
				復習	新しい単語を覚えよう。
	第 29 回	内容	シークレットガーデン② 聞き取り練習と聞いたことばの確認	予習	YouTube などで調べて 2 話、ストーリーを確認して置く。
				復習	新しい単語を覚えよう。
	第 30 回	内容	まとめー丁寧な表現や過去形を振り返る 「動詞・形容詞の活用形」	予習	うちとけた表現、過去形の作り方を確認して置く
				復習	1 学期で学んだ重要な表現を覚えよう。
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	課題や小テストは、赤ペンでチェックして返します。自分の課題を必ず確認してください。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（30%）、作品・発表 20%）、実技（ ）、授業態度【小テスト・積極的な授業参加】（30+20%）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『最新チャレンジ！韓国語』（金順玉・阪堂千津子、百水社）				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業中に必要な資料を配布します。				
補足事項	初期の基礎を学ぶ時は欠席しないようにしてください。 授業の初頭時間約 15 分間は、前回学んだことを中心に小テストを行います。				

科 目 名	中国語実用会話		単 位 数	2	授業時間数	6 0	担当教員	やまぐち よし 山 口 芳
ナバリングコード	TOS3215		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	中国語で簡単なコミュニケーションができるようになるために、中国語の基礎を身につけて、さらに中国や中国文化に対する理解と関心を高めていく。具体的には、日常生活の様々な場面を通じて、中国の人々の生活や中国の文化に触れながら講義を進めていく。							
到 達 目 標	1．中国語の発音（ピンイン）の読み方を身につけている 2．基本的な文章（語順）を正しく組み立てることができる 3．それぞれの場面に適切なコミュニケーション能力を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1， 2， 3， 4）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、中国について、中国語の基本概念	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	発音Ⅰ（単母音・子音1・声調）	予習	基本母音・子音・声調を確認しておく			
				復習	テキストの「発音練習」のページにある内容を読めるようになるまで練習する			
	第3回	内容	発音Ⅱ（二重母音・子音2）、簡単な挨拶	予習	二重母音・子音を読んでおく			
				復習	ピンインのつづり規則①をまとめる、更に簡単な挨拶を暗記できるまで練習する			
	第4回	内容	発音Ⅲ（三重母音）、数字①	予習	三重母音を読んでおく			
				復習	数字を暗記できるまで練習する			
	第5回	内容	発音Ⅳ（鼻母音）	予習	鼻母音を確認しておく			
				復習	テキストの「発音練習」のページにある内容を読めるようになるまで練習する			
	第6回	内容	発音の復習、自分の名前の中国語読み、中国人の名前について	予習	中国語の発音を整理して・ピンインのつづり規則②をまとめる			
				復習	中国語の発音をまとめる、課題を作成する			
	第7回	内容	学習用品（文法項目：「是」の述語文・一般疑問文）	予習	単語を読んでおく			
				復習	文型を整理して、課題を作成する			
	第8回	内容	自己紹介Ⅰ、発表（名前・身分・国籍）	予習	文型を確認しておく			
				復習	自己紹介ができるようになるまで練習する			
	第9回	内容	私達の学校（文法項目：形容詞述語文・省略疑問文）、中国の大学の紹介	予習	単語を読んでおく			
				復習	形容詞述語文を理解する			
	第10回	内容	物・学校についての評価（文法項目：主述述語文）	予習	テーマについて確認しておく			
				復習	名前・身分・国籍・体調・学習状況などが答えられるようになるまで練習する			
	第11回	内容	数字②、日付・時刻の表現、量詞（助数詞）	予習	数字の読み方をもう一度確認しておく、常用量詞を読んでおく			
				復習	数字に関する表現をまとめる			
	第12回	内容	お金の表現（文法項目：名詞述語文	予習	お金の表現を読んでおく			
				復習	名詞述語文・量詞の使い方を理解する			
	第13回	内容	食べ物・飲み物（文法項目：「動詞述語文」と「有」の述語文）、中国人の食事について	予習	単語を確認しておく			
				復習	文型を整理して、課題を作成する			
	第14回	内容	レストランで注文の仕方（反復疑問文・選択疑問文）	予習	単語を暗記しておく			
				復習	会話を空で言えるようになるまで練習する			
	第15回	内容	家族・住まい（文法項目：「在」の述語文・介詞「離」）	予習	文型を読んでおく			
				復習	文型を理解して、課題を作成する			
	第16回	内容	家族の紹介、発表（場所、人数、メンバー、学校からの距離、学校に通う便利さ）	予習	文型について確認しておく			
				復習	家族の紹介ができるようになるまで練習する			
	第17回	内容	食事（文法項目：完了相・助動詞「想」・介詞「從…到」）	予習	語順の再確認をしておく			
				復習	文型をまとめて、課題を作成する			
	第18回	内容	自分の一日、発表（起床から寝るまでの行動）	予習	単語・文型を確認しておく			
				復習	自分の一日が発表できるように練習する			
	第19回	内容	アルバイト（文法項目：時量の表現）	予習	単語・日付・時刻の表現を確認しておく			
				復習	会話が流暢に読めるように練習する			
	第20回	内容	職業・仕事（文法項目：介詞「在」）	予習	会話を読んでおく			
				復習	文型を理解して、課題を作成する			

	第 21 回	内容	旅行（１）（文法項目：過去の経験・介詞「給」）	予習	文型「完了相」について確認しておく
				復習	会話文が流暢に読めるように練習する
	第 22 回	内容	旅行（２）（文法項目：「是…的」の構造文）	予習	単語を暗記しておく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第 23 回	内容	車の運転（文法項目：助動詞「会、能、可以」）	予習	苦手な発音を練習しておく
				復習	会話文が流暢に読め、そして応用できるように練習する
	第 24 回	内容	中国語の DVD 鑑賞と質疑応答	予習	学習された単語が流暢に読めるように練習する
				復習	DVD で聞き取れなかった単語を暗記しておく
	第 25 回	内容	今何をしていますか（文法項目：進行形・連動文）	予習	単語を読んでおく
				復習	文型を理解して、課題を作成する
	第 26 回	内容	趣味（文法項目：助動詞「喜歡」・動詞の重ね型） 漢詩・中国の歌の鑑賞	予習	会話文を読んでおく
				復習	漢詩を吟じることができ、そして自分の趣味について言えるように練習する
	第 27 回	内容	疑問詞のまとめ、文型の整理、会話文の作成	予習	疑問詞をまとめ・文型を整理しておく
				復習	作成された疑問文を練習する
	第 28 回	内容	自己紹介Ⅱ（200 字程度）作文	予習	今まで発表された内容をもう一度確認しておく
				復習	自己紹介が発表できるように練習する
	第 29 回	内容	疑問詞の応用会話、発表会のリハーサル	予習	テキストの会話文が流暢に読めるように練習する
				復習	聞き取れていない疑問文をもう一度確認しておく
	第 30 回	内容	総合復習、発表会	予習	会話応用・最終の発表ができるように準備しておく
				復習	良い点・改善点などをまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	作成した課題を採点する				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（40%）、発表（40%）、授業態度【積極的参加】（20%）				
教科書	カリキュラムに応じたオリジナルテキスト				
参考文献	『《最新 2 訂版》中国語はじめての一步』（竹島 金吾監修、尹 景春・竹島 毅著 白水社） 『漢語口語速成（入門編）』（北京語言大学出版社）				
注意事項	毎回ポイントを説明し、繰り返し練習することによって覚えていく 毎回の内容を積み上げながら取り組むため、原則として欠席はしないようにすること				

科 目 名	エアライン実務		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
ナンバリングコード	TOS3216		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	エアラインで働くキャビンアテンダント及び地上スタッフの仕事への取り組み方を学びます。接客業はじめとする仕事の現場で求められる、知識・適正と能力（美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心）を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。							
到 達 目 標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション ・ CA の仕事とその魅力について CA 仕事研究	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	この科目を通して習得・体得することを理解する			
	第 2 回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・ 日常のマナーとホスピタリティ	予習	課題シート（マナーの必要性・重要性を自分の言葉でまとめる）			
				復習	授業用ノートを復習する			
	第 3 回	内容	エアラインのホスピタリティを学ぶ ・ 日常生活のマナーとホスピタリティ	予習	課題シートに取り組み（. 日常生活でマナーを実践しなくなった理由を内省する）			
				復習	授業用ノートを復習する			
	第 4 回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成① 自己理解と社会に求められる能力理解	予習	課題シート（日ごろ経験している「サービス」を考える）			
				復習	日々の行動から自己理解を深める			
	第 5 回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成② 自己表現力の養成① 身だしなみ・立ち居振る舞い	予習	課題シート（日ごろ気を付けている身だしなみのポイントについてまとめる）			
				復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する			
	第 6 回	内容	エアラインのホスピタリティ実践に必要な基礎力の養成③ 自己表現力の養成②好感を与える言葉づかい・表現法	予習	課題シート（言葉遣いに関して不安な点を、具体的に理由とともにまとめる）			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
	第 7 回	内容	「ホスピタリティ」の歴史と文化 ・ 西洋と東洋のホスピタリティ文化・日本のおもてなし文化	予習	課題シート（. 「サービス」と「ホスピタリティ」の言葉の意味を調べる、同じ語源の言葉を調べる）			
				復習	おもてなしとは、日本と海外の違いを理解する			
	第 8 回	内容	組織と顧客とホスピタリティ ・ 顧客満足（Customer Satisfaction）の重要性	予習	課題シート（「顧客満足 CS」に必要な要素について調べる）			
				復習	日常の中で、おもてなしの心を実践する			
	第 9 回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成① ・ 機内サービスを実践する お食事サービス	予習	課題シート（お客様対応にふさわしい身だしなみの整えを振り返る）			
				復習	お客様対応の実践から、日々の目配りを意識する			
	第 10 回	内容	ホスピタリティコミュニケーションの養成 ② ・ グランドホステスの仕事研究	予習	課題シート（エアラインの様々な仕事について調べる）			
				復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する			
	第 11 回	内容	チームの中でホスピタリティを発揮する ・ チームワークの重要性・必要な要素・チームビルディング	予習	課題シート（身近な場面でのチームワーク発揮経験をまとめる）			
				復習	習得したチームビルディングのスキルを実施する			
	第 12 回	内容	エアライン適正開発 ・ CA の仕事研究	予習	課題シート（CA の仕事について調べてくる）			
				復習	授業から学んだエアラインのホスピタリティを実践する			
	第 13 回	内容	ホスピタリティ・コミュニケーション ・ ホスピタリティ溢れる自分づくり	予習	課題シート（日常のホスピタリティ行動を振り返りまとめておく）			
				復習	日々、ポジティブシンキングを実践する			
	第 14 回	内容	エアライン適正開発 ② ・ 機内アナウンス実践（演習）	予習	課題シート（早口シート滑舌シートを使い、アナウンス練習に取り組む）			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
	第 15 回	内容	エアライン適正開発 ③ ・ 好印象な接客対応を体得する（演習）	予習	（習得・体得したサービススキルを復習する）			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ 60%）、レポート・課題（ 20%）、実技（ 10%）、授業態度【自主性】（ 10%）							
教科書	なし							

参考文献	『月刊 エアステージ』（イカロス出版）
補足事項	授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。

科 目 名	ファッションコーディネート		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	おおしば 大柴 みすず
ナンバリングコード	FAS3221		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	この授業では、ファッションコーディネートの基本的な知識や技術を身につけ、さまざまな商品の中から2種類以上のアパレル商品をどのように組み合わせればトータルに素敵に着こなすことができるのか、また自分らしさを表現できるのかを考え、演出する方法を習得することを目指します。							
到 達 目 標	1. ファッションコーディネートに関する基本的な知識や技術を身につけている 2. 目的やイメージに合ったコーディネートをトータルで表現することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション ファッションコーディネートの重要性	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	戦後のファッション史	予習	戦後のファッションを調べる			
				復習	戦後のファッション史を理解する			
	第3回	内容	ファッション情報について	予習	ファッション情報とSDGsを調べる			
				復習	今シーズンのファッション情報を収集する			
	第4回	内容	色の感情効果・ファッションのイメージ用語	予習	イメージ用語について調べる			
				復習	イメージ用語を理解する			
	第5回	内容	イメージによるコーディネート 色の分類、色の心理的効果	予習	自分のイメージをつかみ必要なものを準備する			
				復習	色について理解する			
	第6回	内容	メイクの基礎と笑顔作り	予習	必要な道具を準備する			
				復習	普段のメイクを見直す			
	第7回	内容	素材の基礎知識（柄の種類）	予習	アパレル商品の素材を調べる			
				復習	素材、柄について理解する			
	第8回	内容	色（カラー）の基礎知識、（配色の基本）	予習	配布プリントを読んでおく			
				復習	カラーについて理解する			
	第9回	内容	パーソナルカラー①（グループワークと発表）	予習	必要な道具を準備する			
				復習	授業内容を確認し、整理する			
	第10回	内容	パーソナルカラー②（グループワークと発表）	予習	必要な道具を準備する			
				復習	授業内容を確認し、整理する			
	第11回	内容	マイコーディネート① 発表	予習	必要な道具を準備する			
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる			
	第12回	内容	マイコーディネート② 発表	予習	必要な道具を準備する			
				復習	コーディネートの種類を整理し、まとめる			
	第13回	内容	フォーマルウェアの知識 （昼、夜、ウェディング、ブラックのフォーマル）	予習	フォーマルウェアについて調べる			
				復習	内容を復習する			
	第14回	内容	Z世代とAI	予習	用語を調べる			
				復習	実際に足を運んでみる			
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	配布プリントを整理しておく			
				復習	内容を復習する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね95分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（30%）、発表（40%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（30%）							
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。							
参考文献	授業の中で随時、紹介します。							
補足事項								

科 目 名	ファッション文化論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	しみず まりこ 清水 まり子	
ナソバ°リング°コート°	FAS3212		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）								
授 業 の 内 容	舞台衣装はかつて、各種の演劇やコンサートなどで使用される特別な衣装と考えられてきたが、現在では舞台衣装の一般ファッションへの影響や、時代風潮の舞台衣装への影響が補完関係になりつつある。本授業は文化としての舞台衣装の特徴と推移を考察し、明らかにすることを目的とする。								
到 達 目 標	1. ファッション文化に対して理解している。 2. 舞台衣装とファッションの関連について理解している。 3. 日本の伝統文化と現代文化に対する理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の説明(ガイダンス)	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	文化としての舞台(ステージ)衣装	予習	舞台衣装について調べる				
				復習	文化と舞台衣装の関係を理解する				
	第 3 回	内容	演歌歌手の舞台衣装 1 (着物)の歴史と現在	予習	演歌歌手の着物について調べておく				
				復習	着物の魅力を理解する				
	第 4 回	内容	演歌歌手の舞台衣装 2 (洋服)の歴史と現在	予習	演歌歌手の洋服を調べておく				
				復習	日本の歌と衣装の変遷を理解する				
	第 5 回	内容	男性演歌歌手の舞台衣装	予習	男性演歌歌手の舞台衣装を調べておく				
				復習	男性演歌歌手の舞台衣装の魅力を理解する				
	第 6 回	内容	クラシックからラップまでのダンス衣装	予習	ダンス衣装について調べておく				
				復習	ダンス衣装について理解する				
	第 7 回	内容	舞台衣装と歌	予習	舞台衣装と歌との関連を調べておく				
				復習	衣装と舞台効果の関係を理解する				
	第 8 回	内容	舞台衣装とドラマ	予習	ドラマで印象的だった衣装を調べておく				
				復習	出演者と衣装の関連を理解する				
	第 9 回	内容	舞台衣装のプロデュース	予習	プロデュースとは何かを調べる				
				復習	プロデューサーの役割を理解する				
	第 10 回	内容	舞台衣装のコーディネート	予習	好みのコーディネートを調べておく				
				復習	コーディネートについて理解する				
	第 11 回	内容	舞台衣装とカラーリング	予習	カラーリングについて調べておく				
				復習	カラーリングについて理解する				
	第 12 回	内容	舞台衣装の一般ファッションへの影響	予習	一般人への影響事例を調べておく				
				復習	一般ファッションへの影響力を理解する				
	第 13 回	内容	舞台衣装の多様化	予習	ファッションの多様性を調べておく				
				復習	舞台衣装にも多様性があることを理解する				
	第 14 回	内容	舞台衣装と時代背景	予習	舞台衣装と時代背景について調べておく				
				復習	舞台衣装と時代背景の関連性を理解する				
	第 15 回	内容	振り返り	予習	プリント、ノートを整理しておく				
				復習	これまでの内容を復習する				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業についての課題短文を授業終了後クラスルームに提出してもらい、授業の振り返りを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題 （30%）、作品・発表 （30%）、授業態度【積極的参加、出席状況 】（40%）							
教科書	特になし。必要に応じプリントを配布します。								
参考文献	授業の中で随時、紹介します。								
補足事項									

科 目 名	イベント・プランニング		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一	
ナンバリングコード	FAS3212		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	運動会や文化祭などの行事からオリンピック、サッカーW 杯といった国際大会、万博、音楽やアニメフェスなどイベント成功のカギは集客、収支、安全性などである。授業ではイベントの歴史を学ぶとともに、近年、景気回復の切り札として注目を浴びている観光を中心にイベントについて企画の立て方やPR の具体的手法などを学ぶ。								
到 達 目 標	1． イベント成功に手法ついて理解し、説明できる 2． 様々なイベントについて企画立案をして発表することができる 3． 観光関連のイベントについて理解し、説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 講義の全体像の説明	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義について理解する				
	第 2 回	内容	イベント開催の狙いと種類、嵐のツアーから学ぶ	予習	イベントとは何か、種類について調べておく				
				復習	嵐のツアーの効果について理解する				
	第 3 回	内容	観光振興とイベント。アニメ聖地、B 級グルメなどの背景	予習	観光振興とイベントの関係を調べておく				
				復習	具体的事例をもとに観光イベントを理解する				
	第 4 回	内容	観光業の実態。集客の切り札としてのイベント	予習	観光業の実態について調べておく				
				復習	観光関連イベントの重要性を理解する				
	第 5 回	内容	ファンツーリズムとイベント 嵐、韓流ドラマの影響	予習	ファンツーリズムについて調べておく				
				復習	ファンツーリズムの実態を理解する				
	第 6 回	内容	ドラマや映画のロケ誘致で集客プランニング	予習	ロケ誘致について調べおく				
				復習	ロケ誘致がいかに効果であるかを理解する				
	第 7 回	内容	経済効果が大きい五輪、万博、国際会議の誘致	予習	国際的イベントについて調べておく				
				復習	国際的イベントの効果について理解する				
	第 8 回	内容	7 回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく				
				復習	プレゼンをもとに問題点を検討する				
	第 9 回	内容	テーマパークや遊園地のイベント・プランニング	予習	レジャー施設のイベントについて調べておく				
				復習	レジャー施設のイベントの重要性を理解する				
	第 10 回	内容	地方の観光地、温泉地のイベントの成功例	予習	観光地、温泉地のイベントについて調べておく				
				復習	上記イベントの成功の理由を理解する				
	第 11 回	内容	インバウンド向けイベント・プランニング	予習	インバウンド向けのイベントを調べておく				
				復習	上記イベントの成功の理由を理解する				
	第 12 回	内容	観光列車、レストラン列車などのイベント企画	予習	交通機関のイベントについて調べておく				
				復習	交通機関のイベント企画を理解する				
	第 13 回	内容	デジタルによるイベント効果、オンラインイベント	予習	オンラインイベントなどについて調べておく				
				復習	オンラインイベントの効果と課題を理解する				
	第 14 回	内容	イベントの課題、集客失敗と地元への影響（ゴミ、渋滞）	予習	イベントの課題について調べておく				
				復習	課題解決について考え、理解する				
	第 15 回	内容	14 回までの授業をもとにしたプレゼンテーション	予習	授業をもとに、プレゼン資料を作っておく				
				復習	プレゼンをもとに問題点を検討する				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業についての課題短文を授業終了後の 5 日以内に-google-クラスルームに提出してもらい、授業の振り返りを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 30 %）、作品・発表（ 30 %）、授業態度【積極的発言、出席状況 】（ 40 %）							
教科書	特になし。必要に応じてプリントを配布する								
参考文献	『ディズニーランドの秘密』有馬哲夫、新潮社。 『よみうりランド 70 年史』よみうりランド・神崎公一編 中央公論事業出版社 『会いたい気持ちが動かすファンツーリズム 韓流ブームが示唆したもの、嵐ファンに教わったこと』幸田麻里子、臺順子、流経大出版会								
補足事項	プレゼンテーションは希望者のみ行い意見交換をする。課題作文は文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。								

科 目 名	イベント・マネジメント		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	かんざき こういち 神崎 公一	
ナバリングコード	FAS3213		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	イベントを成功させるには企画、計画から実施まで適切な管理が必要である。多くのスタッフを動かし、安全に運営することや収支計算をきちんと行っただけで、集客や販売促進につながる企画にする。そのためのイベント・マネジメントについて、実例を学びながら理解を深める。また、コロナ禍収束に伴う、観光イベントを中心としてマネジメントについても学ぶ。								
到 達 目 標	1. イベントを企画し、成功するための計画を立てることができる 2. イベントの安全管理、集客効果の具体的方法を提案できる 3. イベントの PR 活動、メディア対策について理解している								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2.3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、授業の進め方の説明	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	授業の全体像をつかむ				
	第2回	内容	イベントの立案から実施まで ある遊園地の例をもとに	予習	イベント立案の流れを調べておく				
				復習	立案から実施までの流れを理解する				
	第3回	内容	イベント開催に伴う問題点、安全性や交通渋滞	予習	イベント開催に伴う問題点を調べておく				
				復習	どんな問題点があるか、その解決法を理解する				
	第4回	内容	イベントの広報・PR活動 広報担当の1日を紹介	予習	イベントの広報・PR活動を調べておく				
				復習	イベントの広報・PR活動の実態を理解する				
	第5回	内容	イベントと効果的なメディア対策	予習	イベントのメディア対策について調べておく				
				復習	イベントのメディア活用方法を理解する				
	第6回	内容	イベントの問題発生と管理対策	予習	イベントの危機管理対策について調べておく				
				復習	危機管理発生時の対応を理解する				
	第7回	内容	地域を巻き込むイベントの可能性	予習	観光関連の地域イベントについて調べておく				
				復習	地域イベントの成功例を学び、理解する				
	第8回	内容	外国人に人気なアニメやコスプレなどイベント管理	予習	インバウンド向けイベントについて調べておく				
				復習	インバウンド向けイベントの重要性を理解する				
	第9回	内容	8回授業までを基にしたプレゼンテーション	予習	授業をもとにしたプレゼン資料を作っておく				
				復習	プレゼンを参考に問題点を検討する				
	第10回	内容	イベント運営のノウハウ、遊園地担当者からの報告	予習	レジャー施設のイベントについて調べておく				
				復習	レジャー施設イベント立案について理解する				
	第11回	内容	販売促進のためのマーケティングイベント	予習	マーケティングイベントについて調べておく				
				復習	マーケティングイベントを理解し、立案する				
	第12回	内容	環境問題とイベント	予習	イベント開催と環境問題について調べておく				
				復習	イベント開催と環境問題の重要性を理解する				
	第13回	内容	コロナ禍で増えたオンラインイベントの課題	予習	オンラインイベントとは何かを理解する				
				復習	オンラインイベントを立案できるようにする				
	第14回	内容	ユニバーサルイベントの立案と管理	予習	ユニバーサルイベントについて調べておく				
				復習	ユニバーサルイベントの課題について理解する				
	第15回	内容	14回授業までを基にしたプレゼンテーション	予習	授業をもとにしたプレゼン資料を作っておく				
				復習	プレゼンを参考に問題点を検討する				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業の進行中に質疑応答を行い、授業の理解度を深めます。第9回と第15回でプレゼンを行い、振り返りをします。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（30％）、作品・発表（30％）、授業態度【積極的参加、出席状況】（40％）							
教科書	特になし。必要に応じてプリントを配布します。								
参考文献	『イベントの仕事で働く』（岡島竜美、ペリかん社）、『よみうりランド70年史』（よみうりランド 神崎公一編、中公事業出版社）								
補足事項	毎回の授業について短い課題作文を書いてもらいます。課題作文は文章力アップに役立つことを理解し、積極的に提出してください。								

科 目 名	ショッピング・プレゼンテーション		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	おおしば 大柴 みすず	
ナンバリングコード	FAS3222		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	ショッピングでは、ただ商品を並べるだけでなく、商品やショッピングのコンセプトをアピールしてお客様をひきつけ、買い物をするためにわかりやすく快適な環境を作る必要があります。この授業では、お客様にとって快適なショッピングとは何かを考え、基礎的な陳列や展示方法、POP、ラッピングの技術を習得することを目指します。								
到 達 目 標	1. 快適で魅力的なショッピングとは何かを理解している 2. ショッピング演出の基礎的な知識、技術を身につけている								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション ショッピングの重要性、店作りに必要なもの（グループワーク）	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	購買のしかたと購買心理、 アイドマ・アイサス、人間の視覚と行動特性	予習	購買心理について調べる				
				復習	行動特性についてまとめる				
	第3回	内容	アパレル商品の陳列の基本 グルーピングとゾーニング	予習	陳列について調べる				
				復習	陳列方法を理解する				
	第4回	内容	アパレル商品の陳列の仕方 （グループワークと発表）	予習	陳列の種類を調べる				
				復習	メリット、デメリットを理解する				
	第5回	内容	基本構成の種類、（グループワークと発表）	予習	基本構成について調べる				
				復習	実際にショッピングを見てみる				
	第6回	内容	色（カラー）の基本①	予習	色について調べる				
				復習	色について理解する				
	第7回	内容	色（カラー）の基本②（グループワークと発表）	予習	配色について調べる				
				復習	配色の基本を理解する				
	第8回	内容	POP の役割、POP 文字の書き方、POP 制作	予習	POP のデザイン、コピーを考える				
				復習	ショッピングの様々な POP に注目してみる				
	第9回	内容	ラッピング 斜め包み、合わせ包み、リボンの結び方	予習	必要な道具等を準備する				
				復習	実生活で実践する				
	第10回	内容	学外見学（百貨店等のディスプレイ・コーディネート見学）	予習	見学場所について調べる				
				復習	見学した内容を整理する				
	第11回	内容	学外見学（百貨店等のディスプレイ・コーディネート見学） 店舗の比較	予習	レポートをまとめる作業を考えておく				
				復習	店舗による違いを理解する				
	第12回	内容	学外見学まとめ、（グループワークと発表）（レポート提出）	予習	レポートにまとめる準備をする				
				復習	レポートにまとめる				
	第13回	内容	ディスプレイ実習①（メイン VP 計画とグループ決定）	予習	配布プリントを読んでおく				
				復習	効果的な VP を理解する				
	第14回	内容	ディスプレイ実習②（グループごとにメイン VP の発表）	予習	必要なものを準備する				
				復習	実習を振り返り、考えをまとめる				
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ（グループワークと発表）	予習	配布プリントを整理しておく				
				復習	内容を復習する				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（20%）、レポート・課題（30%）、発表（20%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（30%）							
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。								
参考文献	授業の中で随時、紹介します。								
補足事項	一部、教材費として 学生負担があります。								

科 目 名	カラーコーディネート		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	もりやま たかつぐ 森山 隆次
ナンバリングコード	FAS3223		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	実社会における様々な分野で活躍する「カラーコーディネーター」について、色彩に関する専門知識を身に付け、色彩検定の資格取得を目指し、どのような職種においてもクリエイティブな仕事に対応できる能力を身につける。							
到 達 目 標	1. 文部科学省認定の色彩検定3級の資格取得の能力がついている。 2. 文部科学省認定の色彩検定2級の資格取得のための予備知識の習得の能力がついている。 3. 実習課題の制作提出がされている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	講習内容のオリエンテーション（授業内容とスケジュールの説明）A課題配布	予習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる			
				復習	配布された資料を熟読し			
	第2回	内容	基本講習1（色のはたらき・光と色Ⅰ）	予習	次回講習1項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-1課題を仕上げる			
	第3回	内容	基本講習2（光と色Ⅱ）	予習	次回講習2項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-2課題を仕上げる			
	第4回	内容	基本講習3（色の表示）	予習	次回講習3項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-3課題を仕上げる			
	第5回	内容	基本講習4（色彩心理）	予習	次回講習4項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-4課題を仕上げる			
	第6回	内容	基本講習5（配色調和）	予習	次回講習5項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-5課題を仕上げる			
	第7回	内容	基本講習6（配色イメージ）	予習	次回講習6項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-6課題を仕上げる			
	第8回	内容	基本講習7（ファッション）	予習	次回講習7項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-7課題を仕上げる			
	第9回	内容	基本講習8（インテリア）	予習	次回講習8項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-8課題を仕上げる			
	第10回	内容	基本講習9（慣用色名・ユニバーサルデザイン）	予習	次回講習9項目について教科書を熟読する			
				復習	出題されたA-9課題を仕上げる			
	第11回	内容	課題制作1（B課題のプランニング・制作準備）	予習	配布された課題Bの配色案をまとめる			
				復習	課題Bの制作プランシートを仕上げる			
	第12回	内容	課題制作2（B課題制作実習）	予習	課題Bのプランに基づき素材を準備する			
				復習	課題B作品の写真を提出する			
	第13回	内容	色彩検定対策講習Ⅰ（模擬試験）	予習	過去問題を閲覧し試験問題の傾向を把握する			
				復習	模擬試験結果を自己採点し弱点を把握する			
	第14回	内容	色彩検定対策講習Ⅱ	予習	3級と2級の違いを理解しておく			
				復習	本試験に向けて不明点を確認しておく			
	第15回	内容	総評・まとめ	予習	色彩が社会に役立つ事例を調べてまとめる			
				復習	本試験に向けて2・3級の要点を整理する			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	完成し提出した課題を添削し、個々にその仕上がりについて面談でコメントする						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【静粛実直】（10%）							
教科書	『色彩検定公式テキスト3級編』（2020年改訂版）公益社団法人 色彩検定協会、及び『新配色カード199a』（日本色研事業株式会社）							
参考文献	『インターネット』により参考資料各種							
補足事項	実社会で資格として通用する2級試験の受験希望者は『色彩検定公式テキスト2級編』を購入する事を推奨する。							

科 目 名	ブライダル論		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	なかにし きわ 中西 希和	
ナンバリングコード	FAS3214		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	ブライダル業界は少子高齢化、晩婚化、結婚式離れなどさまざまな課題を抱えていますが、家族や友人たちとのつながりやオリジナリティーを求める演出が増加するなど、多様化する結婚式の規模は高い基準で推移しており、巨大産業の1つとなっています。この授業では、こうしたブライダル業界の現状や課題を把握するとともに、ブライダルの歴史や、衣装、業界に関わる商品やサービス、業務内容等の基本的な知識を習得することを目指します。								
到 達 目 標	1. ブライダル業界の基礎知識を理解している 2. 結婚式には伝統的な文化や慣習が反映・調和されていることを理解している								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、資格について	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この授業で習得するべき内容を理解する				
	第2回	内容	ブライダル業界の変遷、市場の現状	予習	結婚式について考える。				
				復習	ブライダル業界の変遷を理解する				
	第3回	内容	ブライダル業界、関連業界の職種 (ブライダル業界の仕事、ウェディングプランナー)	予習	ブライダル業界の仕事について考える				
				復習	ブライダル業界の仕事について理解する				
	第4回	内容	婚約・結納（結納の由来、形態について）	予習	結納について下調べしておく				
				復習	結納の由来、形態について理解する				
	第5回	内容	挙式スタイルと流れ (キリスト教式、神前式、人前式、仏前式)	予習	挙式スタイルについて考える				
				復習	挙式スタイルと流れを理解する				
	第6回	内容	披露宴の変遷、流れ (披露宴の移り変わり、一般的な流れ)	予習	披露宴について考える				
				復習	披露宴の変遷、一般的な流れを理解する				
	第7回	内容	婚礼衣装の知識① (新郎新婦の衣装、洋装、ウェディングドレス)	予習	洋装の婚礼衣装について下調べしておく				
				復習	洋装の婚礼衣装について理解する				
	第8回	内容	婚礼衣装の知識②（和装、列席者の衣装）	予習	和装の婚礼衣装について下調べしておく				
				復習	和装の婚礼衣装について理解する				
	第9回	内容	ブライダル関連商品、サービス① (着付け、ヘアメイク)	予習	着付け、ヘアメイクについて考える				
				復習	着付け、ヘアメイクについて理解する				
	第10回	内容	ブライダル関連商品、サービス② (フラワー、写真、テーブルプラン、引出物、演出)	予習	ブライダル関連のサービスについて考える				
				復習	ブライダル関連のサービスについて理解する				
	第11回	内容	ブライダル施設の業務等（スケジュール、婚礼料理と形式、飲み物、ウェディングケーキ、ペーパーアイテム）	予習	ブライダル施設の業務について考える				
				復習	ブライダル施設の業務を理解する				
	第12回	内容	ウェディング当日の業務 (準備、進行、テーブルコーディネート、業界の展望)	予習	ウェディング当日の業務について考える				
				復習	ウェディング当日の業務を理解する				
	第13回	内容	欧米のブライダルと文化① (ブライダルパーティー、ギフト)	予習	ブライダルパーティーについて調べる				
				復習	欧米のブライダルと文化を理解する				
	第14回	内容	欧米のブライダルと文化② (挙式、レセプション)	予習	レセプションについて調べる				
				復習	欧米の挙式、レセプションを理解する				
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	全体を総括して問題点・課題点を考えておく				
				復習	実践に活かせることを考える				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（30%）、レポート・課題（30%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（40%）							
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。								
参考文献	授業の中で随時、紹介します。								
注意事項									

科 目 名	ブライダル演習		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	なかにし きわ 中西 希和	
ナンバリングコード	FAS3215		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	最近では家族や友人たちとのつながりやオリジナリティーを求める演出が増加するなど、挙式や披露宴は多様化しています。そのため、ブライダルに関する豊かな知識を持ち、市場の動向やトレンド情報を客観的に捉えることが重要です。この授業では、調査をもとにオリジナリティーのあるウェディングプランを考え、制作等を行いながら、アイディアや考えをわかりやすく伝える力を養うことを目指します。								
到 達 目 標	1．結婚式に興味を持ち、市場の動向やトレンド情報を調査・収集して分析することができる 2．イメージしたオリジナルのウェディングプランをわかりやすく伝えることができる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、資格について	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この授業で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	希望のイメージを聞く (ヒアリングシートの作成、テーマとコンセプト)	予習	希望の結婚式を考える				
				復習	情報を整理する				
	第3回	内容	挙式・披露宴のスケジュールの作成	予習	希望の挙式・披露宴を考える				
				復習	スケジュールを確認する				
	第4回	内容	婚礼施設の調査	予習	婚礼施設について考えておく				
				復習	婚礼施設についてまとめる				
	第5回	内容	衣裳、美容・ヘアメイクの調査	予習	衣裳、美容・ヘアメイクについて考えておく				
				復習	衣裳、美容・ヘアメイクについてまとめる				
	第6回	内容	披露宴の演出に関する調査	予習	披露宴の演出について考えておく				
				復習	披露宴の演出についてまとめる				
	第7回	内容	学外見学（ブライダル関連施設等の見学）（予定）	予習	見学場所について調べる				
				復習	見学した内容を整理する				
	第8回	内容	学外見学のまとめ（レポート提出）	予習	レポートをまとめる作業を考えておく				
				復習	レポートにまとめる				
	第9回	内容	ウェディング小物の制作① (デザイン図案の作成、生地のカット)	予習	必要な道具等を準備する				
				復習	制作の計画を立てる				
	第10回	内容	ウェディング小物の制作② (カット、装飾)	予習	制作方法を確認する				
				復習	計画を確認する				
	第11回	内容	ウェディング小物の制作③ (装飾、仕上げ、提出)	予習	制作方法を確認する				
				復習	制作を振り返り、考えをまとめる				
	第12回	内容	プレゼンテーション① 準備	予習	プレゼンの準備をする				
				復習	プランを確認する				
	第13回	内容	プレゼンテーション② 発表	予習	発表の準備をする				
				復習	発表後の反省点・課題点を考える				
	第14回	内容	ブライダル業界で求められる人材	予習	配布プリントを読んでおく				
				復習	求められる人材について整理する				
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	全体を総括して問題点・課題点を考えておく				
				復習	実践に活かせることを考える				
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題・作品の講評、授業の振り返りを行います。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（40%）							
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。								
参考文献	授業の中で随時、紹介します。								
補足事項									

科 目 名	We b デザイン			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美	
ナンバリングコード	WED3211			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	Web を活用した情報発信（プロモーションやマーケティングなど）は、ビジネスのみならず個人においても増えている。この講義では Web ページを制作するための HTML（ページ構造）と CSS（スタイルデザインの定義）を学習する。サイトの構成や構造を理解して、Web デザインの基礎知識と技術を身につけていく。									
到 達 目 標	1. HTML を理解して、Web ページを作成できる 2. CSS を理解して、Web ページにデザインを施すことができる 3. HTML と CSS を駆使して、思い描くレイアウト構成を作成できる									
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	Web デザインの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく					
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する					
	第 2 回	内容	Web ページ制作の流れ	予習	Web ページとは何か調べる					
				復習	Web ページ制作の手順をまとめる					
	第 3 回	内容	HTML① 基本タグ・改行・見出し	予習	HTML について調べる					
				復習	教科書を読み、基本タグについて整理する					
	第 4 回	内容	HTML② 画像	予習	保存先、参照先について考える					
				復習	ファイル参照を理解する					
	第 5 回	内容	HTML③ 表・リスト	予習	リストとは何か調べる					
				復習	table タグを整理しておく					
	第 6 回	内容	HTML④ リンク・ページの連携	予習	リンクに関するタグの種類と違いを調べる					
				復習	課題 HTML 部分を完成させる					
	第 7 回	内容	CSS① HTML とのリンク	予習	HTML と CSS の関連性を調べる					
				復習	HTML と CSS 作成手順を整理する					
	第 8 回	内容	CSS② 色の指定・背景	予習	CSS 記述方法を確認しておく					
				復習	CSS 記述方法を理解する					
	第 9 回	内容	CSS③ サイズ・枠線・余白	予習	padding タグと margin タグの違いを調べる					
				復習	padding タグと margin タグを理解する					
	第 10 回	内容	CSS④ HTML のグループ化・配置	予習	div タグについて調べる					
				復習	id と class の違いを理解する					
	第 11 回	内容	CSS⑤ 表の詳細設定・リストの活用	予習	表とリストに関するタグを見直しておく					
				復習	課題 CSS 部分を完成させる					
	第 12 回	内容	ページレイアウト	予習	id と class の必要性を考える					
				復習	ページレイアウトの仕方を整理する					
	第 13 回	内容	インラインフレーム	予習	インラインフレームについて調べる					
				復習	インラインフレームについてまとめる					
	第 14 回	内容	フォームの作成	予習	フォームについて調べる					
				復習	課題全ページを完成させる					
	第 15 回	内容	これまでのまとめ	予習	HTML と CSS についてまとめる					
				復習	HTML と CSS を理解する					
	予習に要する学習時間：概ね 1 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 0 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	課題の到達基準については、授業内で具体的に内容を示し解説を行う。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（2 0 %）、作品・発表（ ）、実技（6 0 %）、授業態度【積極的参加】（2 0 %）								
教科書	『情報演習 35 ステップ 30 HTML5 & CSS3 ワークブック 第 2 版』（相澤裕介、カットシステム）									
参考文献	『作りながら学ぶ HTML/CSS デザインの教科書』（高橋 朋代、SB クリエイティブ）									
補足事項	「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、必ず履修すること。									

科 目 名	We bサイト管理演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	Web サイトの管理や運営について、理解を深めていく。特に利用者（ユーザ）がどれだけ快適に操作できるかという Web ユーザビリティの視点を持ち、色彩の基本や見やすさといったデザイン性や操作性、セキュリティを捉えつつ、情報発信と管理の重要性を学習する。							
到 達 目 標	1. Web サイトの運営や管理の知識を身につけている 2. Web サイトの効果的デザイン・レイアウトを理解できる 3. ユーザビリティの視点から、Web サイトのデザインを提案できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2・3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	Web サイトの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	デザインの基礎 画像・色彩・フォント	予習	Web ユーザビリティについて調べる			
				復習	Web ユーザビリティの事例をまとめる			
	第 3 回	内容	制作ツール① Web 制作ソフト	予習	Web 作成ソフトを調べる			
				復習	Web 作成ソフトを使ってみる			
	第 4 回	内容	文章デザイン・ブロック配置とレイアウト	予習	見出しの重要性とデザインを調べる			
				復習	行間・文字間の重要性を考える			
	第 5 回	内容	制作ツール② グラフィックソフト	予習	グラフィックソフトを調べる			
				復習	グラフィックソフトを使ってみる			
	第 6 回	内容	カーニング・ボタン作成・写真の加工	予習	ボタンデザインを考える			
				復習	ボタンを作成する			
	第 7 回	内容	プランニング①ユーザの想定とデザインの方向性	予習	ユーザを想定してデザインの方向性を考える			
				復習	ユーザを想定してデザインの方向性を決める			
	第 8 回	内容	プランニング②サイトマップと色彩設計	予習	Web カラーについて調べる			
				復習	サイトマップを作成する			
	第 9 回	内容	プランニング③ナビゲーション・ページサイズ	予習	パンくずリストについて調べる、			
				復習	ナビゲーションの種類と役割をまとめる			
	第 10 回	内容	CSS でレイアウト①インラインレベルとブロックレベル	予習	CSS を使った見出しのデザインを考える			
				復習	インラインレベルとブロックレベルを理解する			
	第 11 回	内容	CSS でレイアウト②ボックス・ボーダー・フロート	予習	CSS を使ったボーダーデザインを考える			
				復習	ボックスのサイズ計算を理解する			
	第 12 回	内容	CSS でレイアウト③背景画像・リンク	予習	CSS を使ったボタンのデザインを考える			
				復習	作成課題のリンク動作を確認する			
	第 13 回	内容	動的サイト	予習	jQuery について調べる			
				復習	動的サイトの効果をまとめる			
	第 14 回	内容	SEO 対策	予習	SEO とは何か調べる			
				復習	SEO 対策についてまとめる			
	第 15 回	内容	まとめ	予習	課題を完成させる			
				復習	課題の動作確認をする			
予習に要する学習時間：概ね 1 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 4 0 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や作品制作について、コメント、アドバイスを個別対応する							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（2 0％）、作品・発表（6 0％）、実技（ ）％、授業態度【積極的参加】（2 0％）							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項	1. 「Web デザイン」を履修済みで、HTML を理解していることが必要 2. 「ウェブデザイン実務士」取得予定者は、履修すること							

科 目 名	W e bデザイン演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	WED3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	Web 関連科目の総括として、各自テーマを決めてサイト制作を行う。ターゲット・コンセプト・目的を明確にして、自らの思い描く Web サイトを完成させる。制作の一連の流れ（企画、設計、制作、運営）を通して、表現力と技術力を高めていく。							
到 達 目 標	1. 適切な表現で情報を発信できる 2. 利用する人の視点からデザインを考案できる 3. 作品を公開、運用できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2・3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	Web サイト制作とプランニング	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	企画案を作成する			
	第 2 回	内容	企画の立案と情報収集	予習	情報収集を行う			
				復習	企画案を完成させる			
	第 3 回	内容	企画書の作成	予習	企画案を完成させる			
				復習	企画書を仕上げる			
	第 4 回	内容	グラフィックソフトでデザイン	予習	グラフィックソフトの使い方を調べる			
				復習	画像編集する			
	第 5 回	内容	ページデザイン修正	予習	画像編集する			
				復習	ページデザインを修正する			
	第 6 回	内容	Web 用画像素材への変換	予習	画像ファイル形式を調べて、整理しておく			
				復習	画像修正、編集を行う			
	第 7 回	内容	ディレクトリの配置	予習	サイト構成を考える			
				復習	サイト構成を見直す			
	第 8 回	内容	コーディング（HTML） トップページの内容をマークアップ	予習	トップページのコンテンツを準備する			
				復習	トップページの HTML を完成させる			
	第 9 回	内容	コーディング（CSS） トップページのレイアウトを整える	予習	トップページの HTML を完成させる			
				復習	トップページの CSS を完成させる			
	第 10 回	内容	トップページのデザイン修正	予習	トップページのレイアウトを完成させる			
				復習	トップページの修正をする			
	第 11 回	内容	コーディング（HTML） 下層ページの内容をマークアップ	予習	ヘッダーフッターの活用を考える			
				復習	下層ページの HTML を完成させる			
	第 12 回	内容	コーディング（CSS） 下層ページのレイアウトを整える	予習	下層ページの HTML を完成させる			
				復習	下層ページの CSS を完成させる			
	第 13 回	内容	リンク設定とレイアウトの見直し	予習	リンクの動きを確認する			
				復習	レイアウトの見直しをする			
	第 14 回	内容	文章の校正とデザイン修正	予習	文章の見直しをする			
				復習	デザインの修正を行う			
	第 15 回	内容	サイトの公開と動作・表示確認	予習	各ブラウザでの表示を確認する			
				復習	ネット上での動作確認をする			
予習に要する学習時間：概ね 1 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 5 0 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	作品制作についてのコメント、アドバイス、評価は、個別対応する インターネット上で、既履修者及び履修者全員の作品公開を行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（1 0％）、作品・発表（7 0％）、実技（ ）％、授業態度【積極的参加】（2 0％）							
教科書	なし							
参考文献	なし							
補足事項	1. 「Web サイト管理演習」の履修を終えていることが必要 2. 作品制作には、授業時間外にも積極的に取り組んでほしい							

科 目 名	Webプログラミング		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	なかしま しゅんじ 中 島 俊 治	
ナンバリングコード	WED3222		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本講義では、Web プログラミングの基礎としての「JavaScript」を学ぶ。 「JavaScript」は、計算は勿論、Web ページのコンテンツやスタイルをコントロールが可能である。 それらの概要や技術的仕様に触れることを通じて、Web プログラミングの概要の説明やアプリケーション制作ができるようになる。								
到 達 目 標	1. 「Web プログラミング」の概要を理解し、説明できる 2. 「JavaScript」の基本的な仕組みを理解し、説明できる 3. 簡単な「Web アプリケーション」を自ら制作し、表現できる 4. Web プログラミング技術に関する最新の知識を学修することができる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2,3）								
授 業 計 画	第1回	内容	Web プログラミングの基礎知識	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	本科目の目的を再確認する				
	第2回	内容	HTML によるマークアップの方法	予習	作りたいプログラムをひとつ考える				
				復習	HTML の記述方法をまとめておく				
	第3回	内容	CSS によるスタイリングの方法	予習	テキストの当該範囲を予め目を通しておく				
				復習	CSS の記述方法をまとめておく				
	第4回	内容	JavaScript とは	予習	テキスト当該範囲のコードに目を通しておく				
				復習	JavaScript の記述方法をまとめておく				
	第5回	内容	ページに出力する方法	予習	第1回～第4回までを読み直しておく				
				復習	出力方法をまとめておく				
	第6回	内容	データを入力する	予習	身近なデータ保存を考える				
				復習	入力方法をまとめておく				
	第7回	内容	計算機アプリを作る	予習	どんな計算機アプリを作れるかを考える				
				復習	計算機アプリをオリジナル化する				
	第8回	内容	時計アプリを作る	予習	どんな時計アプリを作れるかを考える				
				復習	時計アプリをオリジナル化する				
	第9回	内容	占いアプリを作る	予習	どんな占いアプリを作れるかを考える				
				復習	占いアプリをオリジナル化する				
	第10回	内容	じゃんけんアプリを作る	予習	どんなじゃんけんアプリを作れるかを考える				
				復習	じゃんけんアプリをオリジナル化する				
	第11回	内容	効果音・映像を取り込む	予習	アプリ内の効果音・映像の効果を考える				
				復習	じゃんけんアプリに効果音を追加する				
	第12回	内容	データを保存する	予習	データの保存の効果を考える				
				復習	じゃんけんアプリにデータ保存機能を追加				
	第13回	内容	マウス・タッチの座標の取得	予習	マウス入力の必要性について考える				
				復習	マウスを使ったアプリをオリジナル化する				
	第14回	内容	図形を描画する	予習	図形描画アプリの効率について考える				
				復習	描画を用いた時計アプリを作る				
	第15回	内容	Web プログラミングのまとめ	予習	自分はどんなアプリを作れるかを考える				
				復習	オリジナルのアプリを実際に作ってみる				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	・ 作成したプログラムに都度コメントを行う。 ・ 期末試験後に正答の解説を行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的参加】（40%）							
教科書	なし								
参考文献	なし								
補足事項	・ PC 操作、キーボードの英字・数字等の入力に支障がないことを前提とする。 ・ 「どんなアプリケーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと。								

科 目 名	We bアニメーション演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	なかしま しゅん じ 中 島 俊 治	
ナンバリングコード	WED3232		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	最近、ホームページ上で画像や図形がアニメーションしているのを見かける。これは「CSS」というスタイリングの技術が、大幅に進化し容易にアニメーションが実現できるようになったためである。 本科目ではその「CSS」を中心に様々なアニメーションの方法を学び「Web アニメーション」の表現方法を探求する。								
到 達 目 標	1. 「Web アニメーション」の概要について理解し、説明できる 2. 「CSS」によるアニメーションの基本的な仕組みを理解し、説明できる 3. 簡単な「Web アニメーション」を自ら制作し、表現できる 4. Web アニメーション技術に関する最新の知識を学修することができる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	Web アニメーションの基礎知識・様々なアニメーション手法	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	本科目の目的を再確認する				
	第 2 回	内容	Web を制作するための文法	予習	作りたいアニメーションをひとつ考える				
				復習	制作のための文法をまとめておく				
	第 3 回	内容	基本の CSS プロパティ (ボックスモデル)	予習	テキストの当該範囲を予め読んでおく				
				復習	基本の CSS のサンプルをオリジナル化する				
	第 4 回	内容	リッチな CSS プリパティ (影・角丸・グラデーション)	予習	ボックスモデルを再確認しておく				
				復習	影・角丸をオリジナル化する				
	第 5 回	内容	変形の CSS プロパティ	予習	身近な変形のアニメーションを探しておく				
				復習	変形の方法をまとめておく				
	第 6 回	内容	変形の CSS プロパティ (制作演習②)	予習	作りたい変形をひとつ考えておく				
				復習	変形のアニメーションをオリジナル化する				
	第 7 回	内容	遷移の CSS プロパティ (トランジション)	予習	変形の方法を再確認しておく				
				復習	トラジションの方法をまとめておく				
	第 8 回	内容	遷移の CSS プロパティ (制作演習①)	予習	作りたいものをひとつ考えておく				
				復習	アニメーションをオリジナル化する				
	第 9 回	内容	アニメーションの CSS プロパティ	予習	身近なアニメーションを探しておく				
				復習	アニメーションの方法をまとめておく				
	第 10 回	内容	アニメーションの CSS プロパティ (制作演習③)	予習	作りたいアニメーションを考えておく				
				復習	アニメーションをオリジナル化する				
	第 11 回	内容	三次元の CSS プロパティ	予習	身近な三次元のアニメーションを探しておく				
				復習	三次元の方法をまとめておく				
	第 12 回	内容	三次元の CSS プロパティ (制作演習④)	予習	作りたい三次元アニメーションを考えておく				
				復習	三次元アニメーションをオリジナル化する				
	第 13 回	内容	JavaScript との連携	予習	JavaScript について再確認しておく				
				復習	JavaScript 連携についてまとめておく				
	第 14 回	内容	JavaScript との連携 (制作演習⑤)	予習	作りたい JavaScript 連携を考えておく				
				復習	JavaScript 連携をさらにオリジナル化する				
	第 15 回	内容	Web アニメーションのまとめ	予習	自分でどんなものが作れるかを考える				
				復習	オリジナルのアニメーションを実際に作る				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	・ 作成したアニメーション作品に都度コメントを行う。 ・ 期末試験後に正答の解説を行う							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ○ ）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【積極的な参加】（40%）							
教科書	なし								
参考文献	なし								
補足事項	・ PC 操作、キーボードの英字・数字等の入力に支障がないことを前提とする。 ・ 「どんなアニメーションを作ろうか」という思いを巡らせながら授業に臨むこと								

科 目 名	マルチメディア演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	WED3212		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	GIMPを用いた画像処理、Live2Dを用いたアニメーション制作、ミノ式MIDIシーケンサを用いた音楽制作、VRoid Studioと3teneを用いた3DCG制作、を通して、マルチメディアの制作を総合的に学びます。							
到 達 目 標	1．画像処理の基本的な操作ができる。 2．アニメーション制作のスキルを身につけている。 3．3DCGの基本的な操作ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	画像処理① GIMPの操作、写真の加工・修整	予習	GIMPについて調べる			
				復習	GIMPの操作を復習する			
	第3回	内容	画像処理② キャラクターの作成	予習	レイヤーについて調べる			
				復習	レイヤーの操作を復習する			
	第4回	内容	画像処理③ キャラクターの作成	予習	作品について考える			
				復習	作品の制作を振り返る			
	第5回	内容	アニメーション制作① Live2Dの操作	予習	Live2Dについて調べる			
				復習	Live2Dの操作を復習する			
	第6回	内容	アニメーション制作② Live2Dのアニメーション	予習	アニメーションについて調べる			
				復習	Live2Dの操作を復習する			
	第7回	内容	アニメーション制作③ Live2Dの作品制作	予習	作品について考える			
				復習	アニメーションの操作を復習する			
	第8回	内容	アニメーション制作④ Live2Dの作品制作	予習	作品について考える			
				復習	作品の制作を振り返る			
	第9回	内容	音楽制作① ミノ式MIDIシーケンサの操作、練習曲制作	予習	MIDIについて調べる			
				復習	ミノ式MIDIシーケンサの操作を復習する			
	第10回	内容	音楽制作② 作品制作・ドラム譜	予習	ドラム譜について調べる			
				復習	音符の入力の仕方を復習する			
	第11回	内容	音楽制作③ 作品制作	予習	楽譜を理解する			
				復習	作品の制作を振り返る			
	第12回	内容	3D① VRoid Studioの操作	予習	3D制作ソフトについて調べる			
				復習	VRoid Studioの操作を復習する			
	第13回	内容	3D② 3Dキャラクターの作成	予習	3Dキャラクター構想を考える			
				復習	キャラクター作成操作を復習する			
	第14回	内容	3D③ 3Dキャラクターの作成とアニメーション	予習	アニメーション操作について調べる			
				復習	3teneの操作を復習する			
	第15回	内容	3D④ 3Dキャラクターのアニメーション・まとめ	予習	これまで作成した課題を確認する			
				復習	これまで作成した課題を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	PDF形式のファイルを配布する。							
参考文献	なし							
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科 目 名	商品とデザイン		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	もりやま たかつぐ 森 山 隆 次	
ナンバリングコード	WED3223		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	コンピュータと最新のグラフィックアプリケーションでのオペレーション実習により、実社会の各職種に通用する、実践的な課題の制作に取り組み、デザインセンスを高め、自ら創造し提案「できる」能力を磨き、クリエイティブ能力を発揮できる人材の育成を目指す								
到 達 目 標	1. グラフィックデザイン制作アプリケーションの操作技術が身についている。 2. オリジナルのデザイン制作ができる、創造力やセンスが身についている。 3. 学期中に課題 2 点以上の作成および提出ができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	講習内容のオリエンテーション（授業内容とスケジュールと、使用グラフィックアプリの説明、）	予習	PC 操作に必要な個々の設定情報などを準備する				
				復習	配布された資料を熟読する				
	第 2 回	内容	コンピュータ実習 1 / タンブラーラベルの作成（以下 A 課題）「ソフトの基本操作。例題制作練習」	予習	アプリ教科書に目を通しておく				
				復習	アプリの操作・データの扱いを再確認する				
	第 3 回	内容	コンピュータ実習 2 / A 課題の制作「ベースのデザイン」	予習	タンブラーのデザインを考案しておく				
				復習	作成データのデザイン修正をする				
	第 4 回	内容	コンピュータ実習 3 / A 課題の制作「文字・イラスト・写真の編集」	予習	必要な素材を用意する				
				復習	作成データ校正と修正をする				
	第 5 回	内容	実物制作実習 1 / A 課題の制作「データプリント・仕上げ」	予習	最終データのチェック・提出準備をする				
				復習	完成作品とデータを提出する				
	第 6 回	内容	コンピュータ実習 4 / 食品サンプルの作成（以下 B 課題）「製品のプランニング」	予習	製品プランに必要な資料を用意しておく				
				復習	制作にあたり不足している資料を用意する				
	第 7 回	内容	コンピュータ実習 5 / B 課題の制作「製品形状のデザイン」	予習	自ら製作する作品のラフスケッチを描く				
				復習	作成データ（形）を見直し修正する				
	第 8 回	内容	コンピュータ実習 6 / B 課題の制作「素材とベースの定義」	予習	必要な飾りアイテムを用意する				
				復習	作成データ（レイアウト）を見直し修正する				
	第 9 回	内容	コンピュータ実習 7 / B 課題の制作「デコレーション編集」	予習	実データの配色を考える				
				復習	制作データ（全体）のブラッシュアップする				
	第 10 回	内容	コンピュータ実習 8 / B 課題の制作「制作データの確認」	予習	実物を作るためのレンビを考える				
				復習	製品の素材を見直し修正する				
	第 11 回	内容	コンピュータ実習 9 / B 課題の制作「データ確認・プリント」	予習	最終データのチェック・提出準備をする				
				復習	完成データを提出する				
	第 12 回	内容	コンピュータ実習 10 / オリジナル時計の作成（以下 C 課題）「時計のプランニング」	予習	レイアウトに必要な資料を用意しておく				
				復習	制作にあたり不足している資料を用意する				
	第 13 回	内容	コンピュータ実習 11 / C 課題の制作「ベースのデザイン」	予習	必要な画像などの素材を用意する				
				復習	作成データ校正と修正をする				
	第 14 回	内容	コンピュータ実習 12 / C 課題の制作「文字・イラスト・写真の編集」	予習	不足しているアイテムを用意する				
				復習	制作データ（全体）のブラッシュアップする				
	第 15 回	内容	実物制作実習 2 / C 課題の制作「データ確認・プリント・仕上げ」	予習	最終データのチェック・提出準備をする				
				復習	完成作品とデータを提出する				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	データと共に提出した課題作品またはプリントに、評価を記して個々に面談する							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）%、レポート・課題（70%）、作品・発表（20%）、実技（ ）%、授業態度【自主進行】（10%）							
教科書	『デザイン概論』資料（授業開始時配布） 『小さな会社&お店の Canva 超入門（山本和泉著・技術評論社）』								
参考文献	インターネットにより参考資料各種								
補足事項									

科 目 名	情報処理概論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナンバリングコード	INS3221			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	IT パスポートとは、企業の業務で必要とされる基本的な IT 知識の習得が証明できる国家資格です。この資格は IT 技術の知識だけでなく、経営全般や IT 管理の知識も問われ、多くの企業で新卒採用活動や社員研修で資格取得を課しています。本授業は、IT パスポートの中のマネジメント系の内容を除く「テクノロジー系」と「ストラテジ系」の内容を扱い、IT パスポートの資格取得を目標に、IT を正しく理解し、IT を利活用できる力を身につけることを目指します。ICT を活用し、スマートフォンやタブレットを用い、コメント・投票など双方向型授業も行ないます。								
到 達 目 標	1. コンピュータ用語や IT 技術（テクノロジー系）について説明できる。 2. 経営全般（ストラテジ系）について説明できる。 3. IT を利活用できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス・IT パスポート資格について	予習	シラバスを読み、IT パスポートについて調べる				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	テクノロジー系 ハードウェア	予習	ハードウェアの用語について調べる				
				復習	コンピュータの構成について復習する				
	第 3 回	内容	テクノロジー系 ハードウェア	予習	確率と統計について調べる				
				復習	基数変換について復習する				
	第 4 回	内容	テクノロジー系 ソフトウェア	予習	ソフトウェアの用語について調べる				
				復習	ファイル管理について復習する				
	第 5 回	内容	テクノロジー系 ソフトウェア	予習	マルチメディアの用語を調べる				
				復習	ユーザインタフェースについて復習する				
	第 6 回	内容	テクノロジー系 システム構成	予習	システム構成の用語について調べる				
				復習	稼働率の計算を復習する				
	第 7 回	内容	テクノロジー系 ネットワーク	予習	ネットワークの用語について調べる				
				復習	通信プロトコルについて復習する				
	第 8 回	内容	テクノロジー系 ネットワーク	予習	電子メールの用語について調べる				
				復習	通信サービスについて復習する				
	第 9 回	内容	テクノロジー系 セキュリティ	予習	セキュリティの用語について調べる				
				復習	サイバー攻撃について復習する				
	第 10 回	内容	テクノロジー系の小テスト・テクノロジー系 セキュリティ	予習	認証の用語について調べる				
				復習	暗号化技術について復習する				
	第 11 回	内容	ストラテジ系 企業活動と法務	予習	企業活動について調べる				
				復習	財務諸表について復習する				
	第 12 回	内容	ストラテジ系 企業活動と法務	予習	企業活動の用語について調べる				
				復習	知的財産について復習する				
	第 13 回	内容	ストラテジ系 企業活動と法務	予習	労働関連の法律について調べる				
				復習	取引関連の法律について復習する				
	第 14 回	内容	ストラテジ系 企業活動と法務	予習	組織について調べる				
復習				経営戦略について復習する					
第 15 回	内容	テクノロジー系とストラテジ系の小テスト・まとめ	予習	全範囲の内容を整理しておく					
			復習	全範囲の内容を復習する					
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	課題の回答に問題がある場合コメントを行なう。單元ごとの小テストの採点結果を返す。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 30 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 30 %）、小テスト（ 40 %）								
教科書	『令和 05 年 イメージ&クレパー方式でよくわかる 栢木先生の IT パスポート教室』（栢木厚、技術評論社）								
参考文献	なし								
補足事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。								

科 目 名	文書処理演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美
ナンバリングコード	INS3212		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）のワードの試験の合格を目指す授業です。文書作成ソフトのワードの操作、特に MOS 試験の出題範囲である「文書の管理」、「文字、段落、セクションの挿入と書式設定」、「表やリストの管理」、「参考資料の作成と管理」、「グラフィック要素の挿入と書式設定」、「文書の共同作業の管理」について学びます。操作方法の学習、模擬試験を行なうことにより、MOS のワード試験に合格できるスキルを身に付けることを目指します。							
到 達 目 標	1. ワードの操作ができる。 2. 見栄えの良い文書が作成できる。 3. 社会生活において困らない文書作成スキルを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	ワードの操作① 文書の管理	予習	文書の作成について調べる			
				復習	文書の作成について復習する			
	第 3 回	内容	ワードの操作② 文書の管理	予習	文書の管理について調べる			
				復習	文書の管理について復習する			
	第 4 回	内容	ワードの操作③ 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	予習	文字、段落について調べる			
				復習	書式設定について復習する			
	第 5 回	内容	ワードの操作④ 文字、段落、セクションの挿入と書式設定	予習	セクションについて調べる			
				復習	書式設定について復習する			
	第 6 回	内容	ワードの操作⑤ 表やリストの管理	予習	表について調べる			
				復習	表の作成について復習する			
	第 7 回	内容	ワードの操作⑥ 表やリストの管理	予習	リストについて調べる			
				復習	リストの作成について復習する			
	第 8 回	内容	ワードの操作⑦ 参考資料の作成と管理	予習	参考資料について調べる			
				復習	参考資料の作成について復習する			
	第 9 回	内容	ワードの操作⑧ グラフィック要素の挿入と書式設定	予習	グラフィック要素について調べる			
				復習	グラフィック要素の挿入について復習する			
	第 10 回	内容	ワードの操作⑨ グラフィック要素の挿入と書式設定	予習	グラフィック要素の書式設定について調べる			
				復習	グラフィック要素の書式設定について復習する			
	第 11 回	内容	ワードの操作⑩ 文書の共同作業の管理	予習	文書の共同作業の管理について調べる			
				復習	文書の共同作業の管理について復習する			
	第 12 回	内容	MOS ワードの模擬試験①	予習	MOS 試験の形式について調べる			
				復習	模擬試験を復習する			
	第 13 回	内容	MOS ワードの模擬試験②	予習	ワードの機能を確認する			
				復習	模擬試験を復習する			
	第 14 回	内容	MOS ワードの模擬試験③	予習	ワードの機能を確認する			
				復習	模擬試験を復習する			
	第 15 回	内容	MOS ワードの模擬試験④	予習	ワードの機能を確認する			
復習				模擬試験を復習する				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、実技【模擬試験】（ 50 %）							
教科書	『MOS Word 365&2019 対策テキスト&問題集（よくわかるマスター）』（富士通エフ・オー・エム、FOM 出版）							
参考文献	なし							
補足事項	教科書の模擬試験システムを使用します。指定の教科書を必ず用意してください。 この授業は対面授業ですが、一部オンデマンド形式の遠隔授業を行なう場合もあります。							

科 目 名	表計算演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	よしの あけみ 吉野 明美	
ナンバリングコード	INS3222		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	MOS（マイクロソフトオフィススペシャリスト）のエクセルの試験の合格を目指す授業です。表計算ソフトのエクセルの操作、特に MOS 試験の出題範囲である「ワークシートやブックの管理」、「セルやセル範囲のデータの管理」、「テーブルとテーブルのデータの管理」、「数式や関数を使用した演算の実行」、「グラフの管理」について学びます。操作方法の学習、模擬試験を行なうことにより、MOS のエクセル試験に合格できるスキルを身に付けることを目指します。								
到 達 目 標	1．エクセルの操作ができる。 2．データの集計ができる。 3．社会生活において困らない表計算スキルを身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第 2 回	内容	エクセルの操作① ワークシートやブックの管理	予習	ワークシートの作成について調べる				
				復習	ワークシートの操作について復習する				
	第 3 回	内容	エクセルの操作② ワークシートやブックの管理	予習	ブックの作成について調べる				
				復習	ブックの操作について復習する				
	第 4 回	内容	エクセルの操作③ セルやセル範囲のデータの管理	予習	セルの操作について調べる				
				復習	セルの操作について復習する				
	第 5 回	内容	エクセルの操作④ セルやセル範囲のデータの管理	予習	データの管理について調べる				
				復習	データの管理について復習する				
	第 6 回	内容	エクセルの操作⑤ テーブルとテーブルのデータの管理	予習	テーブルについて調べる				
				復習	テーブルの作成について復習する				
	第 7 回	内容	エクセルの操作⑥ テーブルとテーブルのデータの管理	予習	テーブルについて調べる				
				復習	テーブルの作成について復習する				
	第 8 回	内容	エクセルの操作⑦ 数式や関数を使用した演算の実行	予習	数式について調べる				
				復習	演算方法について復習する				
	第 9 回	内容	エクセルの操作⑧ 数式や関数を使用した演算の実行	予習	関数について調べる				
				復習	演算方法について復習する				
	第 10 回	内容	エクセルの操作⑨ グラフの管理	予習	グラフについて調べる				
				復習	グラフの作成について復習する				
	第 11 回	内容	エクセルの操作⑩ グラフの管理	予習	グラフの種類について調べる				
				復習	グラフの書式について復習する				
	第 12 回	内容	MOS エクセルの模擬試験①	予習	MOS 試験の形式について調べる				
				復習	模擬試験を復習する				
	第 13 回	内容	MOS エクセルの模擬試験②	予習	エクセルの機能を確認する				
				復習	模擬試験を復習する				
	第 14 回	内容	MOS エクセルの模擬試験③	予習	エクセルの機能を確認する				
				復習	模擬試験を復習する				
	第 15 回	内容	MOS エクセルの模擬試験④	予習	エクセルの機能を確認する				
				復習	模擬試験を復習する				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 50 %）、実技【 模擬試験 】（ 50 %）							
教科書	『MOS Excel 365&2019 対策テキスト&問題集（よくわかるマスター）』（富士通エフ・オー・エム、FOM 出版）								
参考文献	なし								
補足事項	教科書の模擬試験システムを使用します。指定の教科書を必ず用意してください。 この授業は対面授業ですが、一部オンデマンド形式の遠隔授業を行なう場合もあります。								

科 目 名	動画編集			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志	
ナンバリングコード	INS3213			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	動画の撮影、動画のパソコンへの取り込み、テロップの挿入、音楽の挿入、簡単なモーショングラフィックスなどといった動画編集の基本的操作を学び、動画作品を制作します。複数人で協力して撮影するグループワークも行ないます。									
到 達 目 標	1．動画編集の基本操作が身についている。 2．簡単なモーショングラフィックスを利用することができる。 3．テロップの入った簡単な動画を作成することができる。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく					
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する					
	第 2 回	内容	AviUtl の基本操作	予習	動画編集の基礎を調べる					
				復習	AviUtl の基本操作を復習する					
	第 3 回	内容	AviUtl による動画編集	予習	AviUtl の機能について調べる					
				復習	AviUtl の操作を復習する					
	第 4 回	内容	動画のカット編集	予習	カット編集について調べる					
				復習	カット編集の操作を復習する					
	第 5 回	内容	動画の撮影：所沢航空記念公園にて（グループワーク）	予習	所沢航空記念公園について調べる					
				復習	撮影した動画を確認する					
	第 6 回	内容	動画のパソコンへの取り込み・素材集め	予習	取り込み方法を調べる					
				復習	取り込み方法を復習する					
	第 7 回	内容	所沢航空記念公園を紹介する動画作成	予習	動画の構成を考える					
				復習	作成中の動画を振り返る					
	第 8 回	内容	所沢航空記念公園を紹介する動画作成	予習	動画の構成を考える					
				復習	作品の制作を振り返る					
	第 9 回	内容	動画の閲覧会、動画の撮影：大学にて（グループワーク）	予習	撮影する場所を考える					
				復習	撮影した動画を確認する					
	第 10 回	内容	モーショングラフィックス	予習	モーショングラフィックスについて調べる					
				復習	モーショングラフィックスの操作を復習する					
	第 11 回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える					
				復習	ソフトウェアの操作を復習する					
	第 12 回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える					
				復習	ソフトウェアの操作を復習する					
	第 13 回	内容	学科の紹介動画の作成	予習	動画の構成を考える					
				復習	作品の制作を振り返る					
	第 14 回	内容	動画作品の閲覧・コメントと投票	予習	作品を振り返る					
				復習	閲覧した作品を振り返る					
	第 15 回	内容	優秀作品の発表会	予習	これまで作成した課題を確認する					
				復習	これまで作成した課題を振り返る					
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 50 ％）、授業態度【積極的参加】（ 50 ％）								
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。									
参考文献	なし									
注意事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。									

科 目 名	動画創作		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志	
ナンバリングコード	INS3223		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	「動画創作」は「動画編集」の授業で学んだスキルを元に授業を進めます。この授業を受講する前に「動画編集」の授業を履修することをおすすめします。この授業では2つの動画を制作します。1つ目は、モーショングラフィックス、フェイストラッキング技術などを学び、キャラクターが動く VTuber 系動画を制作します。2つ目は、音楽とイラストなどを作成し、Music Video を制作します。								
到 達 目 標	1. 自分自身で構成を考え、動画を作成できる。 2. トラッキング技術を利用した動画が作成できる。 3. モーショングラフィックスを利用した動画が作成できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	動画編集の復習	予習	動画編集ソフトについて調べる				
				復習	カット編集を復習する				
	第3回	内容	動画編集の復習	予習	モーショングラフィックスについて調べる				
				復習	モーショングラフィックスの操作を復習する				
	第4回	内容	VTuber 系動画のキャラクター作成	予習	3D キャラクターについて調べる				
				復習	キャラクターの作り方を復習する				
	第5回	内容	VTuber 系動画作成の練習	予習	合成音声について調べる				
				復習	合成音声の作成方法を復習する				
	第6回	内容	VTuber 系動画作成の練習	予習	キャラクターのアニメーションについて調べる				
				復習	キャラクターの動きのつけ方を復習する				
	第7回	内容	VTuber 系動画の作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第8回	内容	VTuber 系動画の作成	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第9回	内容	カメラ制御	予習	カメラ制御について調べる				
				復習	カメラ制御の操作方法を復習する				
	第10回	内容	Music Video 制作の練習	予習	文字のアニメーションについて調べる				
				復習	文字アニメの操作方法を復習する				
	第11回	内容	Music Video 制作の練習	予習	文字のアニメーションの種類を調べる				
				復習	文字アニメの操作方法を復習する				
	第12回	内容	音楽制作 ミノ式 MIDI シーケンサの操作	予習	MIDI について調べる				
				復習	ミノ式 MIDI シーケンサの操作を復習する				
	第13回	内容	Music Video 制作	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第14回	内容	Music Video 制作	予習	動画の構成を考える				
				復習	制作物を振り返る				
	第15回	内容	動画の発表会	予習	作品を振り返る				
				復習	閲覧した作品を振り返る				
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	学生が作成した課題や作品に問題がある場合、コメントを行なう。作品の講評を行なう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（ 50 %）、授業態度【積極的参加】（ 50 %）							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。								
参考文献	なし								
注意事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。								

科 目 名	写真撮影技術演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	くどう けんいち 工藤 研 一	
ナンバリングコード	INS3214		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	様々分野において、写真(画像)は欠かせない表現方法として、いたる所で使用されています。 ここでは短期間で写真撮影に関する基礎的な知識と初歩的な撮影方法をしっかり学び、写真で自己表現ができるように身に付けることを目指します。								
到 達 目 標	1. 写真撮影に関する基礎知識とマナーを理解している。 2. 写真撮影による自己表現の方法を身につけている。 3. フォトアルバム制作により、今までに撮影した写真を作品としてまとめ表現することができる。 4. 日本の自然や歴史的な場所で建造物などを撮影することで伝統および近代文化に対する理解を深めることができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1， 2）								
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション： 履修者が所有するカメラの把握。スケジュールの説明	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する				
	第2回	内容	講習① 写真の概要、撮影マナーと肖像権	予習	所有しているカメラを確認し準備をする				
				復習	肖像権について理解する				
	第3回	内容	実習① カメラの使い方と身近な被写体の撮影実習	予習	カメラの説明書 を読み操作方法を把握する				
				復習	カメラの使い方を再度確認しておく				
	第4回	内容	実習② 課題：学外の屋外撮影実習 予定地：文京区 根津神社・つつじ園など	予習	実習場所を予め把握しておく				
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する				
	第5回	内容	講習② 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を事前に見ておく				
				復習	プリントする画像を選んでおく				
	第6回	内容	講習③ 構図(フレーミング)、感度と露出	予習	テキストの構図の部分を見ておく				
				復習	構図について理解する				
	第7回	内容	実習③ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：旧古河庭園・パラ園など、日本カメラ博物館見学	予習	実習場所を予め把握し撮影準備をする				
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する				
	第8回	内容	講習④ 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を予め確認しておく				
				復習	プリントする写真を選択する				
	第9回	内容	実習④ 課題：人物・小物アクセサリーの撮影実習	予習	写したい小物アクセサリーを用意する				
				復習	撮影したポイントを理解する				
	第10回	内容	実習⑤ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：喜多院・川越の蔵造り町並み、歴史的建造物など	予習	実習場所と被写体を予め把握をしておく				
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する				
	第11回	内容	講習⑤ 撮影実習結果の講評と添削	予習	撮影した画像を見ておく				
				復習	プリントする写真を選択しプリントする				
	第12回	内容	実習⑥ 課題：学外の屋外撮影実習 場所：森林公園、航空公園など	予習	実習場所を予め把握すること				
				復習	撮影した場所・ポイントを整理する				
	第13回	内容	実習⑦ 課題：フォトアルバム作品制作	予習	制作に使う写真やマスキングテープそろえる				
				復習	足りない写真はプリントしておく				
	第14回	内容	実習⑧ 課題：フォトアルバム作品制作	予習	制作に必要な写真などをそろえておく				
				復習	足りない写真はプリントする				
	第15回	内容	講習⑥ 実習のまとめ、フォトアルバムの作品発表	予習	制作に必要な写真などをそろえておく				
				復習	他者の作品を鑑賞し今後の参考にする				
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	撮影後の添削時にコメントをする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題・作品・発表（60％）、授業態度【積極的参加】（40％）							
教科書	指定教科書なし。参考資料配付								
参考文献	なし								
補足事項	履修期間中は最終課題のアルバム作品の写真が足らなくなるように撮影実習日は必ず出席すること。学外実習は時間の取れる土曜日に実施します。教科書等が無い代わりに必要な費用は、スクラップブック代・SDカード代・プリント代・交通費・入館料等が自己負担となります。								

科 目 名	情報処理活用		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	えもと まさし 江本 全志
ナシバ [®] リングコート [®]	INS3231		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授 業 の 内 容	マクロを用いたエクセルの応用的な操作、Google フォームを用いた Web アンケートの作成、Google ドライブにおけるファイル共有、PDF 編集、Java プログラミング、ゲームプログラミングなどを学びます。							
到 達 目 標	1. エクセルの応用的な操作を身につけている。 2. クラウドサービスの操作を身につけている。 3. プログラミングの操作を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (3)							
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第 2 回	内容	エクセル活用① エクセルマクロの基礎	予習	マクロについて調べる			
				復習	マクロの操作を復習する			
	第 3 回	内容	エクセル活用② エクセルマクロ	予習	マクロの活用について調べる			
				復習	マクロの操作を復習する			
	第 4 回	内容	エクセル活用③ まとめて PDF 出力など	予習	PDF について調べる			
				復習	PDF 出力マクロを復習する			
	第 5 回	内容	Java プログラミング① 変数・キーボード入力	予習	Java 言語について調べる			
				復習	変数とキーボード入力を復習する			
	第 6 回	内容	Java プログラミング② if 文	予習	if 文について調べる			
				復習	If 文を復習する			
	第 7 回	内容	Java プログラミング③ for 文	予習	for 文について調べる			
				復習	for 文を復習する			
	第 8 回	内容	クラウド① Google ドライブの操作・文字起こし	予習	Google ドライブについて調べる			
				復習	文字起こしの操作を復習する			
	第 9 回	内容	Java プログラミング④ 配列	予習	配列について調べる			
				復習	配列を復習する			
	第 10 回	内容	Java プログラミング⑤ 復習演習	予習	これまでのプログラミングについて整理する			
				復習	演習を復習する			
	第 11 回	内容	クラウド② スクリプトによる Google フォーム作成	予習	Google フォームについて調べる			
				復習	スクリプトで使用するコマンドを復習する			
	第 12 回	内容	PDF 編集	予習	PDF に関するソフトウェアを調べる			
				復習	PDF 編集の操作を復習する			
	第 13 回	内容	Java ゲームプログラミング① ブロック崩しゲーム作成	予習	ゲームプログラミングについて調べる			
				復習	ボールとバーの動作プログラムを復習する			
	第 14 回	内容	Java ゲームプログラミング② ブロック崩しゲーム作成	予習	バーの動きのアルゴリズムを考える			
				復習	バーとブロックの処理を復習する			
	第 15 回	内容	Java ゲームプログラミング③ ブロック崩し・まとめ	予習	点数に関する処理を考える			
				復習	これまで作成した課題を振り返る			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	学生が作成した課題に問題がある場合、コメントを行なう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／ (○) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (50 %)、授業態度【 積極的参加 】 (50 %)							
教科書	PDF 形式のファイルを配布する。 プログラミングの講義に関して、紙で資料がほしい人は以下のテキストを購入してください。(購入は必須ではありません) 『短大生のためのプログラミング演習 2022』(江本全志、NextPublishing Authors Press)							
参考文献	なし							
注意事項	この授業は対面授業であるが、オンデマンド形式の遠隔授業を一部行なう場合がある。							

科 目 名	簿記と会計		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	かしまた 柏 俣 ひろゆき 廣 行	
ナンバリングコード	BUS3221		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	簿記の基本的なしくみについて理解し、企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。								
到 達 目 標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につけている。 2. 企業の実情をつねに計数的にとらえる力を身につけている。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス・、簿記の意味・目的など 簿記の基礎について説明をする。	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	ノートを確認しておくこと				
	第 2 回	内容	資産・負債・純資産と貸借対照表と収益・費用と損益 計算書について説明をする。	予習	貸借対照表と損益計算書について調べる				
				復習	簿記の五つの要素についてえまとめる				
	第 3 回	内容	取引と勘定、仕訳と転記について説明をする	予習	仕訳帳と総勘定元帳について調べる				
				復習	取引の記帳についてまとめる				
	第 4 回	内容	試算表と精算表について説明をする。	予習	取引の記帳がしっかりできるようにしておく				
				復習	取引からの精算表までの流れをまとめる。				
	第 5 回	内容	決算の意味・手続きについて説明をする。	予習	決算の意味について調べる				
				復習	決算の意味・手続きをまとめる				
	第 6 回	内容	現金・預金などの取引について説明をする。	予習	現金・預金の種類について調べる				
				復習	各種出納帳の記帳についてまとめる				
	第 7 回	内容	商品売買の取引について説明をする。	予習	掛け取引について調べる				
				復習	仕入帳・売上帳についてまとめる				
	第 8 回	内容	商品有高帳と商品売買損益計算について説明をする。	予習	商品有高帳の記帳方法について調べる				
				復習	三分法で処理する意義をまとめる				
	第 9 回	内容	手形の取引について説明をする。	予習	手形の種類、記帳について調べる				
				復習	各種記入帳をまとめる				
	第 10 回	内容	有価証券の取引について説明をする。	予習	有価証券とは何か調べる				
				復習	取得と売却についてまとめる				
	第 11 回	内容	その他の債権・債務の取引について説明をする。	予習	その他の債権・債務について調べる				
				復習	債権・債務についてまとめる				
	第 12 回	内容	固定資産の取引について説明をする。	予習	固定資産とは何か調べる				
				復習	取得・売却、台帳についてまとめる				
	第 13 回	内容	個人企業の取引と税金の取引についての説明をする。	予習	税金の種類について調べる				
				復習	個人企業の取引についてまとめる				
	第 14 回	内容	決算整理・精算表について説明をする。	予習	決算整理の意味について調べる				
				復習	精算表作成出来るようにする				
	第 15 回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について説明をする。	予習	財務諸表とは何か調べる				
				復習	企業の決算についてまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（20%）							
教科書	最新段階式日商簿記検定問題集 3 級 四訂版								
参考文献									
補足事項	教科書、問題集、電卓、筆記用具（赤ペン）、定規の 5 点セットを忘れないください。								

科 目 名	簿記演習		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	かしまた 柏 俣 ひろゆき 廣 行	
ナンバリングコード	BUS3231		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 法	②対面① ・ 遠隔③ ・ その他④（ ）								
授 業 の 内 容	実際に行われている企業における取引を合理的、能率的に記帳する知識と技術を習得することを目的とした授業である。また、日商簿記検定3級合格を目指す内容です。								
到 達 目 標	1. 簿記の意味や意義を理解し、計数的に取引を処理する力を身につけている。 2. 企業の実情をつねに計数的にとらえる力を身につけている。 3. 経営の結果を各種の計算表にまとめ、検討し新しい計画を立てる資料を作成する力を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス・、現金預金・小口現金の意味・目的などについて	予習	当座借越について調べる				
				復習	ノートを確認しておくこと				
	第2回	内容	社債・株式の購入、売却について。	予習	手数料の扱いについて調べる				
				復習	社債・株式の仕訳処理についてまとめる				
	第3回	内容	借入金、商品券の取り扱いについて	予習	振込手数料の取り扱いについて調べる				
				復習	利息・手数料の扱いについてまとめる				
	第4回	内容	手形裏書譲渡、割引、手形借り入れについて	予習	裏書きについて調べる				
				復習	手形取引についてまとめる				
	第5回	内容	仕入返品・戻し、売上返品・戻りについて	予習	手付金相殺、商品券受取について調べる				
				復習	売上・仕入の手続きをまとめる				
	第6回	内容	固定資産の購入・売却について	予習	減価償却累計額について調べる				
				復習	購入・売却についてまとめる				
	第7回	内容	株式会社の設立と基本仕訳について	予習	株式会社とは、何かについて				
				復習	剰余金の配当と処分についてまとめる				
	第8回	内容	店舗の固定資産税と店主個人の所得税について	予習	固定資産税について調べる				
				復習	税金の処理についてまとめる				
	第9回	内容	手形の取引について	予習	手形の種類、記帳について調べる				
				復習	各種記入帳をまとめる				
	第10回	内容	有価証券の取引について	予習	有価証券とは何か調べる				
				復習	取得と売却についてまとめる				
	第11回	内容	その他の債権・債務の取引について	予習	その他の債権・債務について調べる				
				復習	債権・債務についてまとめる				
	第12回	内容	従業員の所得税（源泉徴収）、社会保険料の処理について	予習	社会保険料とは何か調べる				
				復習	各種税の処理についてまとめる				
	第13回	内容	本支店会計について	予習	本支店会計について調べる				
				復習	本支店の取引についてまとめる				
	第14回	内容	決算整理・精算表について	予習	決算整理の意味について調べる				
				復習	8桁精算表作成出来るようにする				
	第15回	内容	帳簿決算・財務諸表の作成について	予習	財務諸表とは何か調べる				
				復習	企業の決算についてまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	適宜、ノート・問題集により理解度を示す確認の時間をとる。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度（20%）							
教科書	実教出版、 日商簿記検定模擬問題集 2023版 3級								
参考文献									
補足事項	前期「簿記と会計」選択者を前提に、問題集を進めていきます。								

科 目 名	医療事務総論		単 位 数	1	授業時間数	1 6	担当教員	たかはし ごろう 高 橋 五 郎
ナソバリングコート	MEA3222		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	医療従事者に求められる医療保険制度と保険診療のしくみを理解する。また外来診療業務を主とした医療行為からの料金化と診療報酬請求業務についての実務を習得する。							
到 達 目 標	1． 医療サービスにおける医療保険制度と保険診療のしくみを理解している。 2． 診療録から医療行為（診療情報）が読み取れ、料金化できる。 3． 診療報酬明細書（レセプト）を作成することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1.2.3.4）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	医療・医学の発展と医療秘書（MS）の役割	予習	テキスト①の4 ページに目を通しておくこと			
				復習	医療機関における医療秘書、医事業務の重要性についてノートにまとめること。			
	第 2 回	内容	保険診療のしくみと医療保険制度（1）	予習	テキス①の 41～44 ページに目を通しておくこと			
				復習	保険診療のしくみ、要点をノートにまとめ、理解しておくこと。			
	第 3 回	内容	保険診療のしくみと医療保険制度（2）	予習	テキスト①の 45～50 ページに目を通しておくこと。			
				復習	保険専門用語をノートにまとめておくこと。			
	第 4 回	内容	診療報酬明細書（レセプト）記載の基本知識	予習	テキスト②の 51 ページから 54 ページに目を通しておくこと。			
				復習	レセプト記載必須事項についてノート・テキストを確認し、実際に作成してみること。			
	第 5 回	内容	基本診療料（初診料/再診料）の理解と算定ルール	予習	テキスト②の 12 ページから 16 ページ、および配布プリントに目を通しておくこと			
				復習	初診料の算定ならびに諸加算ができるように何度も例題を算定しておくこと。			
	第 6 回	内容	基本診療料（再診料/入院料）の理解と算定ルール	予習	テキスト②の 12 ページから 16 ページならびに 60 ページに目を通しておくこと			
				復習	再診料の算定ならびに諸加算ができるように何度も例題を算定しておくこと。			
	第 7 回	内容	医学管理と在宅医療の理解	予習	テキスト②の 19 ページから 23 ページまで目を通しておくこ			
				復習	医学管理と在宅医療算定ルールの復習をすること。			
	第 8 回	内容	投薬料について/テスト（総括文章問題）	予習	テキスト②の 24 ページ～29 ページに目を通しておく			
				復習	投薬の種類とその算定方法を再復習し、レセプトへ転記できるようにすること。			
	第 9 回	内容		予習				
				復習				
	第 10 回	内容		予習				
				復習				
	第 11 回	内容		予習				
				復習				
	第 12 回	内容		予習				
				復習				
	第 13 回	内容		予習				
				復習				
	第 14 回	内容		予習				
				復習				
	第 15 回	内容		予習				
				復習				
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内容のレポート（質問事項等）、レセプト作成過程の理解度確認とコメント。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（70%）、レポート・課題（ 10 %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（20 %）							
教科書	① メディカルシステム論 ②診療報酬請求の実務 ③医科診療報酬点数表 ①②③とも著者名 一般社団法人医療教育協会、出版社名 一般社団法人医療教育協会 ※別途、点数早見表							

参考文献	
補足事項	1、 医療管理秘書士資格認定試験必須科目です。 2、 積み重ねの授業です。集中力を切らさず、欠席の無いようにして下さい。

科 目 名	医療管理学概論	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	たてやま ともひろ 館 山 友 宏
ナソバ [®] リング [®] コード [®]	MEA3233	授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）						
授 業 の 内 容	医療機関の事務職員は、医療に関する幅広い知識を習得の上、様々な事象について多面的に判断し、機動性に富む能力等が必要とされる。そのため、医療に携わる人は、医療法・医師法・医療保険制度等を学び医療全般についての理解を深めることが肝要である。あらゆる面からの情報を捉える専門知識を学ぶ。						
到 達 目 標	1、医療秘書としてふさわしい、接遇対応を身につけ医療機関という特殊な場所での仕事について理解している。 2、医療機関における関係法規を理解している。 3、医療機関管理について理解している。 4、医療機関の運営について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2, 3, 4）						
授 業 計 画	第 1 回	内容	医療機関に関する法規	予習	メディカルシステム論 20 ページに目を通す。		
				復習	医療関連法規を中心に再度確認すること		
	第 2 回	内容	医療法①	予習	メディカルシステム論 21 ページに目を通す。		
				復習	学習した医療法につき再度確認すること		
	第 3 回	内容	医療法②	予習	メディカルシステム論 24 ページ～27 ページに目を通す。		
				復習	学習した医療法について再度確認すること		
	第 4 回	内容	医療法③	予習	メディカルシステム論 28 ページ～32 ページに目を通す。		
				復習	学習した医療法について再度確認すること		
	第 5 回	内容	医療職員に関する法規	予習	メディカルシステム論 33 ページに目を通す。		
				復習	医療事務等に係わる医師法について再度確認すること		
	第 6 回	内容	医師法①	予習	メディカルシステム論 33 ページに目を通す。		
				復習	医療事務等に係わる医師法について再度確認すること		
	第 7 回	内容	医師法②	予習	メディカルシステム論 35 ページ～36 ページに目を通す。		
				復習	医療事務等に係わる医師法について再度確認すること		
	第 8 回	内容	薬剤師法・保健師助産師看護師法・その他	予習	メディカルシステム論 37 ページ～40 ページに目を通す。		
				復習	学習した薬剤師法等について再度確認すること		
	第 9 回	内容	医療保険制度①	予習	メディカルシステム論 41 ページ 42 ページの表に目を通す。		
				復習	医療保険制度について再度確認すること		
	第 10 回	内容	医療保険制度②	予習	メディカルシステム論 43 ページに目を通す。		
				復習	医療保険制度について再度確認すること		
	第 11 回	内容	医療保険制度③	予習	メディカルシステム論 44 ページ～50 ページに目を通す。		
				復習	医療保険制度について再度確認すること		
	第 12 回	内容	医療保険制度④	予習	メディカルシステム論 51 ページ～56 ページに目を通す。		
				復習	医療保険制度について再度確認すること		
	第 13 回	内容	医療情報	予習	メディカルシステム論 17 ページ～19 ページに目を通す。		
				復習	患者情報管理等について再度確認すること		
	第 14 回	内容	まとめ	予習	メディカルシステム論第 2 章全体に目を通す。		
				復習	これまでの学習内容を全体的に確認すること		
	第 15 回	内容	医療管理学総括とテスト	予習	配布プリントとこれまでのノートに目を通す。		
				復習	学習した内容全般を振り返り、理解不足の箇所等につき、再度確認すること		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業に関する理解度確認のための「小テスト」を実施した際には、当該テストを通じて授業内容の習熟度につき、各学生へのフィードバックを適宜、行うこととする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【課題提出状況】（30%）						
教科書	『メディカルシステム論』（著者 一般社団法人医療教育協会、出版社名 一般社団法人医療教育協会） 『医学一般』（著者 一般社団法人医療教育協会、出版社名 一般社団法人医療教育協会）						

参考文献	なし
注意事項	「医療管理秘書士」能力認定試験受験に必要な科目です。

科 目 名	医療秘書実務		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	たてやま ともひろ 館山 友宏
ナンバリングコード	MEA3212		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他（ ）							
授 業 の 内 容	医療秘書に求められる資格要件は、常に患者様の心理を理解し、すべての行為について患者様への医療サービスを念頭に置かなければならない。一般的な事務能力、医学に関する知識のみならず医療事務の倫理的知識、医療機関における役割への理解等が求められる。本講義では、疾病・患者様・家族環境等を理解し、あらゆる面からの情報をとらえる専門知識を学ぶ。							
到 達 目 標	1. 医療秘書としてふさわしい素養、接遇対応を身につけ、医療機関という特殊な場所での仕事について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1.2.3.4）							
授 業 計 画	第1回	内容	医療と社会	予習				
				復習	学習した点につき再度確認すること			
	第2回	内容	医療倫理（医療機関）	予習	メディカルシステム論 5 ページに目を通す。			
				復習	医療倫理を中心に再度確認すること			
	第3回	内容	医療倫理（職員）	予習	メディカルシステム論 6 ページに目を通す。			
				復習	医療職員倫理等を再度確認すること			
	第4回	内容	患者の心理	予習	メディカルシステム論 6 ページに目を通す。			
				復習	患者の心理を良く理解すること			
	第5回	内容	医療従事者に求められる要件	予習	メディカルシステム論 6 ページに目を通す。			
				復習	医療従事者として求められていること等を再度確認すること			
	第6回	内容	接遇マナー（コミュニケーション能力）	予習	メディカルシステム論 7 ページに目を通す。			
				復習	学習した点につき再度確認すること			
	第7回	内容	接遇マナー（挨拶）（笑顔）（行動）（お辞儀）（態度）	予習	メディカルシステム論 7～8 ページに目を通す。			
				復習	患者であったならばとの視点で、学習内容を再度確認すること			
	第8回	内容	接遇マナー（言葉遣い）	予習	メディカルシステム論 9 ページに目を通す。			
				復習	敬語については特に正しく理解をすること			
	第9回	内容	接遇マナー（電話対応）	予習	メディカルシステム論 10 ページに目を通す。			
				復習	電話応対も大切なビジネスマナーのひとつ。学習した点につき再度確認すること			
	第10回	内容	医学と医療の目的	予習	メディカルシステム論 11 ページに目を通す。			
				復習	学習した点につき再度確認すること			
	第11回	内容	近代医療の設立	予習	メディカルシステム論 11 ページに目を通す。			
				復習	学習した点につき再度確認すること			
	第12回	内容	医療機関・組織の役割	予習	メディカルシステム論 11～14 ページに目を通す。			
				復習	医療機関の「組織の役割」等について、学習内容を再度確認すること			
	第13回	内容	医療機関・組織の運営	予習	メディカルシステム論 15～16 ページに目を通す。			
				復習	医療機関の「組織の運営」等について、学習内容を再度確認すること			
	第14回	内容	まとめ	予習	配布プリントとメディカルシステム論第1章全体に目を通す。			
				復習	これまでの学習内容を全体的に確認すること			
	第15回	内容	医療秘書学の総括とテスト	予習	前期の学習内容全体に目を通すこと			
				復習	学習した内容全般を振り返り、理解不足の箇所等につき、再度確認すること			
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業に関する理解度確認の為の「小テスト」を実施した際には、当該テストを通じて授業内容の習熟度につき、各学生へのフィードバックを適宜、行うこととする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（ ）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【課題提出状況】（30%）							
教科書	『メディカルシステム論』（著者名 一般社団法人医療教育協会、出版社名 一般社団法人医療教育協会） 『医学一般』（著者名 一般社団法人医療教育協会、出版社名 一般社団法人医療教育協会）							
参考文献	なし							
注意事項	「医療管理秘書士」能力認定試験受験に必要な科目です。							

科 目 名	硬筆技能演習		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや あけみ 土屋 明美
ナンバリングコード	MEA3213		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	硬筆技能に対して理解する。基本的な文字を正しくかつ速く書くことができる力を身につけることを目的とする。毎時間、お手本を課題にして練習と清書を繰り返す。硬筆技能を習得して硬筆書写検定4級程度について学ぶ。							
到 達 目 標	1. 基本的な硬筆技能に対して理解している。 2. 実用から硬筆書写検定4級程度まで書くことができる力を身につけている。 3. 硬筆技能の知識・能力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション、授業の進め方	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	硬筆学習のスタート ①さまざまな書写用具	予習	硬筆技能の基本を読んでおく			
				復習	書写用具についてプリントを読んでおく			
	第3回	内容	〃 ②硬筆技能の基本	予習	楷書の学習①を読んでおく			
				復習	硬筆技能の基本についてプリントを読んでおく			
	第4回	内容	楷書の学習 ①基本点画の書き方／筆順と点画の構成	予習	楷書の学習②を読んでおく			
				復習	基本点画の書き方について練習しておく			
	第5回	内容	〃 ②部首・部分と文字の構成／字形を整えて書く	予習	行書の学習①を読んでおく			
				復習	字形を整える練習をしておく			
	第6回	内容	行書の学習 ①基本点画の書き方／点画の連続と省略	予習	行書の学習①を読んでおく			
				復習	基本点画の書き方を練習しておく			
	第7回	内容	〃 ②部首・部分と文字の構成／筆順の変化	予習	行書の学習②を読んでおく			
				復習	部首・部分と文字の構成を練習しておく			
	第8回	内容	仮名の学習 ①平仮名・片仮名の字源／平仮名・片仮名の書き方	予習	仮名の学習①を読んでおく			
				復習	平仮名・片仮名の字源を練習しておく			
	第9回	内容	〃 ②連面の方法と実際	予習	仮名の学習②を読んでおく			
				復習	連面の方法と実際を練習しておく			
	第10回	内容	漢字仮名交じりの書の学習 ①漢字と仮名の調和の基本	予習	漢字仮名交じりの書の学習①を読んでおく			
				復習	漢字と仮名の調和の基本を練習しておく			
	第11回	内容	〃 ②漢字の楷書と仮名の調和	予習	漢字仮名交じりの書の学習②を読んでおく			
				復習	漢字の楷書と仮名の調和を練習しておく			
	第12回	内容	〃 ③漢字の行書と仮名の調和	予習	漢字仮名交じりの書の学習③を読んでおく			
				復習	漢字の行書と仮名の調和を練習しておく			
	第13回	内容	形式を整えて書く 履歴書・手紙・はがき	予習	形式を整えて書くプリントを読んでおく			
				復習	履歴書を書く練習をしておく			
	第14回	内容	硬筆書写検定4級 ①練習	予習	硬筆書写検定4級①を読んでおく			
				復習	練習問題①を練習しておく			
	第15回	内容	〃 ②練習	予習	硬筆書写検定4級②を読んでおく			
				復習	授業を振り返り、改善方法をまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	実技課題にコメントを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 実技（60％）、授業態度【積極参加】（40％）							
教科書	なし。							
参考文献	随時、参考文献を紹介する。							
補足事項	硬筆技能に関心を持って授業に臨むことを希望する。 筆記用具を持参すること。							

科 目 名	敬語とコミュニケーション		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	しばた 柴田 かおる
ナンバリングコード	MEA3214		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	敬語を使う理由と使わない理由を明確にする。広義では、初めに基本的な敬語のルールを学習。その上で、敬語を使う状況を具体的に色々と取り上げ、場面ごとに何が一番適切な敬語の使い方になるのか観察、分析し、正しく敬語が使えるようになるまで繰り返し、訓練する。							
到 達 目 標	1. 尊敬語を正しく使うことができる 2. 謙譲語を正しく使うことができる 3. 丁寧語を使ってもいい場合を理解している 4. 敬語以外の表現で敬意を表すことができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1,2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	なぜ敬語は必要なのか現代社会における敬語の考え方について、考察。具体的なケースを提示しながら敬語を使うことで、コミュニケーションの取り方がどう変わるか自ら判断できるようにする。	予習	なぜ敬語は必要なのか考えをまとめてくる			
				復習	実生活で敬語をどういう時に使うかまとめてみる			
	第2回	内容	謙譲語の基本的な決まり事を学ぶ。謙譲語は自分の行為を表現することであることを徹底的に繰り返して練習することで、自然に使えるようにする。	予習	自分がよく使う謙譲語を書き出してくる			
				復習	テキストの例文問題が全問正解になるまで繰り返す			
	第3回	内容	謙譲語の表現の中でも、丁寧語に近い表現を学ぶ。具体例を示しながら第2週で学んだ謙譲語との違いを理解する。	予習	謙譲語2と丁寧語の共通点を書き出してくる			
				復習	テキストの謙譲語例文を全問正解になるまで繰り返す			
	第4回	内容	謙譲語と、尊敬語を混同して使わないように、具体例を示しながら学ぶ。動詞の変化を見れば、主語が省かれていても謙譲語と尊敬語の違いが分かることを反復練習で覚える。	予習	謙譲語と尊敬語の違いを書き出してくる			
				復習	テキストの中でも特に類似例文問題が全問正解になるまで繰り返す			
	第5回	内容	ウチとソトという人間関係の区切りを念頭に、ソトの人間に対しては自分のウチ側にいる人間の行為について謙譲語を使うことを繰り返し練習。	予習	自分から見てウチとソトがどういう人間にあたるか書き出してくる			
				復習	ウチとソトという人間関係の区切りを念頭に、ソトの人間に対しては自分のウチ側にいる人間の行為について謙譲語を使うことをテキストの例文問題で繰り返し練習。			
	第6回	内容	尊敬語の基本的な決まり事を学ぶ。尊敬語は自分以外の人物の行為を表すものであることを徹底的に繰り返して練習することで、自然に使えるようにする。	予習	自分が使う尊敬語を書き出してくる			
				復習	これまで習った謙譲語の言い回しと比較しながら、テキストの尊敬語例文問題を全問正解になるまで繰り返す			
	第7回	内容	尊敬語を適切に使い、公道に張り出す告知文、公共施設での規則遵守を依頼する原稿を自ら書いてみる。状況を設定して、学生同士で尊敬語を使ってみる。	予習	課題を損益ごと謙譲語の違いに注意しながら書く			
				復習	授業で指摘されたことをもとに自分の書いた課題を推敲してみる			
	第8回	内容	尊敬語の表現の中でも、人間関係を表す単語や、社会的地位を表す単語などの名詞を中心に学ぶ。更に敬意を表する宛名書きのルールも覚える。	予習	尊敬語の表現の中でも、人間関係を表す単語や、社会的地位を表す単語などの名詞を調べて書き出す			
				復習	尊敬語の表現の中でも、人間関係を表す単語や、社会的地位を表す単語などの名詞を自分で一覧表にして書き出してみる			
	第9回	内容	丁寧語の基本的な決まり事を学ぶ。丁寧語は、主語が人間以外でも使えること、尊敬語や謙譲語ではなく、丁寧語でいい場合はどういう場合かを学ぶ。	予習	自分がよく使う丁寧語表現を書き出す。			
				復習	授業で教わった丁寧語例文問題を正解になるまで繰り返し書き出す			
	第10回	内容	「お、ご」の使い方、改まり表現を学ぶ。それぞれ、実際に学生自身が使って表現してみる。過剰に「お、ご」を使わずに話すことも訓練する。	予習	「お、ご」を付ける単語をそれぞれ書き出してみる			
				復習	授業で教わったように「お、ご」を使って文章を書いてみる			
	第11回	内容	クッション語をうまく使うことで、人間関係に配慮した敬語の使い方を身につける。実際に社会生活の中でクッション語が求められる状況を各自調べて、それにふさわしいクッション語を発表する。	予習	自分が使うクッション後を書き出してみる			
				復習	授業で教わったクッション後を整理して自分で一覧表を書いてみる			
	第12回	内容	所謂バイト語について解説。何故敬語の間違いの中でも、バイト語として括られる表現が、不快感を与えるのか考察する。実際に学生たちがよく使う、間違った敬語を挙げてもらい、それについて、自ら誤りを見つけて正しい言い方を学ぶ	予習	自分がよく使う、或いは人が使って気になるバイト後を書き出す			
				復習	バイト語として括られる表現を適切な警護で言い直してみる			

	第 13 回	内容	人に物を依頼する場合、要求を断る場合、引き受けることが不可能であることを伝える場合について、具体的な状況を想定して、敬語を練習する。いきなり「出ません」と言わずに、できないことを相手が心から納得する言い方でどう伝えるか学ぶ。	予習	相手の言うことに否定的な意見を言う場合に相手が納得する言い方を色々書きだしてみる
				復習	授業で教わった否定表現を、自分なりに相手が納得するような柔らかい表現に置き換えてみる
	第 14 回	内容	初対面の人間に対応する場合、クレームに対応する場合、自己紹介をする場合に、適切な敬語を使って表現してみる。	予習	初対面の人間に対応する場合、クレームに対応する場合、自己紹介をする場合どうかという課題を行う
				復習	自分の書いてきた課題について授業で指摘されたことをもとに推敲し書き直す
	第 15 回	内容	過去 14 回の講義の復習を小テストで確認。よく間違える場所を特に繰り返して復唱する。	予習	これまでに配布されたテキスト全てに目を通して例題を行う
				復習	テキストの例文問題を再度やり直して自分が間違えたところを確認する
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。				
	課題へのフィードバック	期末試験の後に試験の解説を行う			
成績評価	試験期間における定期試験：実施しない 成績評価の方法：レポート・課題 (30 %)、発表 (30 %)、小テスト (40%)				
教科書	その都度プリント配布				
参考文献	その都度授業で提示(敬語の考え方や使い方は時代を反映して変わってきているため、最新の情報を伝えるため)				
補足事項	授業中は実際に敬語を使って話したり書いたりしてもらおう。プリントは 1 回しか配布しないし、学期末まで使用するので、毎回持参すること。私語厳禁。携帯電話は切ってから授業に臨むこと。				

科 目 名	風土と文化		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之	
ナンバリングコード	CUL3213		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	歴史・自然環境と文化との関係について学ぶ。特に「古都」の魅力について、みやこが大和（現在の奈良県）の明日香に置かれていた時代からの歴史をたどる。都という空間が現代に生きる私たちの感性に及ぼしている様々な影響について考察する。								
到 達 目 標	1．古都の歴史的展開と特性についての理解を深めている。 2．歴史と風土の関わりについての理解を深めている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	授業の始まりにあたって～日本の世界遺産について	予習	日本国内の「世界遺産」について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 2 回	内容	飛鳥のみやこ①	予習	飛鳥について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 3 回	内容	飛鳥のみやこ②	予習	飛鳥の歴史と飛鳥を詠んだ和歌を調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 4 回	内容	近江京と藤原京	予習	近江国の歴史と地理について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 5 回	内容	藤原京から平城京へ	予習	遷都の歴史と藤原京について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 6 回	内容	平城京の実態	予習	平城京の歴史と地理について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 7 回	内容	平城京と社寺	予習	春日大社と興福寺について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 8 回	内容	東大寺と正倉院	予習	聖武天皇と大仏建立について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 9 回	内容	平城京から長岡京へ	予習	長岡京について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 10 回	内容	怨霊と長岡京	予習	平安遷都前後の歴史を調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 11 回	内容	平安遷都の真相	予習	御霊について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 12 回	内容	平安京の社寺	予習	上賀茂下賀茂神社と東寺について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 13 回	内容	境域の内と外	予習	京城と境について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 14 回	内容	秀吉による平安京再建	予習	応仁の乱について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	第 15 回	内容	平泉～北の「みやこ」	予習	平泉について調べる				
				復習	配布資料とメモをノートにまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね6 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね1 2 0 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（7 0％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【主体性 】（3 0％）							
教科書	資料を配布する								
参考文献	必要に応じて指示する								
補足事項									

科 目 名	文化を訪ねる		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	CUL3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	京都とその文化について知り得たことを基にして学びたいテーマを設定し、実際の行動計画を作成し、12月の初旬に2泊3日の日程で京都を訪ねる。							
到 達 目 標	1．各自で旅行中の行動計画が立て、その行動計画に基づいて円滑に行動できる 2．設定したテーマを中心に文化についての学びを得て実生活に生かすことができる 3．旅行の成果をパワーポイントなどで発信できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～旅行の概要と留意点	予習	京都に関する資料を用意する			
				復習	メモや書き込などを整理しておく			
	第2回	内容	テーマの設定	予習	テーマの候補をいくつか用意する			
				復習	設定したテーマについて整理しておく			
	第3回	内容	行動計画書の作成と提出	予習	行動計画の原案を用意する			
				復習	行動計画書の細部を詰めて完成する			
	第4回	内容	京都を歩く（ボランティアの清掃活動）	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第5回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅠ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第6回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅠ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第7回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅠ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第8回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第9回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第10回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第11回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第12回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第13回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第14回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第15回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題提出時に口頭で伝える							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 50 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【行動計画の作成】（ 50 ）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 必要に応じて指示する							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 必要に応じて指示する							
補足事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは3日間の集中講義							

科 目 名	古典文学を読む		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之	
ナンバリングコード	CUL3222		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	8世紀初めに成立したと伝わる『古事記』の上巻を読み進める。上巻には神々の世界が描かれており、その誕生から始まる様々な神の姿や国土の起源、多くの事象の由来などを語る日本神話について丁寧な解説を加え、相互に対話を重ねて読み解いていく。								
到 達 目 標	1．日本神話の実相についての理解を深めている。 2．古事記神話を通じて日本文化の特性についての理解を深めている。 3．主要な神の特徴について理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	授業の始まりにあたって	予習	日本の神話について調べる				
				復習	神話の特性と歴史についてノートにまとめる				
	第2回	内容	「序」を読む	予習	古事記の成立について調べる				
				復習	古事記編纂に至るまでの歴史的背景をノートにまとめる				
	第3回	内容	世界の始まり「天地初発の時」①	予習	疑問点を書き出しておく				
				復習	実際に声に出して読めるよう繰り返し練習する				
	第4回	内容	世界の始まり「天地初発の時」②	予習	疑問点を書き出しておく				
				復習	内容をノートにまとめる				
	第5回	内容	国土の成り立ち「大八島国の誕生」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	「大八島国」についてノートにまとめる				
	第6回	内容	死の起源とあの世「黄泉国訪問」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	「火の神」誕生の経緯をノートにまとめる				
	第7回	内容	最高神天照大御神の誕生「禊と三貴子」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	三貴神誕生の経緯をノートにまとめる				
	第8回	内容	アマテラスとスサノヲ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	「ウケヒ」から誕生した神をノートにまとめる				
	第9回	内容	アマテラスの岩屋戸籠り	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	神々が果たした役割をノートにまとめる				
	第10回	内容	八咫の大蛇と「八雲たつ出雲」	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	スサノヲと出雲の関りをノートにまとめる				
	第11回	内容	オオクニヌシと因幡の白ウサギ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	大国主誕生までの経緯をノートにまとめる				
	第12回	内容	国譲りと出雲大社	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	出雲神話についてノートにまとめる				
	第13回	内容	天孫降臨と美女神コノ花のサクヤビメ	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	天孫降臨の前後についてノートにまとめる				
	第14回	内容	海幸彦と山幸彦	予習	本文を読んで疑問点を書き出しておく				
				復習	神話と始祖伝承についてノートにまとめる				
	第15回	内容	授業の終わりにあたって	予習	古事記上巻の展開をノートにまとめる				
				復習	古事記上巻を声に出して読んで理解に努める				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	提出時にコメントする							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（70 ）％、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【 主体性 】（30 ）％							
教科書	資料を配布								
参考文献	必要に応じて指示する								
補足事項									

科 目 名	近代文学を読む		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	こしみず ゆうこ 小清水 裕子
ナバリングコード	CUL3223		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	日本の明治期以降の文学である近代文学の作品を読解し、作品や作者（作家）について理解を深める。様々なジャンルの近代文学に親しみ、作品を味わう姿勢を養うとともに、近代文学の研究に関する基礎的な事柄について理解することを目的とする。							
到 達 目 標	1. 近代文学の作品を読解して考察したことを表現することができる。 2. 近代文学の研究についての基礎的な事項を理解している。 3. 近代文学の作品を読解したことを通して、近代文学史を理解している。 4. 近代文学作品の解釈の多様性について理解できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1・2・3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス、近代文学の研究の基礎	予習	シラバスを読み、内容を理解する 授業で取り上げる作品と作者についてまとめる。			
				復習	授業で取り上げる近代文学の作品と作者について簡潔にその特性についてまとめる。 特によく知らなかった作品や作者については重点的に確認する。			
	第2回	内容	幸田露伴「五重塔」を読解するとともに、 紅露時代の文学について理解を深め、言文一致の文流れについて理解する	予習	幸田露伴「五重塔」を読み、わからない語句の意味を調べ、初読の感想をまとめる。			
				復習	作品「五重塔」と幸田露伴、また、幸田一家の文芸について、そして近代文学の黎明・言文一致の流れについて整理する			
	第3回	内容	森鷗外「舞姫」を読解するとともに、 鷗外が以降の日本文学に与えた影響について理解を深める	予習	森鷗外「舞姫」読み、わからない語句の意味を調べ、初読の感想をまとめる。			
				復習	作品「舞姫」と森鷗外、また、森家の文芸や鷗外が以降の日本の文学だけでなく芸術にも与えた影響について整理する			
	第4回	内容	樋口一葉「たけくらべ」を読解するとともに、 近代女流文学の幕開けについて理解を深める	予習	樋口一葉「たけくらべ」を読み、わからない語句の意味を調べ、初読の感想をまとめる。			
				復習	作品「たけくらべ」と樋口一葉、また近代女性文学と義古典主義について整理する			
	第5回	内容	夏目漱石「夢十夜」を読解するとともに、 漱石の文壇に与えた影響について理解を深める	予習	夏目漱石「夢十夜」を読み、わからない語句の意味を調べ、一番興味を持ったのは第何夜の話か。どのような点が気になるのかをまとめる。			
				復習	作品「夢十話」と夏目漱石、その一門と高踏派について整理する			
	第6回	内容	与謝野晶子「みだれ髪」を読解するとともに、 晶子の女性解放と人間教育について理解を深める	予習	与謝野晶子「みだれ髪」の「臙脂紫」を読み、わからない語句の意味を調べ、興味を持った歌を選び出し、解釈して感想をまとめる。			
				復習	作品「みだれ髪」と作者、また、女性解放の文芸や近代女子教育について整理する			
	第7回	内容	島崎藤村「破戒」を読解するとともに、 自然主義文学の隆盛について理解を深める	予習	島崎藤村「破戒」を読み、わからない語句の意味を調べ、登場人物の相関関係を理解する。 初読の感想をまとめる。			
				復習	作品「破戒」と島崎藤村、また、自然主義文学について整理する			
	第8回	内容	志賀直哉「城崎にて」を読解するとともに、 白樺派について理解を深めるとともに、白樺派が世界の文芸に関わった事績について理解を深める	予習	志賀直哉「城崎にて」を読み、わからない語句の意味を調べる。三つの生き物の中で、どの生き物の話に興味を持ったのかについて、初読の感想をまとめる。			
				復習	作品「城崎にて」と志賀直哉、また、日本の文芸に果たした白樺派の役割について整理する			
	第9回	内容	芥川龍之介「蜘蛛の糸」えお読解するとともに、 「蜘蛛の糸」が掲載された雑誌「赤い鳥」から、日本の児童文学の幕開けについて理解を深める	予習	芥川龍之介「蜘蛛の糸」を読み、わからない語句の意味を調べ、初読の感想をまとめる。			
				復習	作品「蜘蛛の糸」と芥川龍之介、また、「蜘蛛の糸」が児童文学であることから、日本の近代児童文学の始まりについて整理する			
	第10回	内容	中島敦「山月記」を読解するとともに、 中国古典を題材にした作品について露伴・鷗外・漱石・芥川からの系譜もたどり理解を深める	予習	中島敦「山月記」を読み、わからない語句の意味を調べ、初読の感想をまとめる。			
				復習	作品「山月記」と中島敦、また、近代文学の中国古典との関わりを露伴・鷗外・漱石・芥川の系譜を整理する			
	第11回	内容	高村光太郎「智恵子抄」を読解するとともに、 韻文（詩）と光太郎の関わった文芸（彫刻家ロダン・新詩社・白樺など）について理解を深める	予習	高村光太郎「智恵子抄」を読み、どの詩に最も魅力を感じたのか、その理由を簡潔にまとめる。また、初読の感想もまとめる。			
				復習	作品「智恵子抄」と高村光太郎、また、韻文特に詩の作品について、また、光太郎一家の関わった文芸についても整理する			
	第12回	内容	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」を読解するとともに、 賢治の志向を「雨ニモマケズ」を用いて探求する	予習	宮沢賢治「銀河鉄道の夜」を登場人物の相関関係について理解しながら読み、わからない語句の意味を調べ、初読の感想をまとめる。			
				復習	作品「銀河鉄道の夜」と宮沢賢治、また、賢治の理想郷の志向について整理する			

	第 13 回	内容	川端康成「古都」を読解するとともに、 川端のノーベル文学賞受賞記念講演「美しい日本の私」に みる、日本文学の美意識の世界への発信について理解を深 める	予習	川端康成「古都」の登場人物の相関関係に注意 しながら読み、わからない語句の意味を調べ、 初読の感想をまとめる。
				復習	作品「古都」と川端康成、また、日本初のノー ベル文学賞受賞のスピーチ「美しい日本の私」 を踏まえ、川端が作品に込めた日本の美意識に ついて整理する
	第 14 回	内容	三島由紀夫「金閣寺」を読解するとともに、 世界で翻訳数の多い三島作品における独特の美意識につい て理解を深める	予習	三島由紀夫「金閣寺」の主人公の心理展開に注 意しながら読み、わからない語句の意味を調べ、 初読の感想をまとめる。
				復習	作品「金閣寺」と三島由紀夫、また、三島の独 特な美意識が世間に評価されている点について 整理する
	第 15 回	内容	近代文学のまとめ 今まで読解してきた作品や作者を中心に、日本の近代 文学の流れについて復習しながら、総合的な見地から近代 文学について、その理解を深める。	予習	今まで扱ってきた作品を見直す。授業のノート や配布したプリント類を読み質問事項などを含 めてまとめる。質問事項は授業時に提示する。
				復習	今まで読解してきた作品や作者、また、それら に関わる作家やその作品、作品のジャンルなど を総合的に捉えるとともに、近代文学の基礎事 項などを整理する。
予習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成したレポート及び、発表にコメントをする				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（10％）、実技（ ）％、授業態度【主体性】（20％）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 適宜、提示します。				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 適宜、提示します				
注意事項	毎回テーマに沿ったレポートを作成し提出します。				

科 目 名	図書館概論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3211			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	司書資格取得の必修科目かつ入門科目として、図書館の基礎知識を学びます。まず、図書館に関する科目で共通する基礎知識・基礎概念を学びます。その後、図書館の館種別に、歴史、法制度、社会での役割、サービスの内容と意義、図書館職員の資格と業務内容、他機関との連携、課題と今後の展望について幅広く解説します。授業では講義および講義内容をより深く理解するためのグループディスカッションを行います。								
到 達 目 標	1. 図書館の歴史と現状、法制度について理解している 2. 公共図書館を中心とする図書館サービスの内容とその意義について説明できる 3. 社会における図書館の位置づけと他機関連携について説明できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3、4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション、図書館の種類と定義	予習	シラバスの内容をよく読んでおく				
				復習	本授業の内容と進め方を理解する				
	第 2 回	内容	図書館の構成要素と機能	予習	図書館の構成要素について調べる				
				復習	図書館の館種別機能を理解する				
	第 3 回	内容	図書館のサービスと社会的意義	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを目を通す				
				復習	公共図書館の社会的意義を理解する				
	第 4 回	内容	図書館の歴史	予習	アレクサンドリア図書館について調べる				
				復習	日本の公共図書館の歴史について理解する				
	第 5 回	内容	知的自由と図書館	予習	図書館の自由に関する宣言を予読する				
				復習	図書館の知的自由とは何か理解する				
	第 6 回	内容	知的自由と図書館②（グループワーク）	予習	図書館の知的自由に関する事例を調べる				
				復習	図書館の知的自由についてレポートを書く				
	第 7 回	内容	図書館法と関連法規、制度	予習	図書館法を予読する				
				復習	図書館法の内容を理解する				
	第 8 回	内容	国立国会図書館の制度と機能、専門図書館の制度と機能	予習	納本図書館について調べる				
				復習	授業で扱った図書館のウェブサイトを目を通す				
	第 9 回	内容	公共図書館の制度と機能	予習	公立図書館と公共図書館の違いについて調べる				
				復習	公共図書館の機能について理解する				
	第 10 回	内容	学校図書館の制度と機能、大学図書館の制度と機能	予習	大学図書館を利用し、機能を知る				
				復習	学校図書館と大学図書館の機能を理解する				
	第 11 回	内容	図書館職員の種類・資格・業務内容	予習	司書資格に必要な要件について調べる				
				復習	司書の資格、業務について理解する				
	第 12 回	内容	近年の公共図書館をめぐる議論	予習	指定管理者制度について調べる				
				復習	授業で扱った資料に目を通す				
	第 13 回	内容	近年の公共図書館をめぐる議論②（グループワーク）	予習	第 12 回の授業資料を確認し、討議に備える				
				復習	図書館に関する議論についてレポートを書く				
	第 14 回	内容	海外の図書館制度とサービス	予習	海外の公共図書館のウェブサイトを目を通す				
				復習	近年の海外公共図書館の動向を理解する				
	第 15 回	内容	図書館と他機関の連携・今後の課題と展望	予習	新聞・インターネットで図書館に関するニュースを読む				
				復習	現代図書館界の課題と展望を理解する				
	予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【グループワーク】（30%）								
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。								
参考文献	『現代図書館情報学シリーズ1 図書館概論 改訂版』（高山正也、岸田和明・編著、樹村房、2017） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 1 図書館概論 五訂版』（塩見昇・編著、日本図書館協会、2018）								
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。								

科 目 名	図書館サービス概論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優	
ナンバリングコード	LIS3212			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	主に公共図書館における図書館サービスについて、概念と基礎知識を学びます。まず、図書館サービスの定義、種類、意義について学び、個々のサービスごとにより詳細な内容と意義について講義を行います。その後、図書館サービスの中でも議論のある分野について、グループワークを通して理解を深めます。グループワーク後には小レポートを課します。									
到 達 目 標	1. 図書館サービスの内容と意義について説明できる 2. 図書館サービスを実践する上での基礎知識を獲得している 3. 近年の図書館サービスの現況と課題について説明できる									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3、4 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション・図書館サービスとは何か	予習	シラバスをよく読んでおく					
				復習	本授業の内容と進め方を理解する					
	第 2 回	内容	図書館の機能とサービス	予習	近隣の公共図書館のウェブサイトを開覧する					
				復習	図書館サービスの内容について理解する					
	第 3 回	内容	図書館サービスの歴史	予習	中小レポート（授業内で紹介）を予読する					
				復習	図書館サービスの変遷について理解する					
	第 4 回	内容	資料提供サービス	予習	公共図書館の貸出サービスについて調べる					
				復習	資料提供サービスの仕組みを理解する					
	第 5 回	内容	情報提供サービス	予習	レファレンスサービスについて調べる					
				復習	情報提供サービスの種類について理解する					
	第 6 回	内容	課題解決型サービス・多文化サービス	予習	課題解決型サービスとは何か調べる					
				復習	近隣の公共図書館の課題解決型サービスについてウェブサイトを開覧する					
	第 7 回	内容	地域に合わせた図書館サービス（グループワーク）	予習	コミュニティサービスとは何か調べる					
				復習	地域に合ったサービスについてレポートを書く					
	第 8 回	内容	障害者サービス	予習	デイジー資料とは何か調べる					
				復習	図書館での障害者サービスの展開を理解する					
	第 9 回	内容	高齢者サービス、児童サービス	予習	回想法について調べる					
				復習	年代に合わせたサービスについて理解する					
	第 10 回	内容	アウトリーチとエクステンション	予習	アウトリーチとは何か調べる					
				復習	図書館の外でのサービスについて理解する					
	第 11 回	内容	利用者への対応と広報	予習	ウェブサイトでの図書館広報について調べる					
				復習	幅広い図書館サービスの広報について理解する					
	第 12 回	内容	図書館における利用者接遇（グループワーク）	予習	図書館における利用者接遇について自分なりの意見を考えてくる					
				復習	図書館での利用者接遇についてレポートを書く					
	第 13 回	内容	図書館サービスの連携と協力	予習	図書館ネットワークとは何か調べる					
				復習	図書館サービス連携の事例を読む					
	第 14 回	内容	図書館サービスと著作権	予習	著作権法を予読する					
				復習	著作権法における図書館の立ち位置を理解する					
	第 15 回	内容	図書館サービスの課題と展望	予習	図書館サービスに関するニュースを読む・見る					
				復習	図書館サービスの展望について理解する					
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、グループワーク時にも適宜コメントをします。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）％、レポート・課題（60 ）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【グループワーク】（40 ）」								
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。									
参考文献	『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望 6 図書館サービス概論』（平井歩実、二村健・編著、学文社、2018） 『事例で学ぶ図書館 1 事例で学ぶ図書館サービス概論』（吉井 潤・著、青弓社、2022）									
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。									

科 目 名	児童サービス論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	つちや みゆう 土屋 深優
ナンバリングコード	LIS3221			授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	乳児からヤングアダルトまでを対象とした、子ども向け資料の管理と提供、子どもの読書を推進する取り組み、他機関との連携等について、基本知識と技術の習得を目指します。また、いくつかの単元についてはグループワークを行い、多様な視点を獲得することを目指します。児童サービスの内、読み聞かせ、ブックトーク、ストーリーテリングについては演習形式で理解を深めます。								
到 達 目 標	1．図書館における児童サービスの意義と取り組みについて理解している 2．児童向け資料の基礎知識を理解し、収集と提供について説明できる 3．子どもの読書を推進する取り組みを理解し、実践できる								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ 1． 2． 3． 4． 5 ）文化表現学科（ 1． 2． 3． 4 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション 児童にとっての読書の意味			予習	シラバスの内容をよく読んでおく		
						復習	本授業の内容を理解する		
	第 2 回	内容	児童サービスの意義と歴史、児童サービスの管理と運営			予習	児童サービスの意義とは何か調べる		
						復習	児童サービスの意義と歴史について理解する		
	第 3 回	内容	児童向け資料の種類と提供			予習	年齢別の子ども向け資料の種類を調べる		
						復習	子どもへの資料提供方法を理解する		
	第 4 回	内容	乳幼児サービス、YA サービス			予習	YA とは何か調べる、ブックスタートについて調べる		
						復習	児童サービスと乳幼児サービス、YA サービスの違いを理解する		
	第 5 回	内容	学校図書館へのサービス、特別なニーズをもつ子どもへのサービス			予習	ディスレクシアについて調べる		
						復習	学校図書館と公共図書館の連携について調べる		
	第 6 回	内容	おはなし会の意義と役割（グループワーク・討議）			予習	おはなし会で行われる取り組みについて調べる		
						復習	おはなし会の意義と役割を理解する		
	第 7 回	内容	読み聞かせの意義と準備			予習	読み聞かせの意義について調べる		
						復習	読み聞かせの準備について理解する		
	第 8 回	内容	読み聞かせ演習（発表）			予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく		
						復習	読み聞かせの自己評価をレポートにまとめる		
	第 9 回	内容	読み聞かせ演習（発表）②			予習	読み聞かせの資料を選び、練習をしておく		
						復習	読み聞かせの自己評価をレポートにまとめる		
	第 10 回	内容	ブックトークの意義と準備			予習	ブックトークの意義について調べる		
						復習	授業の内容を踏まえてブックトークのシナリオを作成する		
	第 11 回	内容	ブックトーク演習（発表）			予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく		
						復習	ブックトークの自己評価をレポートにまとめる		
	第 12 回	内容	ブックトーク演習（発表）②			予習	ブックトークの演出を考え、練習しておく		
						復習	ブックトークの自己評価をレポートにまとめる		
	第 13 回	内容	ストーリーテリングの意義と準備			予習	ストーリーテリングの意義について調べる		
						復習	ストーリーテリングの準備について理解する		
	第 14 回	内容	ストーリーテリング演習（発表）			予習	ストーリーテリングの作品を選定し、練習する		
						復習	ストーリーテリングの自己評価をレポートにまとめる		
	第 15 回	内容	児童サービスの課題と展望（グループワーク・討議）			予習	児童サービスの課題について調べる		
						復習	児童サービスの展望について理解する		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	課題に対してコメントを返却します。また、発表時にも適宜コメントをします。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（50%）、作品・発表（50%）、実技（ ）、授業態度【 】（ ）								
教科書	指定しません。授業毎に授業資料を配布します。								
参考文献	『ベーシック司書講座・図書館の基礎と展望 7 児童サービス論』（望月道浩・平井歩実編、学文社、2015） 『JLA 図書館情報学テキストシリーズⅢ 6 児童サービス論 新訂版』（堀川照代、日本図書館協会、2020）								
補足事項	グループワークを行わない授業では、授業内で小テストを行います。小テストの内容を復習してください。								

科 目 名	マンガ・イラスト表現		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いいだ こういちろう 飯田 耕 一 郎
ナソバ・リンク・コート*	MAC3211		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	マンガは絵と物語の両方を合わせた世界なので、デッサン、キャラクター、背景、パースなどの基本を複合的に進めていく形になると思います。イラストもまた物語性を理解することによって創作の幅が広がるものと考えて大きな区別はありません。							
到 達 目 標	1. 1 絵を描くための基本を理解してキャラクターを描くことができる。 2. キャラクターの感情表現が出来る。 3. 人物に合わせて背景も描けるためのパースの基礎を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 1 ）							
授 業 計 画	第 1 回	内容	【○と□を描こう】円と四角を描けることが基本の基本。	予習	シラバスを確認する。			
				復習	円と四角を描いてみる。			
	第 2 回	内容	【いろんな表情を描こう】表情が変化するパターンを学ぶ。	予習	シラバスを確認しておく。			
				復習	いろんな表情を描いてみる。			
	第 3 回	内容	【感情の表現を描こう】感情表現を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	感情の表現をあらためて描いてみる。			
	第 4 回	内容	【喜怒哀楽の表情を描こう】感情表現を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	喜怒哀楽の表情をあらためて描いてみる。			
	第 5 回	内容	【色んな顔の向きを描こう】色んな角度の顔を描けるようにする。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	色んな顔の向きのバリエーションを描いてみる。			
	第 6 回	内容	【自画像を描こう】対象をしっかりと描く。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	自画像の課題のバリエーションを描いてみる。			
	第 7 回	内容	【顔と表情を決める】顔を構築する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	顔と表情を決める課題のバリエーションを描いてみる。			
	第 8 回	内容	【透視図法の基礎を学ぼう】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。			
				復習	透視図法の基礎のバリエーションを描いてみる。			
	第 9 回	内容	【一点透視図法から二点透視図法】パースを理解する。	予習	遠近のある物を描いてみる。			
				復習	パースの課題のバリエーションを描いてみる。			
	第 10 回	内容	【透視図法のまとめ】透視図法を再確認。	予習	遠近のある物を描いてみる。			
				復習	透視図法のバリエーションを描いてみる。			
	第 11 回	内容	【人物と背景】人物と背景のイラストを完成させる。	予習	背景のイメージを固めておこう。			
				復習	人物と背景のバリエーションを描いてみる。			
	第 12 回	内容	【全身で感情表現してみよう】感情と動きを全身で描く。	予習	全身の動きを描いてみる。			
				復習	全身で感情表現の課題のバリエーションを描いてみる。			
	第 13 回	内容	【シワの描き方を学ぼう】シワの描き方を理解する。	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	シワの描き方の課題のバリエーションを描いてみる。			
	第 14 回	内容	【私の部屋を描こう】人物と背景を合わせて書く練習課題となります	予習	課題を元にイメージスケッチしてみる。			
				復習	私の部屋を描いてみる。			
	第 15 回	内容	【私の部屋を描こう】人物と背景を合わせて書く練習課題となります	予習	課題を完成させる。			
				復習	私の部屋の課題のバリエーションを描いてみる。			
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（0％）、レポート・課題（30％）、作品・発表（20％）、実技（30％）、授業態度【集中力・居眠り】（20％）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）なし							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）なし							
補足事項								

科 目 名	アニメーション表現		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いいだ こういちろう 飯田 耕 一 郎
ナンバリングコード	MAC3212		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授 業 の 内 容	アニメーションの基本的な理解。 製作工程、決まりごとを学びます。 動きの基本を単純で簡単なところから学んでいきます。							
到 達 目 標	1. アニメーション制作の工程を理解できている 2. アニメーションの基本的な動きを実際に描いてみて知識と描写力を身につけている。 3. アニメーションの表現方法の幅の広さを理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1)							
授 業 計 画	第 1 回	内容	動かしてみよう「振り子の動き」。	予習	アニメーション制作講義の再確認。			
				復習	「振り子の動き」講義の再確認。			
	第 2 回	内容	動かしてみよう「ボールの跳ねる動き」。	予習	「振り子の動き」課題の確認をしておく。			
				復習	「ボールの跳ねる動き」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第 3 回	内容	動かしてみよう「ボールの移動の動き」	予習	「ボールの移動の動き」課題の確認をしておく。			
				復習	「ボールの移動の動き」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第 4 回	内容	動かしてみよう「重力と慣性」	予習	「重力と慣性」課題の確認をしておく。			
				復習	「重力と慣性」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第 5 回	内容	動かしてみよう「ヨセとノコシ」	予習	前回の課題の確認をしておく。			
				復習	「ヨセとノコシ」課題をバリエーションで描いてみる。			
	第 6 回	内容	動かしてみよう「手を振る」	予習	「ヨセとノコシ」課題の確認と修正。			
				復習	「手を振る」課題の確認と修正。			
	第 7 回	内容	動かしてみよう「手を振る 2」	予習	「手を振る」課題の確認と修正。			
				復習	「手を振る 2」課題の確認と修正。			
	第 8 回	内容	動かしてみよう「お辞儀」	予習	「手を振る 2」課題の確認と修正。			
				復習	「お辞儀」課題の確認と修正。			
	第 9 回	内容	動かしてみよう「お辞儀 2」	予習	「お辞儀」課題の確認と修正。			
				復習	「お辞儀 2」課題の確認と修正。			
	第 10 回	内容	動かしてみよう「立ち上がる」	予習	「お辞儀 2」課題の確認と修正。			
				復習	「立ち上がる」課題の確認と修正。			
	第 11 回	内容	動かしてみよう「立ち上がる 2」	予習	「立ち上がる」課題の確認と修正。			
				復習	「立ち上がる 2」確認と修正。			
	第 12 回	内容	動かしてみよう「振り返る」	予習	「立ち上がる 2」課題の確認と修正。			
				復習	「振り返る」課題の確認と修正。			
	第 13 回	内容	動かしてみよう「振り返る 2」	予習	「振り返る」課題の確認と修正。			
				復習	「振り返る 2」課題の確認と修正。			
	第 14 回	内容	運動の法則。課題「急発進、急停止」	予習	課題「急発進、急停止」をもとに確認とスケッチ。			
				復習	慣性の法則の動きを確認しておく。			
	第 15 回	内容	慣性の法則。課題「タメと変化と停止」	予習	「タメと変化と停止」の確認とスケッチ。			
				復習	課題「急発進、急停止」をもとに確認とスケッチ。			
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する / () しない 成績評価の方法：筆記試験 (0%)、レポート・課題 (30%)、作品・発表 (20%)、実技 (30%)、授業態度【集中力・居眠り】(20%)							
教科書	『書名』(著者名、出版社名) なし							
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) なし							
補足事項								

科 目 名	マンガ創作		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いいだ こういちろう 飯田 耕 一 郎	
ナンバリングコード	MAC3221		授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	線画の技術などを深めていく内容になっています。課題もより創作に近づけた内容になっていきます。実際にコマを割ってマンガ作品に挑戦します。								
到 達 目 標	1．人物はチビキャラから更に進めて5頭身～6頭身のサイズで描くことができる。 2．絵を描くためのいろいろなアプローチを身につけている。 3．じっさいのマンガ創作の基礎を理解している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	【二頭身キャラを描こう】シンプルなキャラを描く。	予習	【二頭身キャラ】をイメージスケッチしてみる。				
				復習	【二頭身キャラ】課題をあらためて描いてみる。				
	第2回	内容	【二頭身キャラのアクション】キャラに動きをつける。	予習	【二頭身キャラ】課題を元にイメージスケッチ。				
				復習	【二頭身キャラ】課題を元に模写をする。				
	第3回	内容	【三頭身キャラを描こう】キャラを描く。	予習	【三頭身キャラ】課題を元にイメージスケッチ。				
				復習	【三頭身キャラ】課題をあらためて描いてみる。				
	第4回	内容	【三頭身キャラのアクション】キャラを描く。	予習	【三頭身のアクション】イメージスケッチ。				
				復習	【三頭身のアクション】バリエーションを描く。				
	第5回	内容	【三頭身の喜怒哀驚を描こう】キャラに動きをつける。	予習	【三頭身の喜怒哀驚】イメージスケッチ。				
				復習	【三頭身の喜怒哀驚】課題の続きを進める。				
	第6回	内容	【三頭身の喜怒哀驚を描こう】キャラに動きをつける。	予習	【三頭身の喜怒哀驚】課題を更に進める。				
				復習	【三頭身の喜怒哀驚】バリエーションを描く。				
	第7回	内容	【六頭身のキャラを描こう】キャラを描く。	予習	【六頭身のキャラ】イメージスケッチ。				
				復習	【六頭身のキャラ】課題を改めて描いてみる。				
	第8回	内容	【六頭身のキャラに動きをつける】キャラに動きをつける。	予習	【六頭身のキャラの動き】イメージスケッチ。				
				復習	【六頭身のキャラの動き】課題を改めて描く。				
	第9回	内容	【マンガ制作の流れ】 制作プロセスを理解します。	予習	シラバスを確認する。				
				復習	【マンガ制作の流れ】を再確認。				
	第10回	内容	【コマ割りの理解①】 コマを割って課題とともに学びます。	予習	物語を考えてみる。				
				復習	【コマ割りの理解①】を再確認。				
	第11回	内容	【コマ割りの理解②】 コマに分割していく流れを学びます。	予習	物語を更に考えてみる。				
				復習	【コマ割りの理解②】を再確認。				
	第12回	内容	【コマ割りの理解③】 コマを読む進める流れを学びます。	予習	物語のバリエーションを考えてみる。				
				復習	【コマ割りの理解③】を再確認。				
	第13回	内容	【プロット作り】 オリジナルのあらすじを考えましょう。	予習	プロットを創る。				
				復習	【プロット作り】を再確認。				
	第14回	内容	【課題を元にコマを割る】 コマを実際に割って見ます。	予習	ネームを煮詰める。				
				復習	ネームを元にコマ割りをする。				
	第15回	内容	【課題を元にコマを割る】 アドバイスと共に完成させます。	予習	コマ割りを更に詰めていく。				
				復習	コマ割りを完成させる。				
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	課題作品にたいしてのアドバイスによる修正点、上達ポイントを指摘することでより向上を目指します。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（0%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度【集中力・居眠り】（20%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）なし								
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）なし								
補足事項									

科 目 名	ノンフィクション入門		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	ひ だ あつこ 樋 田 敦子
ナンバリングコード	MAC3222		授業形態	講義	実務経験	○		
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	ノンフィクション作品とは、創作が混じらない読み物のことを指します。つまり作られていない、目の前にあるリアルなテーマを書き綴った作品です。これまで卒業生たちは、人物、コロナ禍、大学、保育士不足などをテーマにノンフィクション作品を仕上げてきました。 テーマ決め、取材、執筆を通して、自らの思考力、判断力、表現力を向上させていくことを目指します。							
到 達 目 標	1． 課題について学び、思考を深めることができる 2． 執筆を通じ文章表現力を高め、取材、執筆でコミュニケーション力を高めることができる 3． 1人、あるいは班のグループワークで10ページ程度の1本の作品を仕上げるができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2、3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	ガイダンス 「コロナと女性の貧2020-2022」の自著を例に、なぜ書くに至ったか、取材秘話を伝える		予習	シラバスを読んでおく		
					復習	授業内容を理解する		
	第2回	内容	なにをテーマにするかを考える		予習	ノンフィクション作品に目を通す		
					復習	テーマへの考察		
	第3回	内容	取材することに対する一般的な注意		予習	ノンフィクション作品を読む		
					復習	注意を理解する		
	第4回	内容	編集会議、誰を、何を取り上げるのか		予習	取り上げたいテーマを考えてくる		
					復習	テーマを深掘り		
	第5回	内容	取材ノートを作成する		予習	メモを書き扱う練習をする		
					復習	取材ノート」の完成		
	第6回	内容	取材①		予習	これまでの振り返り		
					復習	取材をどうするかの考察		
	第7回	内容	取材2		予習	前回の取材メモを見直す		
					復習	取材の考察		
	第8回	内容	取材③		予習	前回の取材メモを見直す		
					復習	取材の考察		
	第9回	内容	追加取材、見直し		予習	前回の取材内容を見直す		
					復習	足りない取材は何か		
	第10回	内容	追加取材、執筆へのアプローチ		予習	前回の取材内容を見直す		
					復習	取材内容を再考察		
	第11回	内容	執筆		予習	メモノートをまとめる		
					復習	執筆		
	第12回	内容	執筆		予習	メモノートをまとめる		
					復習	執筆		
	第13回	内容	班での作業を編集して1本の作品に仕上げる		予習	文章の見直し		
					復習	作品の考察		
	第14回	内容	作品の最終的な見直し		予習	文章の見直し		
					復習	見直し		
	第15回	内容	作品発表会		予習	最終的な確認		
					復習	授業全体を振り返る		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題を完成するまでねばりっ強く指導する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ％）、レポート・課題（ ％）、作品・発表（80 ％）、実技（ ％）、授業態度【 積極的参加 】（ 20 ％）							
教科書	適宜プリントを配布							
参考文献	『調べる技術書く技術』野村進著、講談社現代新書							
補足事項	取材するために、正しい敬語や適切な身だしなみを身につけることも重要							

科 目 名	小説創作		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	
ナンバリングコード	MAC3224		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	☒ 対面 ・ ☐ 遠隔 ・ ☐ その他 ()							
授 業 の 内 容								
到 達 目 標	1. 2. 3.							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 ()							
授 業 計 画	第1回	内容		予習				
				復習				
	第2回	内容		予習				
				復習				
	第3回	内容		予習				
				復習				
	第4回	内容		予習				
				復習				
	第5回	内容		予習				
				復習				
	第6回	内容		予習				
				復習				
	第7回	内容		予習				
				復習				
	第8回	内容		予習				
				復習				
	第9回	内容		予習				
				復習				
	第10回	内容		予習				
				復習				
	第11回	内容		予習				
				復習				
	第12回	内容		予習				
				復習				
	第13回	内容		予習				
				復習				
	第14回	内容		予習				
				復習				
	第15回	内容		予習				
				復習				
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／ () しない 成績評価の方法： 筆記試験 (%)、レポート・課題 (%)、作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度【 (%) 】 (%)						
教科書	『書名』（著者名、出版社名）							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）							
補足事項								

科 目 名	コミュニケーションと心理		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳	
ナンバリングコード	GEE3212		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本講義では、心理学の理論や技法を用いて、個々の人間関係や社会の現場(職場)で生きる実践的なコミュニケーション能力の基礎の育成を図ることを目的とする。傾聴やアサーション等の知見を学び、ワークを通して受講生の心の安定と成長等にもアプローチしたいと考えている。								
到 達 目 標	1. 人の話をしっかりと傾聴できる。 2. コミュニケーションに必要な心理学の基礎を理解している。 3. 将来の社会人に必要なコミュニケーション能力の土台を身につけている。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（1,2,4）								
授 業 計 画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。				
				復習	授業の概要を理解する。				
	第2回	内容	コミュニケーション能力	予習	コミュニケーションについて調べる。				
				復習	コミュニケーション能力について整理する。				
	第3回	内容	さまざまな心の関係	予習	心の関係について自分なりに考える。				
				復習	心の関係について理解し整理する。				
	第4回	内容	心理的ストレスの低減方法	予習	ストレス低減について考えておく。				
				復習	ストレスの低減方法について理解し整理する。				
	第5回	内容	グループワーク①(聴き方)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	グループワークで学んだことを整理する。				
	第6回	内容	グループワーク②(聴き方)	予習	反省点を踏まえて積極的にワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	グループワーク学んだことを整理する。				
	第7回	内容	傾聴の意義と効用	予習	傾聴についてしらべる。				
				復習	傾聴について理解し整理する。				
	第8回	内容	非言語コミュニケーション	予習	非言語について調べる。				
				復習	非言語表現について理解し整理する。				
	第9回	内容	応答技法	予習	応答技法について調べる。				
				復習	応答技法について理解し整理する。				
	第10回	内容	受容と共感	予習	受容と共感の意味を調べる。				
				復習	需要と共感について理解し整理する。				
	第11回	内容	事例(ケース)研究①	予習	事例の展開について予測する。				
				復習	事例で学んだことを整理する。				
	第12回	内容	事例(ケース)研究②	予習	事例の展開について予測する。				
				復習	事例で学んだことを整理する。				
	第13回	内容	グループワーク③(非言語コミュニケーション)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	ワーク学んだことを整理する。				
	第14回	内容	グループワーク④(非言語コミュニケーション)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。				
				復習	ワーク学んだことを整理する。				
	第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。				
				復習	学びを今後に活かせるように心がける。				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	受講学生に対して、ワーク参加状況、発表・発言内容、試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（40%）							
教科書	特に指定しない。								
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。								
補足事項	講義とグループワークを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。								

科 目 名	臨床心理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳	
ナンバリングコード	PSY3231		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	臨床心理学は応用心理学の一つである。臨床心理学は心の悩みを解決し、人間を幸せにする学問ともいわれている。 現代社会にはさまざまな心の問題が存在する。私たちが、人の心を理解しようとしたり、心の問題に向き合おうとすると、臨床心理学はそれらの試みをサポートしてくれる。 本講義では、臨床心理学の基礎的知識の習得と現場で生きる臨床心理学の実践的能力の育成を図る。さらに、受講生自身の心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。								
到 達 目 標	1. 臨床心理学の代表的な理論の基礎的知識を習得している。 2. 学んだ知識を活用して、心の問題について、自分なりに考えられる力を身につけている。 3. 自己と他者のメンタルヘルスに寄与できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	1. イントロダクション	予習	シラバスを読み、授業計画を把握する。				
				復習	授業内容と評価方法について理解する。				
	第 2 回	内容	2. 臨床心理学とは何か	予習	臨床心理学について調べる。				
				復習	臨床心理学について理解し整理する。				
	第 3 回	内容	3. 臨床心理学の心の捉え方と心理療法 精神分析① [心の構造等]	予習	精神分析学について調べる。				
				復習	精神分析学の心的構造について理解する。				
	第 4 回	内容	精神分析② [防衛機制]	予習	防衛機制について調べる。				
				復習	防衛機制について理解し整理する。				
	第 5 回	内容	精神分析③ [精神分析的な心理療法]	予習	精神分析的な心理療法について調べる。				
				復習	精神分析的な心理療法について理解し整理する。				
	第 6 回	内容	行動主義① [学習理論等]	予習	行動主義の学習理論について調べる。				
				復習	学習理論について理解し整理する。				
	第 7 回	内容	行動主義② [行動療法]	予習	行動療法について調べる。				
				復習	行動療法について理解し整理する。				
	第 8 回	内容	人間性心理学① [自己実現等]	予習	人間性心理学について調べる。				
				復習	自己実現について理解し整理する。				
	第 9 回	内容	人間性心理学② [ロジャーズ他]	予習	ロジャーズの理論を調べる。				
				復習	ロジャーズについて理解し整理する。				
	第 10 回	内容	人間性心理学③ [来談者中心療法]	予習	来談者中心療法を調べる。				
				復習	来談者中心療法について理解し整理する。				
	第 11 回	内容	4. 心理アセスメント、心の問題の理解と対応	予習	心理アセスメント等を調べる。				
				復習	心理アセスメント等について理解し整理する。				
	第 12 回	内容	5. 心と脳	予習	心と脳について理解し整理する。				
				復習	心と脳について理解し整理する。				
	第 13 回	内容	6. 発達障害、心の病気	予習	発達障害について調べる。				
				復習	発達障害と心の病について理解し整理する。				
	第 14 回	内容	7. 自分自身のメンタルヘルスを考える 臨床心理学の理論の活用	予習	メンタルヘルスについて調べる。				
				復習	自己の心の健康について理解し整理する。				
	第 15 回	内容	まとめと今後のアドバイス	予習	本講義全体の学びと疑問点を整理する。				
				復習	学んだ知見の活用について考察をする。				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	受講生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（70%）、レポート・課題（30%）、							
教科書	蓮見元子（編）（2017）「生涯発達臨床心理学」大学図書出版								
参考文献	他の参考図書等については、講義の中で必要に応じて適宜紹介する								
補足事項	講義を中心におこなう。実際の事例（ケース）などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。 受講者には自ら学び考える意欲をもって講義に参加する態度が求められる。								

科 目 名	カウンセリング入門			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳	
ナンバリングコード	PSY3232			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	将来、社会生活において、他者から多岐にわたる内容の相談をされ、それらに対してできる限りの確に応答しなければならない機会が想定される。本講義では、カウンセリング、相談の基礎的知識の習得と現場で生きる相談の実践的能力の基本の育成を図る。さらに、相談を受ける私たちの心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。									
到 達 目 標	1. カウンセリングの意義、方法等に関する基本知識と方法の習得している。 2. カウンセリングの基本を理解し、それを社会生活の相談場面での実践に活かすことができる。 3. 人の心の問題を理解することを試み、他者の心に寄り添う相談実践をおこなえる。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2,4）									
授 業 計 画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。					
				復習	授業の概要を理解する。					
	第2回	内容	カウンセリングとは何か	予習	カウンセリングについて調べる。					
				復習	カウンセリングについて理解し整理する。					
	第3回	内容	心と心の関係	予習	心と心の関係について調べる。					
				復習	心と心の関係について理解し整理する。					
	第4回	内容	ワーク①(カウンセリングの態度と方法)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。					
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。					
	第5回	内容	「傾聴」等の理解と活用	予習	傾聴について調べる。					
				復習	傾聴について理解し整理する。					
	第6回	内容	事例研究①(逸脱行動：相談者への理解)	予習	事例の展開について予測する。					
				復習	学んだことを整理し理解する。					
	第7回	内容	カウンセリングの理論	予習	カウンセリングの理論について調べる。					
				復習	学んだカウンセリングの理論について理解し整理する。					
	第8回	内容	カウンセリングの方法①(面接の構造)	予習	カウンセリングの方法について調べる。					
				復習	面接の構造について理解し整理する。					
	第9回	内容	カウンセリングの方法②(アセスメント)	予習	アセスメントについて調べる。					
				復習	アセスメントについて理解し整理する。					
	第10回	内容	カウンセリングの方法③(対応方法)	予習	カウンセリングにおける対応方法について調べる。					
				復習	対応方法について理解し整理する。					
	第11回	内容	事例研究②(心の発達：他者との連携)	予習	事例の展開について予測する。					
				復習	学んだことを整理し理解する。					
	第12回	内容	応答技法	予習	カウンセリングにおける応答技法について調べる。					
				復習	応答技法について理解し整理する。					
	第13回	内容	ワーク②	予習	ワークに参加できるように心身を整える。					
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。					
	第14回	内容	相談を受ける人の心の健康	予習	相談を受ける人の心の健康について調べる。					
				復習	学んだ人の心の健康について理解し整理する。					
	第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。					
				復習	学んだことを今後活かせるように心がける。					
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	受講学生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法： 筆記試験（60%）、レポート・課題（40%）								
教科書	『生涯発達臨床心理学』（蓮見元子編、大学図書出版）									
参考文献	必要に応じて授業時に紹介する。									
補足事項	講義とグループワークを中心におこなう。実際の事例などをあげ、受講生にわかりやすい内容を心がけたい。その他ディスカッション等では受講生と教員の双方向でのやり取りも活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し発言する態度が求められる。									

科 目 名	アサーション		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	いうあきよし 伊藤 明 芳
ナンバリングコード	PSY3221		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	アサーションとは「自分も他者も大切に自己表現」である。私たちの社会生活において、他者との関係の質を高め、他者とのより豊かなコミュニケーションを育む大切な考え方であり心の態度である。本講義ではアサーションについての基礎的知識の習得と実際の活用練習をおこない、個々のより良いコミュニケーション能力の育成をはかりたい。							
到 達 目 標	1. アサーションの意義、方法等に関する基本知識の習得している。 2. アサーションの基本を理解し、それを自己の社会生活に活かすことができる。 3. 他者との心の通ったコミュニケーションをより積極的をおこなえる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2,4）							
授 業 計 画	第1回	内容	イントロダクション	予習	シラバスを読む。			
				復習	授業の概要を理解する。			
	第2回	内容	アサーションとは何か	予習	アサーションについて調べる。			
				復習	アサーションについて理解し整理する。			
	第3回	内容	心と心の関係	予習	心と心の関係の有様について調べる。			
				復習	心と心の関係について理解し整理する。			
	第4回	内容	アサーションワーク①(コミュニケーションを楽しむ)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第5回	内容	アサーションの考え方	予習	アサーションの考え方について調べる。			
				復習	アサーションの考え方について理解し整理する。			
	第6回	内容	アサーションワーク②(アサーティブな自己表現)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第7回	内容	自己表現の種類	予習	自己表現の種類について調べる。			
				復習	自己表現の種類について理解し整理する。			
	第8回	内容	アサーションワーク③(考え方)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第9回	内容	アサーティブな考え方と身につくこと	予習	アサーティブな考え方について調べる。			
				復習	アサーティブな考え方と身につくことについて理解し整理する。			
	第10回	内容	アサーションワーク④(伝え方)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第11回	内容	心に届くコミュニケーション	予習	心に届くコミュニケーションについて調べる。			
				復習	心に届くコミュニケーションについて理解し整理する。			
	第12回	内容	心のピラミッド	予習	心のピラミッドについて調べる。			
				復習	心のピラミッドについて理解し整理する。			
	第13回	内容	アサーションワーク⑤(心のエネルギーと心の元気)	予習	ワークに参加できるように心身を整える。			
				復習	ワークで学んだことについて理解し整理する。			
	第14回	内容	自己の心の窓を考える	予習	心の窓について調べる。			
				復習	自己の心の窓について理解し整理する。			
	第15回	内容	まとめと今後へのアドバイス	予習	これまで学んだことを振り返っておく。			
				復習	学んだことを今後に活かせるように心がける。			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	受講学生に対して、発表・発言内容や試験やレポートの成績のフィードバックをおこなう。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（50%）							
教科書	必要に応じて授業時に紹介する。							
参考文献	特に指定しない。							
補足事項	グループワークを軸におこなう。受講生に楽しくわかりやすい内容を心がけたい。ワーク等では受講生同士、受講生と教員と双方向でのやり取りを活発におこないたい。受講者には自ら学び考える意欲をもって授業に参加し(無理をしない範囲で)発言する態度が求められる。							

科 目 名	ニュースと心理		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博史	
ナンバリングコード	PSY3233		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	本授業は、人がメディアの情報（ニュース）に接したときの受容特性とメディア自体の特性について解説及び考察するものである。人が受容する情報は事実なのか、虚偽なのか、真偽を見分けるにはどうしたらよいか。このような疑問に答えを導き出すヒントとなる授業とする。「予習」は「あるか」「ないか」の質問形式になっています。ある場合は、内容をノートに記述しておいてください。ない場合は結構です。								
到 達 目 標	1. 情報を読み取る力がつく。 2. 情報の真偽を判断する力がつく。 3. 情報を分析し、自分で考えることができる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（2, 3 ）								
授 業 計 画	第1回	内容	メディアと人間	予習	新聞を読んでおくこと。				
				復習	新聞、テレビ、SNSの情報で「これは怪しい」と思う情報を探す。				
	第2回	内容	迷信・呪いを信じるのは何故	予習	不合理なニュースを見たことはありますか。				
				復習	情報の真偽について考える。				
	第3回	内容	勝利を信じるのは何故	予習	「こうなってほしい」と思った出来事がありますか。				
				復習	新聞を読んで復習する。				
	第4回	内容	ニュースの受容特性	予習	1, 2, 3の授業を通じて何が分かったかを考えてくる。				
				復習	みんなで話し合った内容を振り返る。				
	第5回	内容	ニュースと感情の増幅	予習	TV情報に接して怒りを感じたことはありますか。				
				復習	怒りや悲しみの感情がどのように増幅されるか、身近な問題で考えてみる。				
	第6回	内容	メディアのメッセージについて解説する。	予習	新聞を読んで編集者や記者の意図に気づいたことはありますか。				
				復習	メディアのメッセージを、新聞を読んで確認すること。				
	第7回	内容	メッセージ分析1（新聞）	予習	新聞を読んで編集者や記者の意図に気づいたことはありますか。				
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。				
	第8回	内容	メッセージ分析2（マンガ）	予習	好きなマンガで、作者が言いたいことに気づいたことはありますか。				
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。				
	第9回	内容	意見の同調と沈黙の螺旋	予習	自らの体験で一人ぼっちになったことはありますか。				
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。				
	第10回	内容	言葉と刷り込み	予習	感動した言葉はありますか。				
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。				
	第11回	内容	メディアとブームの発生	予習	メディア報道を見て、買ってみようと思った商品がありますか。				
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。				
	第12回	内容	メディアバイアス	予習	メディアが偏向していると思ったことはありますか。				
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。				
	第13回	内容	科学と似非科学	予習	似非科学であると思ったことはありますか。				
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。				
	第14回	内容	信じたがる脳	予習	信じたいと思っていることはありますか。				
				復習	みんなで話し合ったことを振り返る。				
	第15回	内容	授業のまとめと振り返り	予習	情業を通じて気づいたことはありますか。				
				復習	現実に即して考えてみること。				
	予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね80分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	適宜、クラスルームを通じて課題を出し、解答をフィードバックします。							

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（70％）、作品・発表（ ）％、実技（ ）％、授業態度【課題提出】（30％）
教科書	使用しません
参考文献	特に指定しません。
補足事項	みんなで話し合い、考えながら進める授業です。

【文化表現学科】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク：新カリキュラム)

https://www.akikusa.ac.jp/akitan/pdf/bunka_resume/bh_syllabus_2023.pdf

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	異文化コミュニケーション	2	講義	柴田かおる	3,4
2	情報と社会	2	講義	樋田敦子	5
3	コミュニケーション論	2	講義	樋田敦子	8
4	アナウンス表現演習	2	演習	柴田かおる	41,42
5	エアライン英会話	2	演習	平井美知子	47
6	エアライン実務	2	演習	平井美知子	52,53
7	敬語とコミュニケーション	2	演習	柴田かおる	84,85
8	マンガ・イラスト表現	2	演習	飯田耕一郎	94
9	マンガ創作	2	演習	飯田耕一郎	96
計		18			

(実務家教員略歴)

柴田 かおる ～ 株式会社ニッポン放送にアナウンサーとして入社、語学留学を経てフジサンケイコミュニケーションズインターナショナルに入社し、ニューヨーク特派員やテレビ番組のキャスターを務める。

平井 美知子 ～ 国内航空会社の国際客室乗務員として勤務、以降その経験を生かし各所で講師を務める。

飯田 耕一郎 ～ 漫画編集部勤務を経て、漫画家として活動する傍ら、日本マンガ塾講師を務める。

樋田 敦子 ～ 新聞記者として勤務した後、フリーランスに。
雑誌・書籍・ネットメディアの取材執筆のほか、テレビ・ラジオの構成も手がける。著書に「女性と子どもの貧困」「東大を出たあの子は幸せになったのか」「僕らの大きな夢の絵本～東日本大震災、宮古・赤前地区の子どもたち」など。

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。